
関市
子ども・子育てに関するアンケート調査
【結果報告書】

令和6年4月

関市

目 次

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	2
2. 調査概要	2
3. 報告書の見方	2
4. 設問の内容について	3
5. 前回調査結果との比較について	4
II. 調査結果	5
1. お住まいの地域について	6
2. 子どもの育ちをめぐる環境について	9
3. 保護者の就労状況について	15
4. 平日の定期的な幼稚園・保育所等の利用状況について	28
5. 子育て支援事業の利用状況について	34
6. 土曜・休日や長期休暇中の定期的な幼稚園・保育所等の利用希望について	42
7. 病気の際の対応について	45
8. 幼稚園等の不定期な利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	49
9. 放課後の過ごし方について	54
10. 育児休業など職場の両立支援制度について	66
11. 世帯の状況について	72
12. 子育て全般について	76

I. 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、令和7年度から令和11年度を計画期間とする「第3期関市子ども・子育て支援事業計画」の策定資料として、保護者の皆様の教育・保育・子育て支援に関する利用状況や希望を把握することを目的に実施しました。

2. 調査概要

- 調査地域：関市全域
- 調査対象：関市内在住の未就学児童の保護者
関市内在住の小学生児童の保護者
- 抽出方法：住民基本台帳より、未就学児童 2,000 人、小学生児童 2,000 人の
合計 4,000 人を無作為抽出
- 調査期間：令和6年2月5日～2月20日
- 調査方法：郵送による配布・回収（一部 web 回答）

調 査 票	調査対象者数 (配布数)	有効回収数	有効回収率
未就学児童	2,000	1,075	53.8%
小学生児童	2,000	1,047	52.4%
合 計	4,000	2,122	53.1%

3. 報告書の見方

- 本報告書の本文中では、未就学児童の保護者の回答結果を「未就学児童」、小学生児童の保護者の回答結果を「小学生児童」と表記しています。
- 未就学児童と小学生児童で共通の設問は、並べて比較できるように構成しています。設問文の末尾に就学前は「未：問 No.」、小学生は「小：問 No.」のように、調査票の設問番号を表示しています。
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 年齢等を数値で回答する設問（数量回答）では、区分分けをして集計しています。

- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。
- 表中の網掛けは、「不明・無回答」を除き、最も割合の高い項目と2番目に割合の高い項目を表しています。なお、回答者(n)が10未満の場合は順位の表記を省略し、読取文の対象外としています。

4. 設問の内容について

回答する調査項目は、調査対象によって異なります。それぞれの該当の項目は以下の表のとおりです。

○：アンケート実施項目

設問	未就学	小学生
1. お住まいの地域について	○	○
2. 子どもの育ちをめぐる環境について	○	○
3. 保護者の就労状況について	○	○
4. 平日の定期的な幼稚園・保育所等の利用状況について	○	
5. 子育て支援事業の利用状況について	○	
6. 土曜・休日や長期休暇中の幼稚園・保育所等の利用希望について	○	
7. 病気の際の対応について	○	○
8. 幼稚園等の不定期的な利用や宿泊を伴う一時預かり等について	○	○
9. 放課後の過ごし方について	○ (5歳以上の子どものみ)	○
10. 育児休業など職場の両立支援制度について	○	
11. 世帯の状況について	○	○
12. 子育て全般について	○	○

5. 前回調査結果との比較について

設問によって、第2期策定時の前回調査結果を併記し、比較を行っています。なお、今回の調査結果を「R5 調査」、前回の調査結果を「H30 調査」としています。「H30 調査」の概要は下記のとおりです。

報告書名	関市子ども・子育てに関するアンケート調査結果報告書 (平成31年3月)	
調査対象	未就学児童の保護者	小学生児童の保護者
調査時期	平成30年11月下旬	平成30年11月下旬
調査方法	郵送	郵送
調査対象者数(配布数)	2,000	2,000
有効回収数	1,117	1,086
有効回収率	55.9%	54.3%

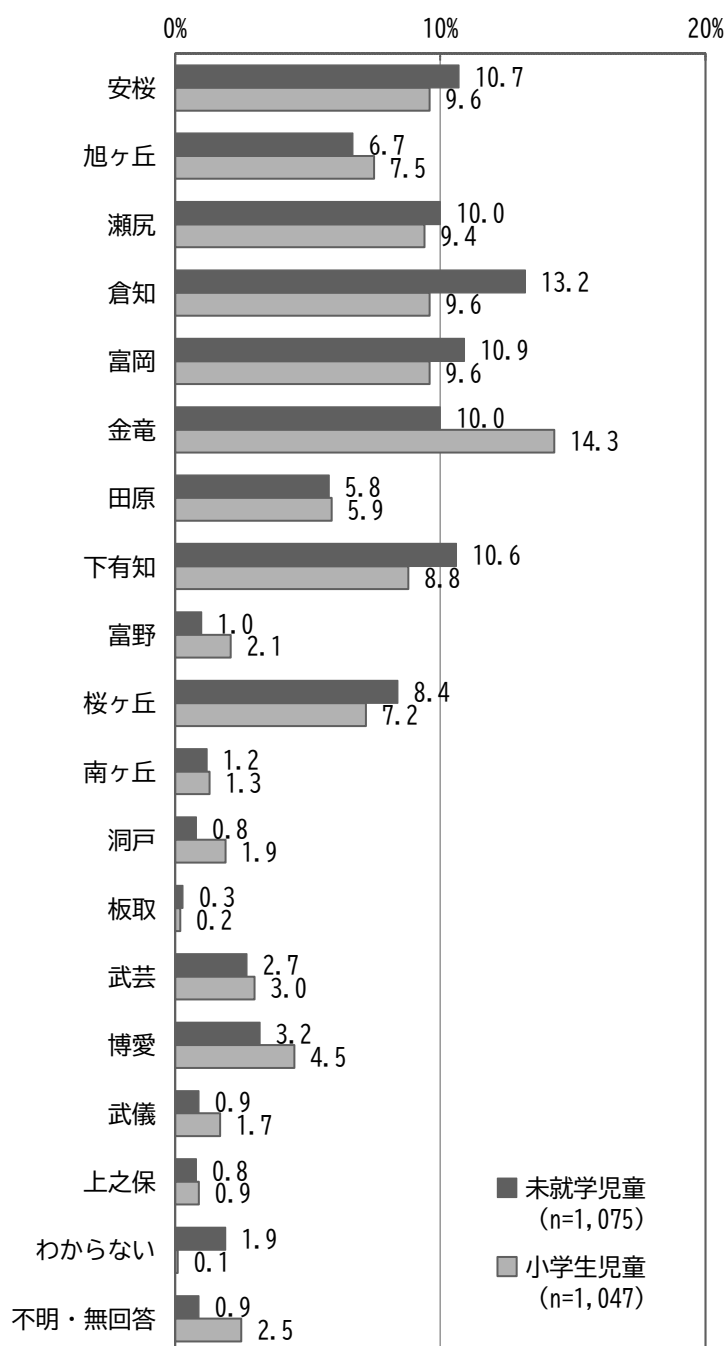
II. 調査結果

1. お住まいの地域について

(1) お住まいの小学校区 [未：問1、小：問1] <単数回答>

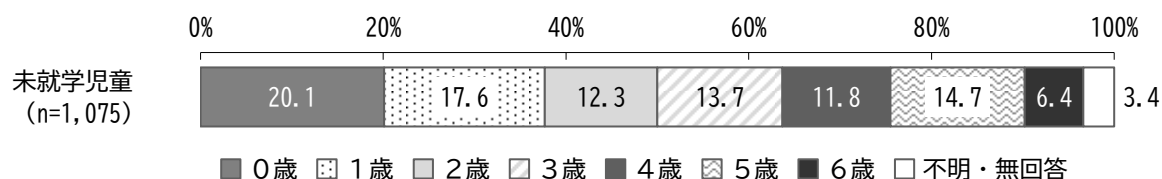
未就学児童では「倉知」が13.2%と最も高く、次いで「富岡」が10.9%となっています。

小学生児童では「金竜」が14.3%と最も高く、次いで「安桜」「倉知」「富岡」がそれぞれ9.6%となっています。



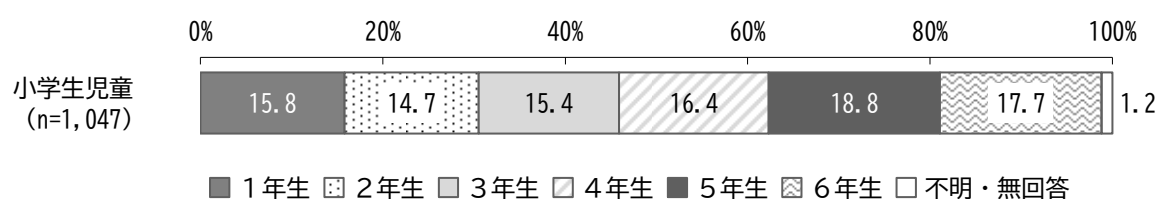
(2) お子さんの年齢 [未：問2] <数量回答>

「0歳」が20.1%と最も高く、次いで「1歳」が17.6%となっています。



(3) お子さんの学年 [小：問2] <単数回答>

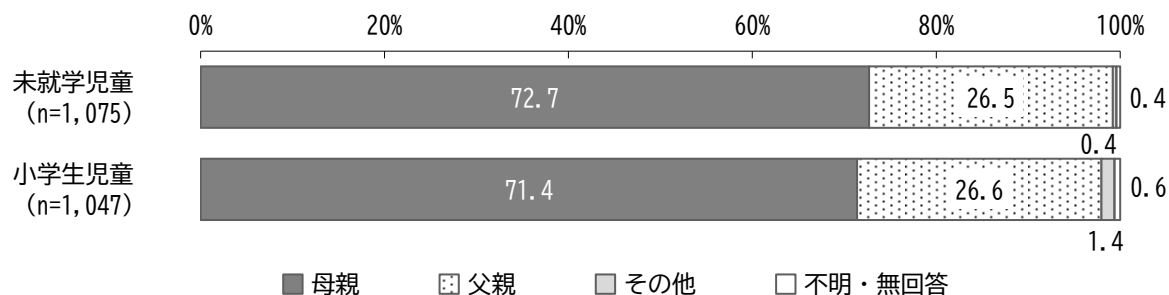
「5年生」が18.8%と最も高く、次いで「6年生」が17.7%となっています。



(4) 調査票の回答者 [未：問3、小：問3] <単数回答>

未就学児童では「母親」が72.7%、「父親」が26.5%、「その他」が0.4%となっています。

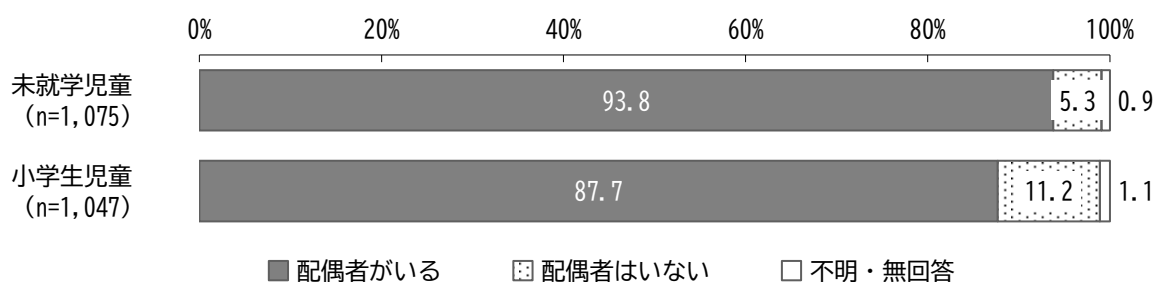
小学生児童では「母親」が71.4%、「父親」が26.6%、「その他」が1.4%となっています。



(5) 回答者の配偶関係 [未：問4、小：問4] <単数回答>

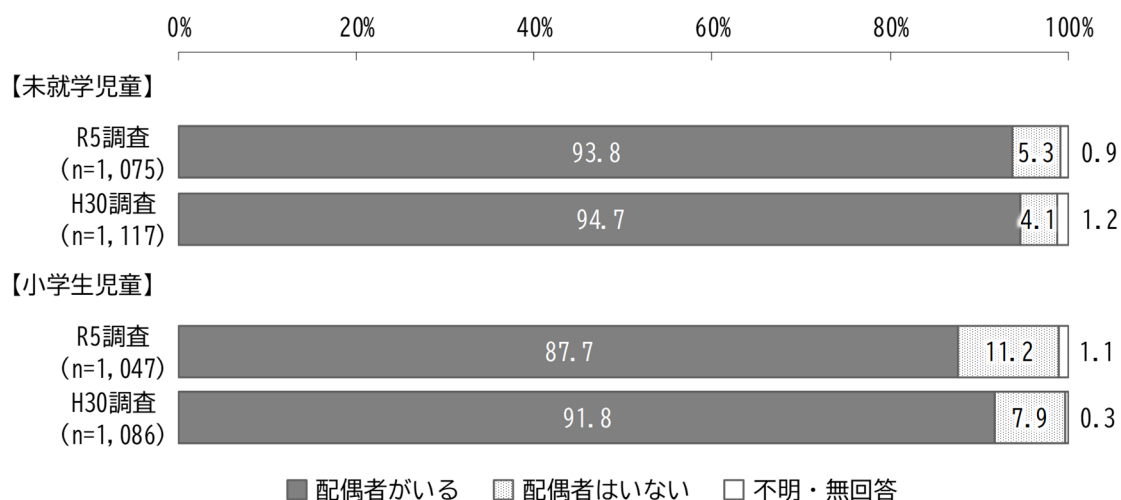
未就学児童では「配偶者がいる」が93.8%、「配偶者はいない」が5.3%となっています。

小学生児童では「配偶者がいる」が87.7%、「配偶者はいない」が11.2%となっています。



－ 前回調査結果との比較 －

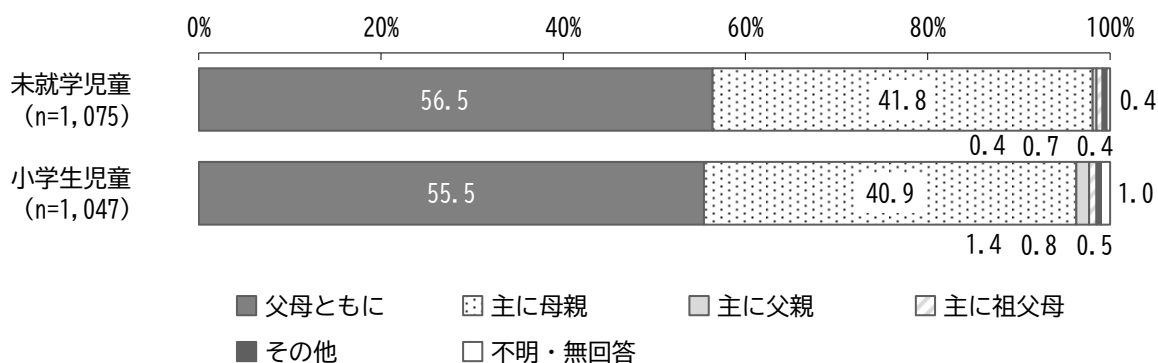
○H30 調査と比較すると、未就学児童・小学生児童ともに R5 調査で「配偶者がいる」が微減、「配偶者はいない」が微増となっています。



(6) 子育てをしている方 [未：問5、小：問5] <単数回答>

未就学児童では「父母ともに」が56.5%と最も高く、次いで「主に母親」が41.8%となっています。

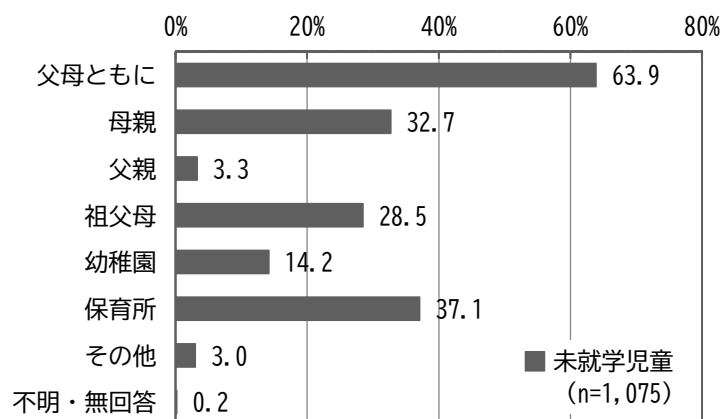
小学生児童では「父母ともに」が55.5%と最も高く、次いで「主に母親」が40.9%となっています。



2. 子どもの育ちをめぐる環境について

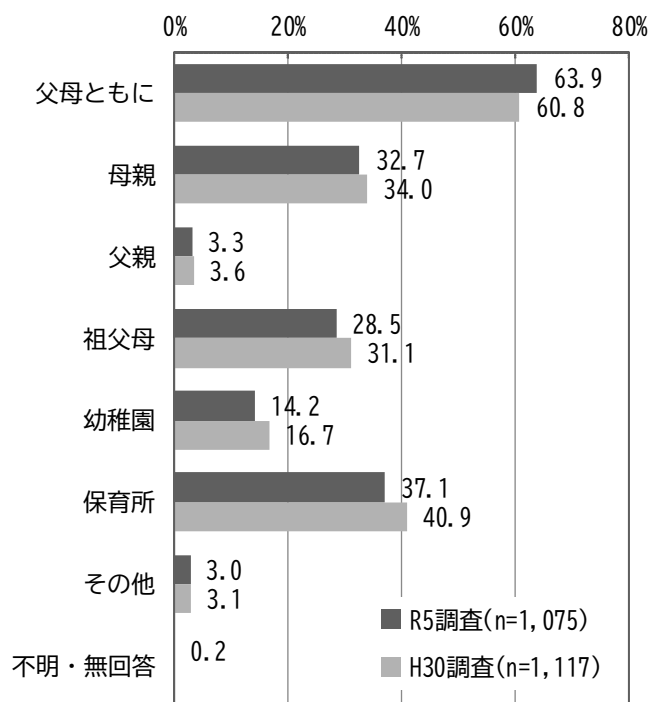
(1) 子育てに日常的に関わっている方(施設) [未：問6] <複数回答>

「父母ともに」が63.9%と最も高く、次いで「保育所」が37.1%となっています。



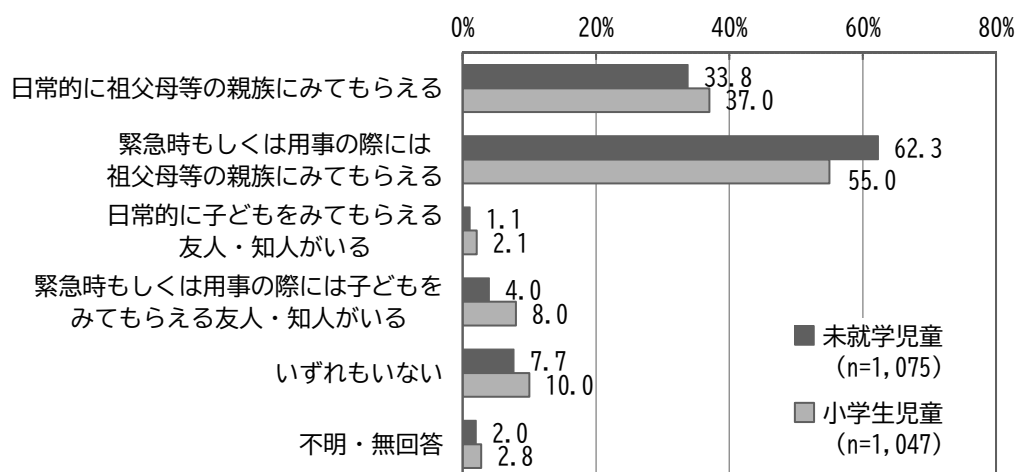
－ 前回調査結果との比較 －

○H30 調査と比較すると、R5 調査で「父母ともに」が微増となっています。



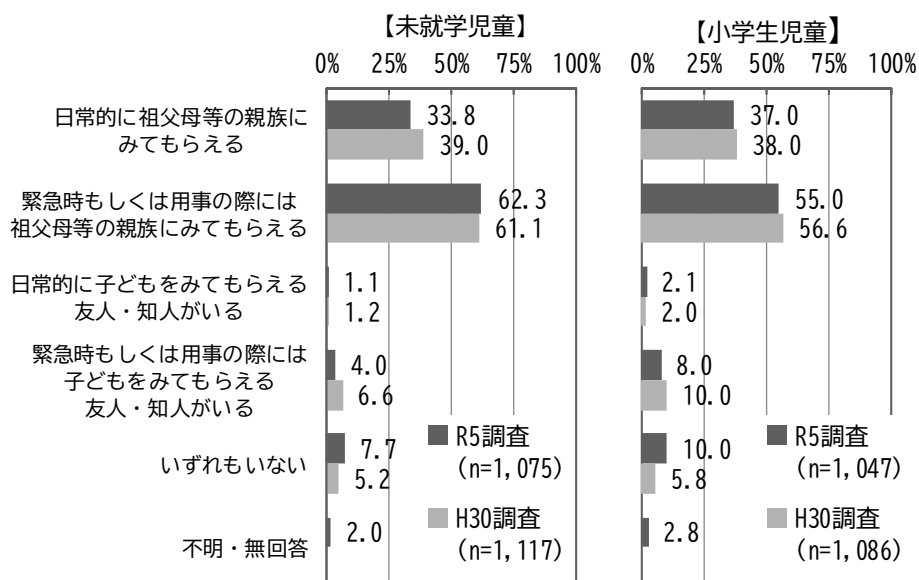
(2) お子さんをみてもらえる親族・知人はいるか [未：問7、小：問6] <複数回答>

未就学児童、小学生児童ともに「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が最も高く、それぞれ 62.3%、55.0%となっています。次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」がそれぞれ 33.8%、37.0%となっています。なお、「いずれもない」が未就学児童で 7.7%、小学生児童で 10.0%となっています。



－ 前回調査結果との比較 －

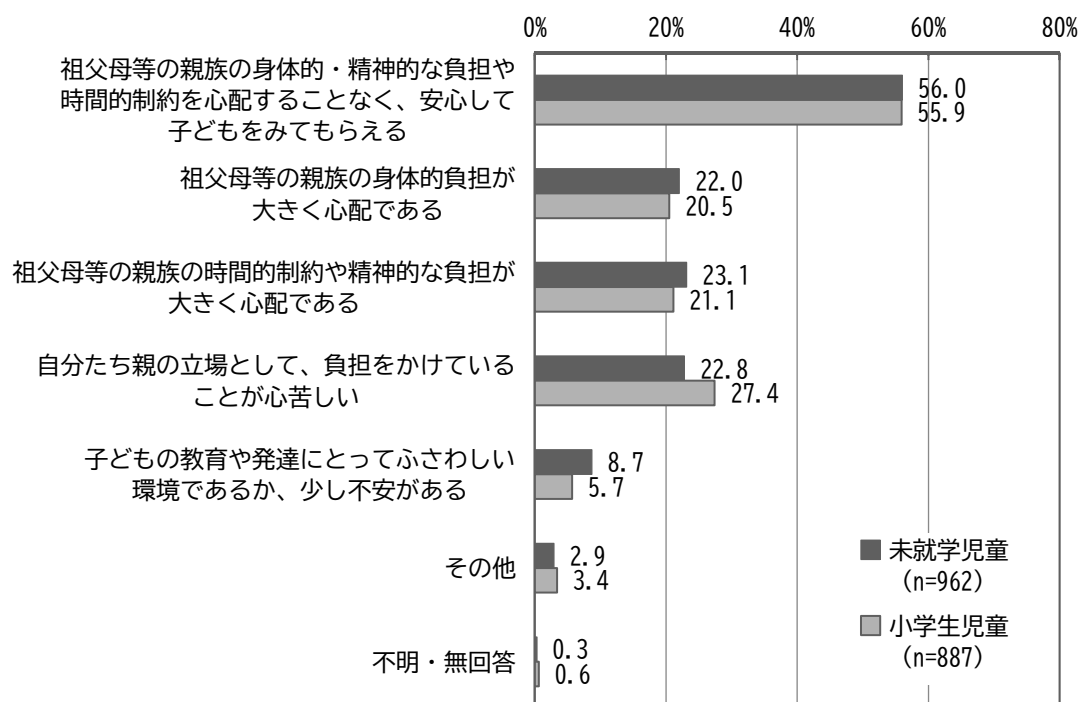
○H30 調査と比較すると、未就学児童・小学生児童ともに R5 調査で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が微減、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が未就学児童で微増、小学生児童で微減となっています。



〔「祖父母にみてもらえる」を選んだ方〕

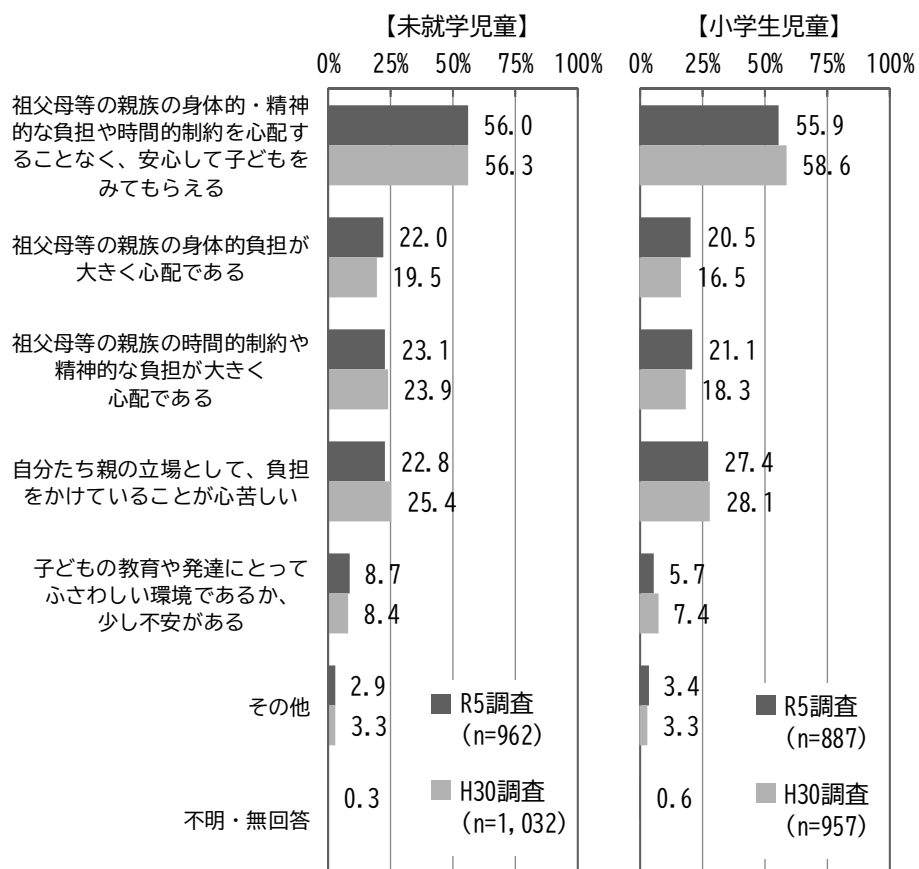
(3) 祖父母等の親族にみてもらっている状況 [未：問7-1、小：問6-1] <複数回答>

未就学児童、小学生児童ともに「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が最も高く、それぞれ 56.0%、55.9%となっています。次いで未就学児童では「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が 23.1%、小学生児童では「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 27.4%となっています。



－ 前回調査結果との比較 －

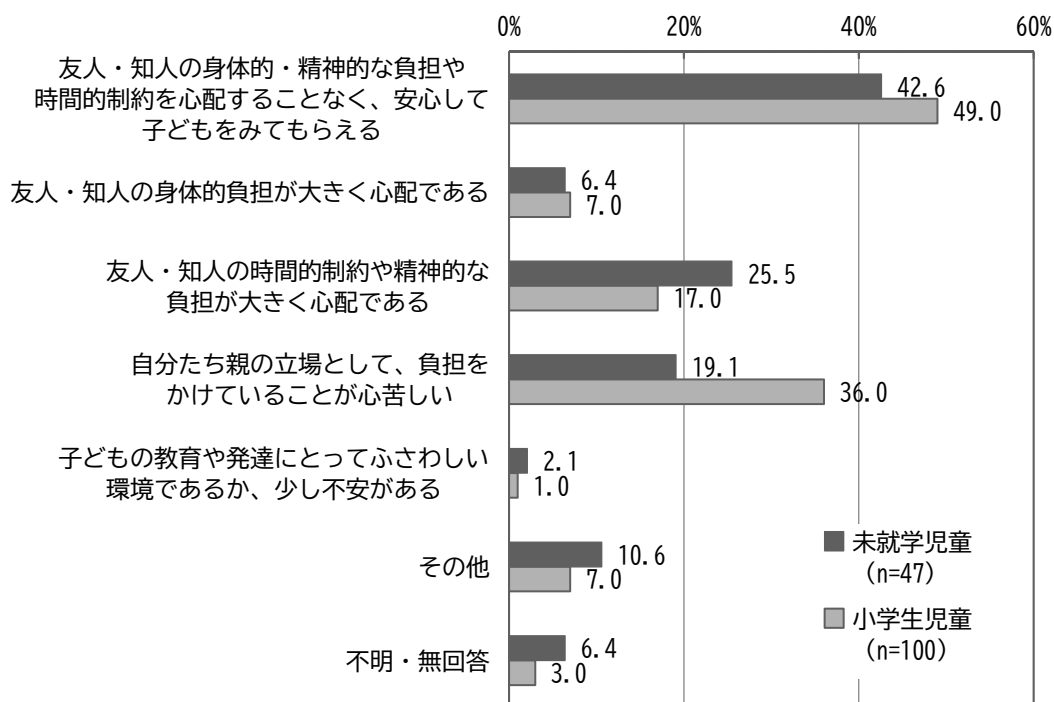
○未就学児童・小学生児童ともにいずれの項目も、H30 調査と同程度となっています。



「友人・知人にみてもらえる」を選んだ方

(4) 友人・知人にみてもらっている状況 [未：問7-2、小：問6-2] <複数回答>

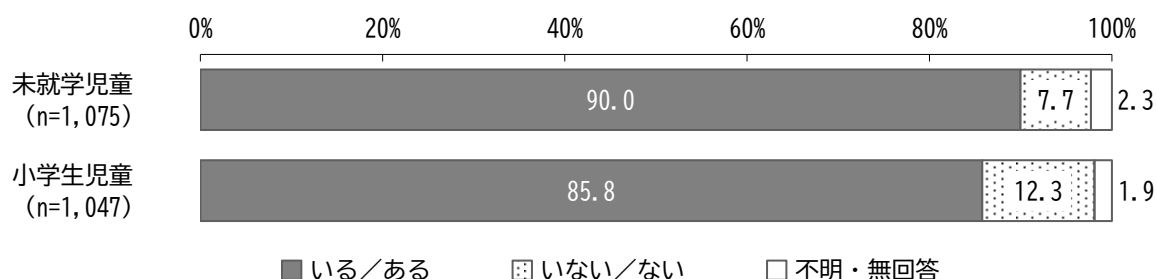
未就学児童、小学生児童ともに「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が最も高く、それぞれ 42.6%、49.0%となっています。次いで未就学児童では「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が 25.5%、小学生児童では「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 36.0%となっています。



(5) 子育てをする上で、気軽に相談できる人・場所 [未：問8、小：問7] <単数回答>

未就学児童では「いる／ある」が 90.0%、「いない／ない」が 7.7%となっています。

小学生児童では「いる／ある」が 85.8%、「いない／ない」が 12.3%となっています。

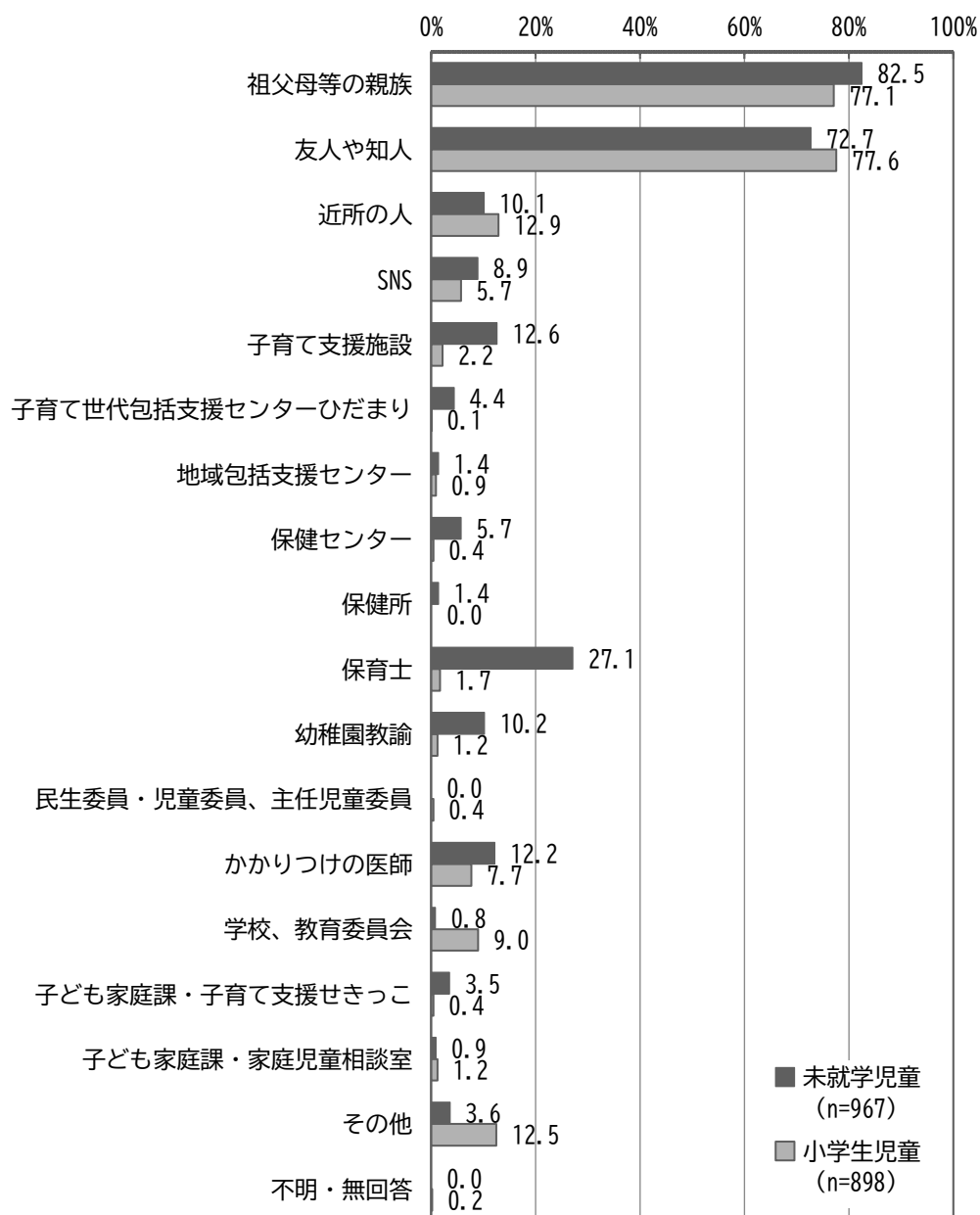


〔相談できる人・場所がある／ある〕を選んだ方〕

(6) 気軽に相談できる先 [未：問8-1、小：問7-1] <複数回答>

未就学児童では「祖父母等の親族」が 82.5%と最も高く、次いで「友人や知人」が 72.7%となっています。

小学生児童では「友人や知人」が 77.6%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」が 77.1%となっています。



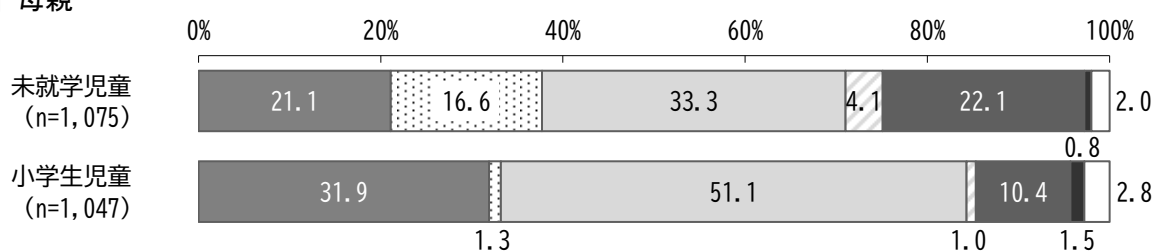
3. 保護者の就労状況について

(1) 保護者の就労状況 [未：問9、小：問8] <単数回答>

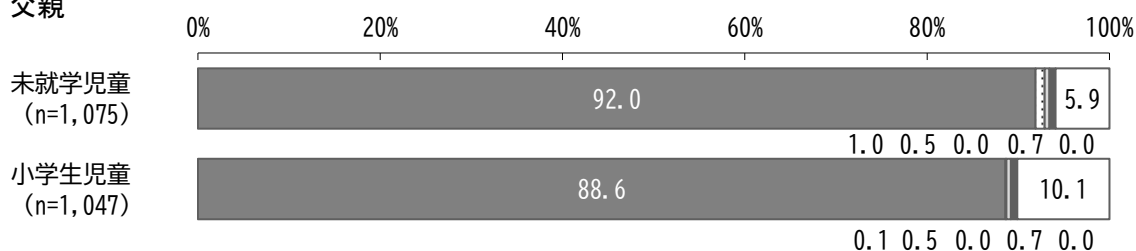
母親は、未就学児童、小学生児童ともに「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が最も高く、それぞれ 33.3%、51.1%となっています。次いで未就学児童では「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 22.1%、小学生児童では「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 31.9%となっています。

父親は、未就学児童、小学生児童ともに「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が最も高く、それぞれ 92.0%、88.6%となっています。

【1】母親



【2】父親



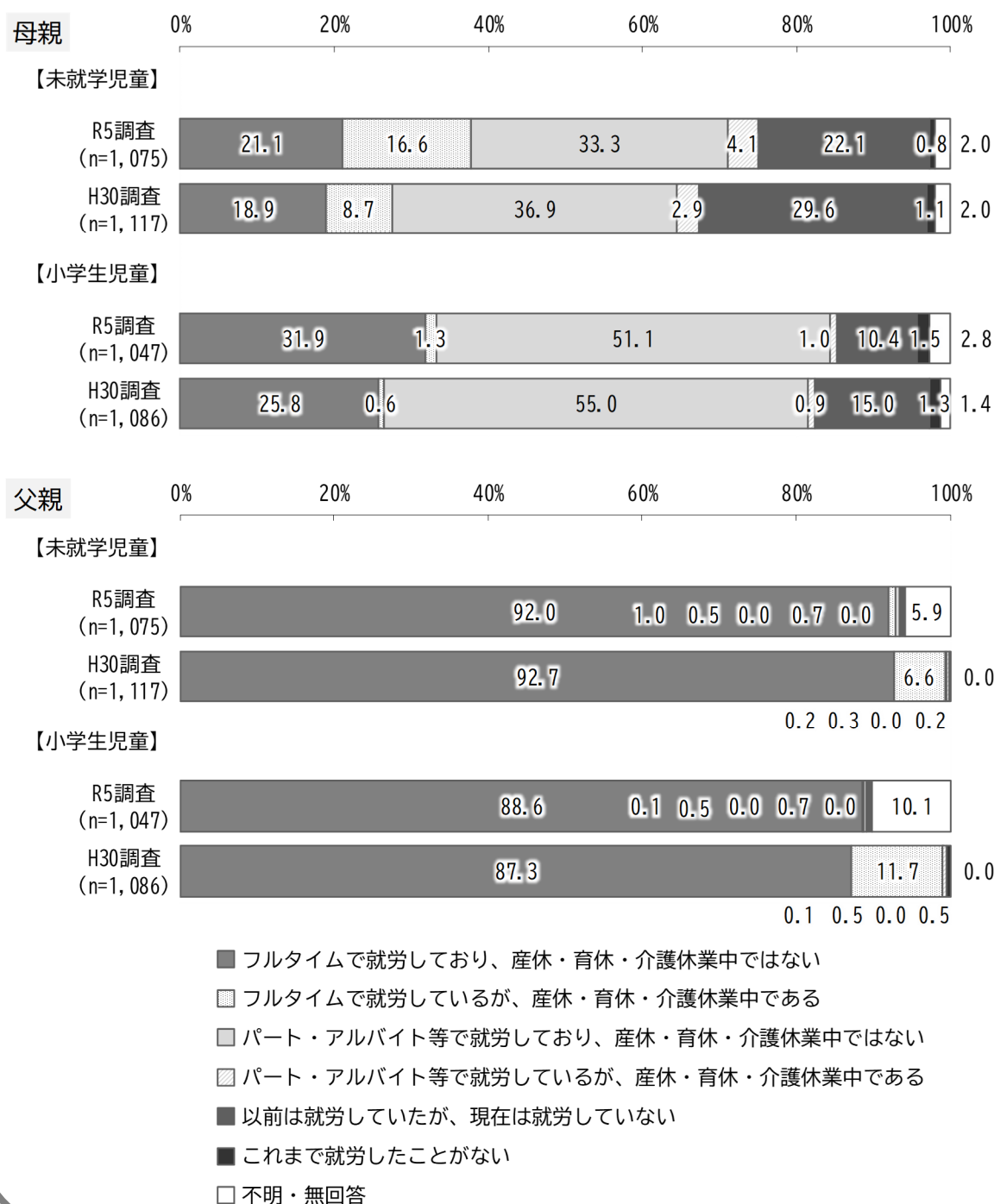
- フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▨ フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▨ パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 不明・無回答

－ 前回調査結果との比較 －

○未就学児童の母親について H30 調査と比較すると、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が 7.9 ポイント高くなっています。『フルタイムで就労（産休・育休・介護休業中を含む）』は R5 調査で 37.7%と、H30 調査と比べて 10.1 ポイント高くなっています。

○小学生児童の母親について H30 調査と比較すると、『フルタイムで就労（産休・育休・介護休業中を含む）』は R5 調査で 33.2%と、H30 調査と比べて 6.8 ポイント高くなっています。

○父親について H30 調査と比較すると、未就学児童・小学生児童ともに「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中ではない」は同程度となっています。



〔「就労している」を選んだ方〕

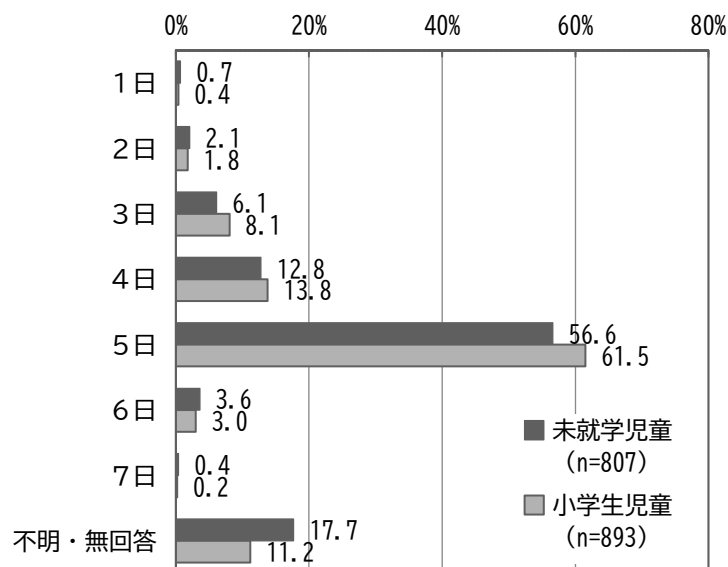
(2) 就労日数及び就労時間 〔未：問9-1、小：問8-1〕 〈数量回答〉

母親は、未就学児童、小学生児童ともに「5日」が最も高く、それぞれ 56.6%、61.5%となっています。次いで「4日」がそれぞれ 12.8%、13.8%となっています。

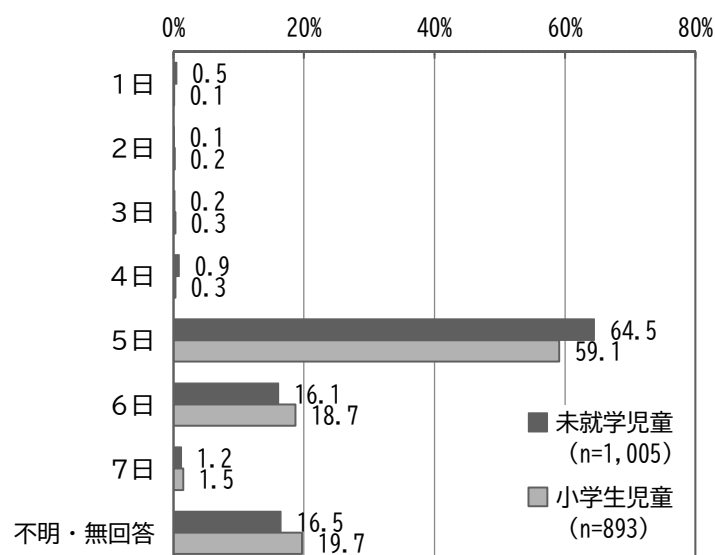
父親は、未就学児童、小学生児童ともに「5日」が最も高く、それぞれ 64.5%、59.1%となっています。次いで「6日」がそれぞれ 16.1%、18.7%となっています。

■ 1週当たりの就労日数

【1】母親



【2】父親

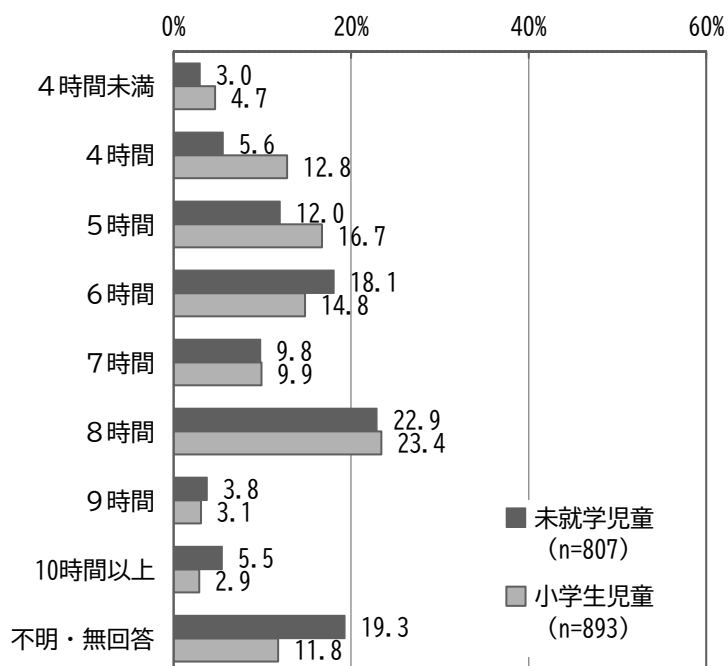


母親は、未就学児童、小学生児童ともに「8時間」が最も高く、それぞれ 22.9%、23.4%となっています。次いで未就学児童では「6時間」が 18.1%、小学生児童では「5時間」が 16.7%となっています。

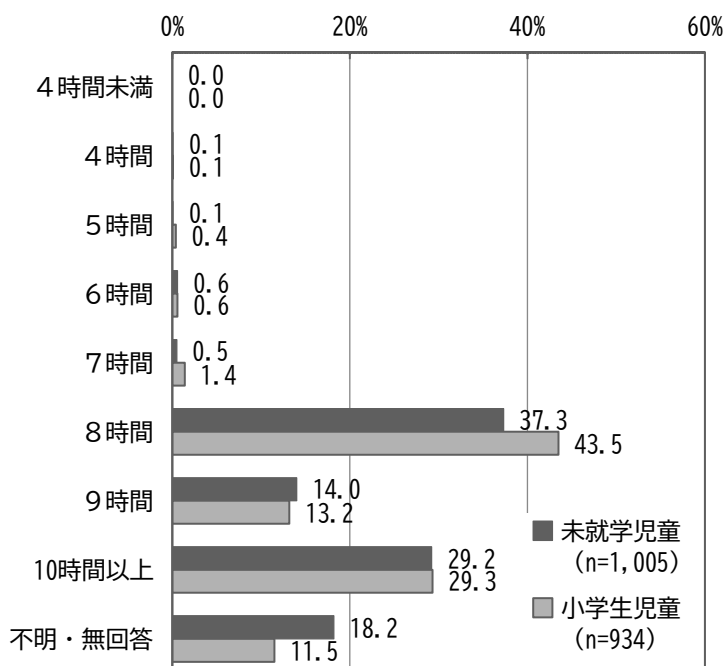
父親は、未就学児童、小学生児童ともに「8時間」が最も高く、それぞれ 37.3%、43.5%となっています。次いで「10時間以上」がそれぞれ 29.2%、29.3%となっています。

■ 1日当たりの就労時間

【1】母親



【2】父親



〔「就労している」を選んだ方〕

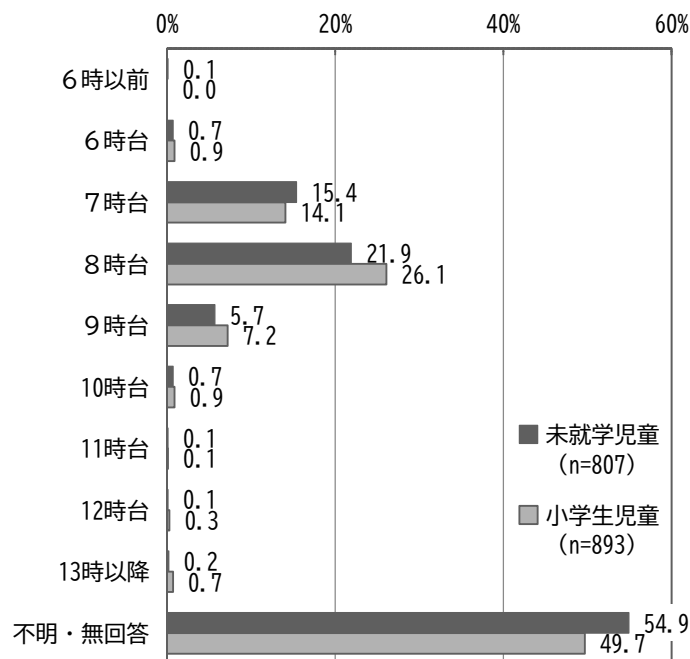
(3) 家を出る時刻と帰宅時刻 [未：問9-2、小：問8-2] <数量回答>

母親は、未就学児童、小学生児童ともに「8時台」が最も高く、それぞれ 21.9%、26.1%となっています。次いで「7時台」がそれぞれ 15.4%、14.1%となっています。

父親は、未就学児童、小学生児童ともに「7時台」が最も高く、それぞれ 22.7%、27.2%となっています。次いで「6時台」がそれぞれ 10.5%、11.3%となっています。

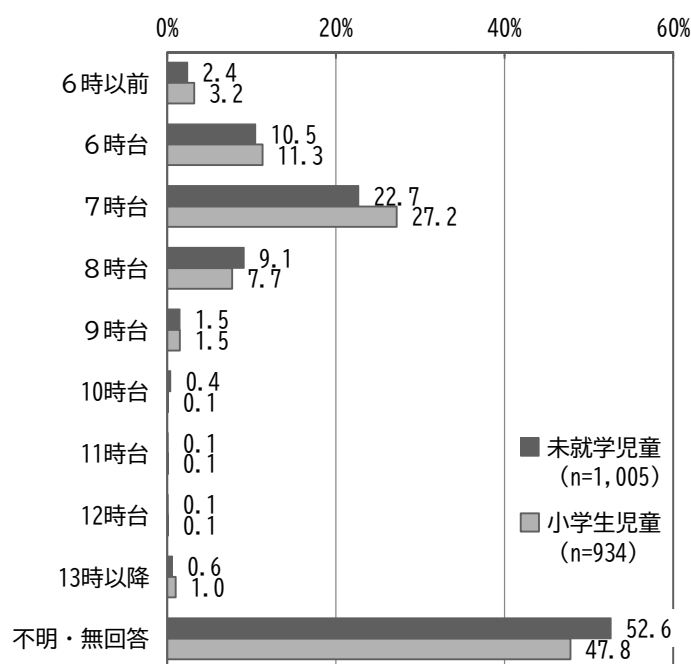
■家を出る時刻

【1】母親



※Web回答において、時刻の入力が困難だったため、不明・無回答が多くなっています。

【2】父親



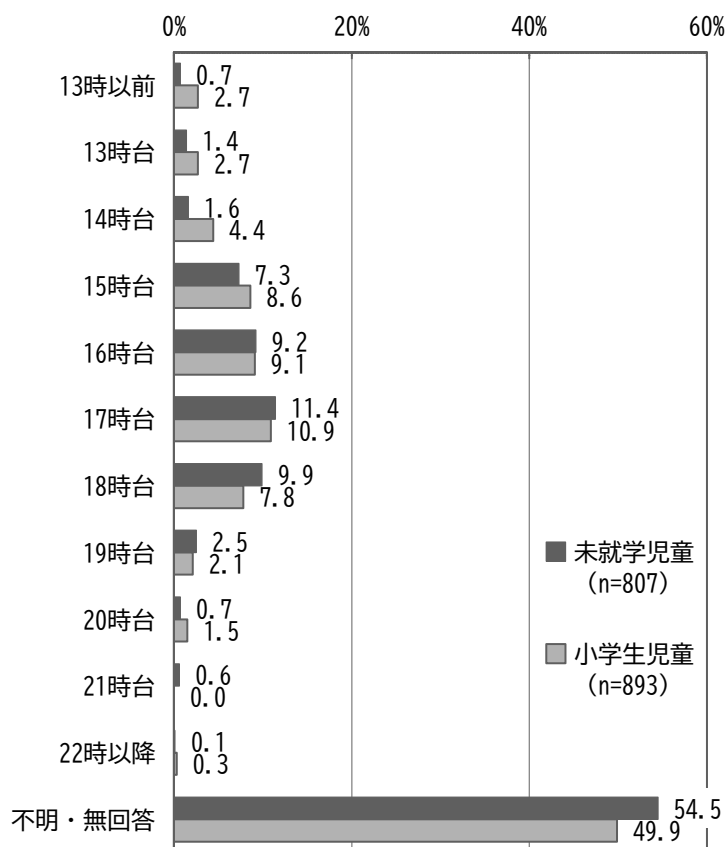
※Web回答において、時刻の入力が困難だったため、不明・無回答が多くなっています。

母親は、未就学児童、小学生児童ともに「17 時台」が最も高く、それぞれ 11.4%、10.9%となっています。次いで未就学児童では「18 時台」が 9.9%、小学生児童では「16 時台」が 9.1%となっています。

父親は、未就学児童、小学生児童ともに「18 時台」が最も高く、それぞれ 16.1%、14.1%となっています。次いで「19 時台」がそれぞれ 10.7%、12.8%となっています。

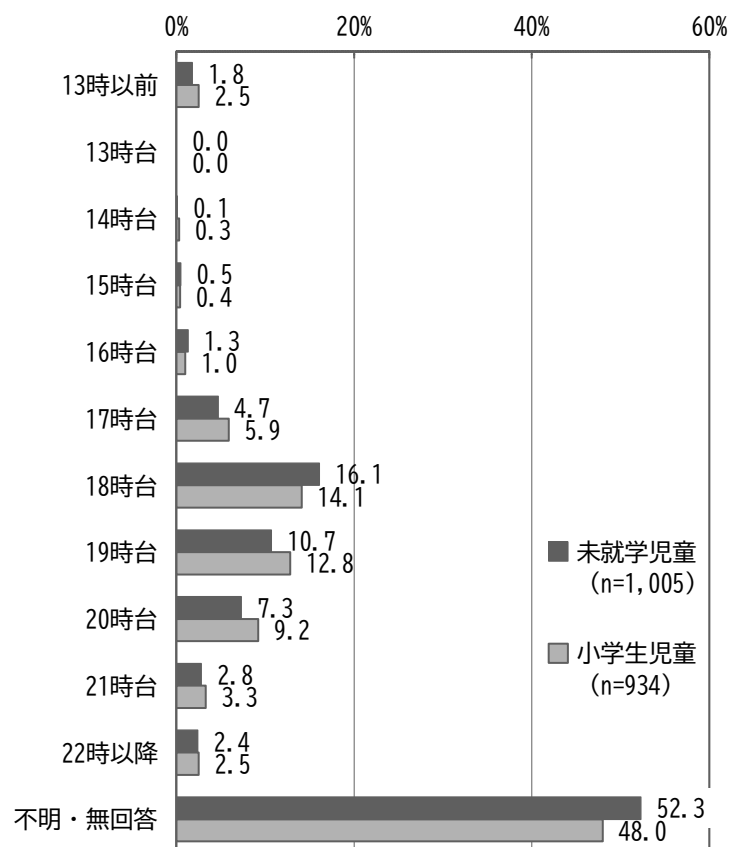
■ 帰宅時刻

【1】 母親



※Web回答において、時刻の入力が困難だったため、不明・無回答が多くなっています。

【2】父親



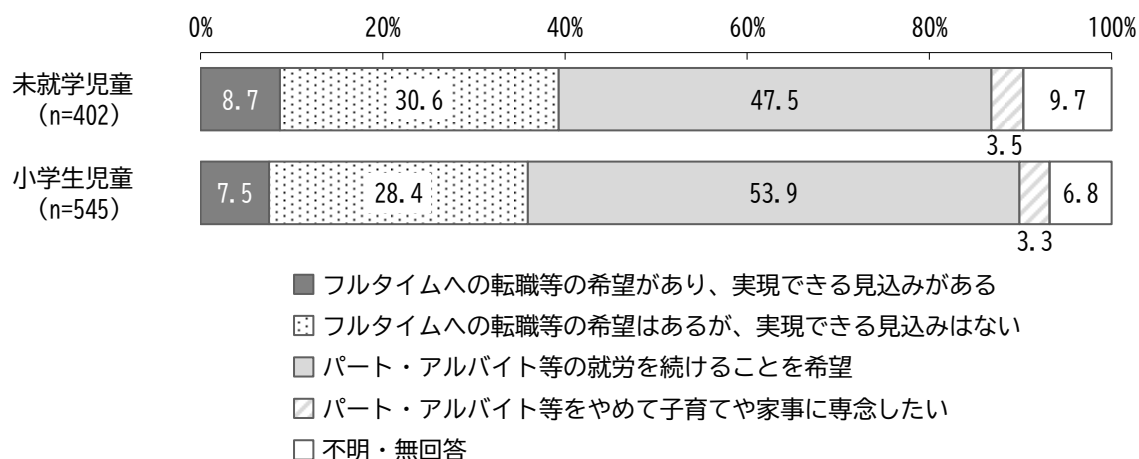
※Web回答において、時刻の入力が困難だったため、不明・無回答が多くなっています。

〔「パート・アルバイト等で就労している」を選んだ方〕

(4) フルタイムへの就労意向 [未：問9-3、小：問8-3] <単数回答>

母親は、未就学児童、小学生児童ともに「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が最も高く、それぞれ 47.5%、53.9%となっています。次いで「フルタイムへの転職等の希望はあるが、実現できる見込みはない」がそれぞれ 30.6%、28.4%となっています。

【1】母親



【2】父親

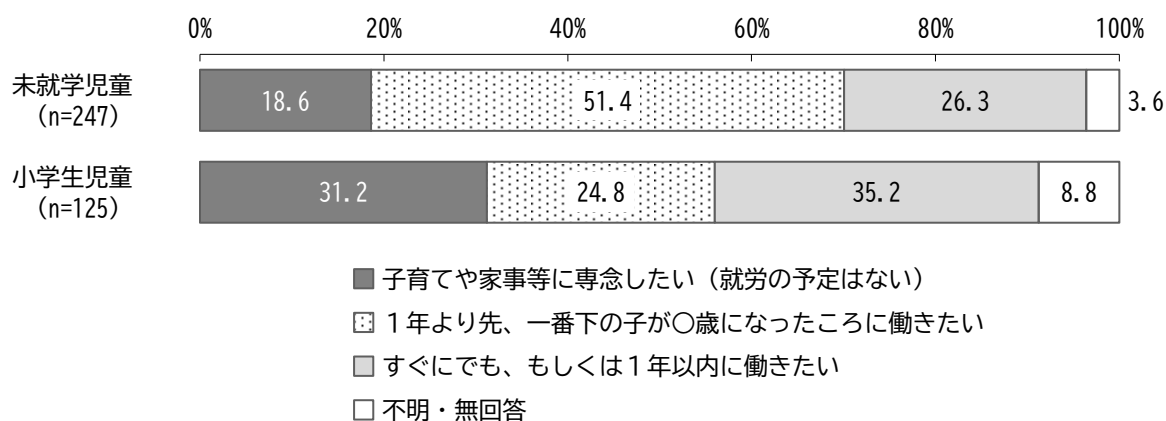
(単位：件数)	フルタイムへの転職等の希望があり、実現できる見込みがある	フルタイムへの転職等の希望はあるが、実現できる見込みはない	パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	不明・無回答
未就学児童 (n=5)	0	1	3	0	1
小学生児童 (n=5)	2	0	1	0	2

〔「現在就労していない」を選んだ方〕

(5) 就労希望 [未：問9-4、小：問8-4] <単数回答>

未就学児童の母親は「子育てや家事等に専念したい（就労の予定はない）」が 18.6%、「1年より先、一番下の子が〇歳になったころに働きたい」が 51.4%、「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」が 26.3%となっています。小学生児童の母親は「子育てや家事等に専念したい（就労の予定はない）」が 31.2%、「1年より先、一番下の子が〇歳になったころに働きたい」が 24.8%、「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」が 35.2%となっています。

【1】母親



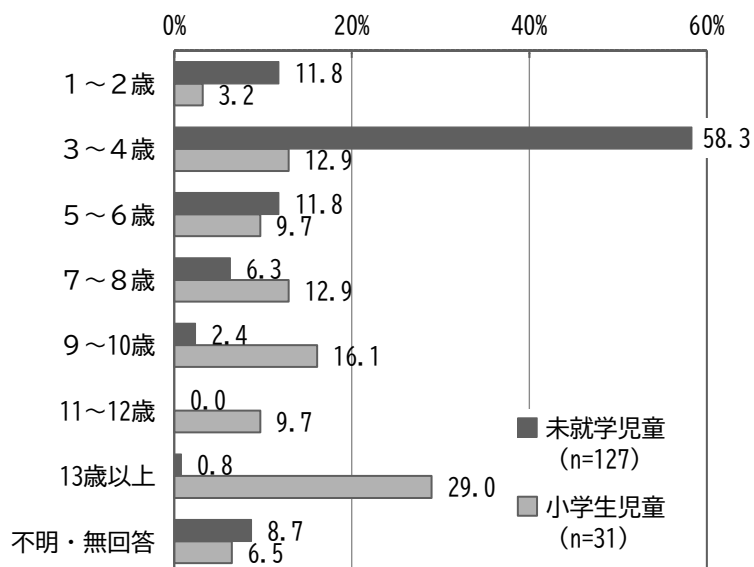
【2】父親

(単位：件数)	子育てや家事等に専念したい (就労の予定はない)	1年より先、一番下の子が 〇歳になったころに働きたい	すぐにでも、もしくは1年以内に 働きたい	不明・無回答
未就学児童 (n=7)	3	0	2	2
小学生児童 (n=7)	1	0	3	3

未就学児童の母親は「3～4歳」が58.3%と最も高く、次いで「1～2歳」「5～6歳」がそれぞれ11.8%となっています。小学生児童の母親は「13歳以上」が29.0%と最も高く、次いで「9～10歳」が16.1%となっています。

■一番下の子が〇歳になったころ働きたい

【1】母親



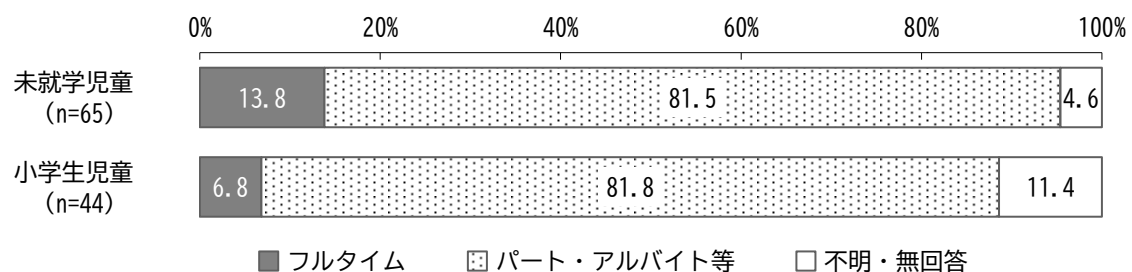
【2】父親

※回答はありませんでした。

未就学児の母親は「フルタイム」が13.8%、「パート・アルバイト等」が81.5%となっています。
小学生児の母親は「フルタイム」が6.8%、「パート・アルバイト等」が81.8%となっています。

■希望する就労形態

【1】母親



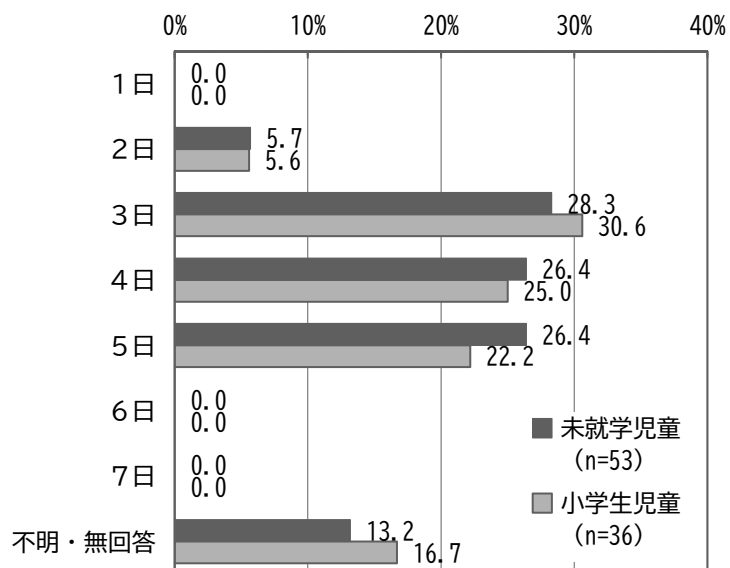
【2】父親

	フルタイム	パート・アルバイト等	不明・無回答
(単位：件数)			
未就学児 (n=2)	2	0	0
小学生児 (n=3)	2	1	0

母親は、未就学児童、小学生児童ともに「3日」が最も高く、それぞれ 28.3%、30.6%となっています。次いで未就学児童では「4日」「5日」がそれぞれ26.4%、小学生児童では「4日」が25.0%となっています。

■希望する就労日数

【1】母親



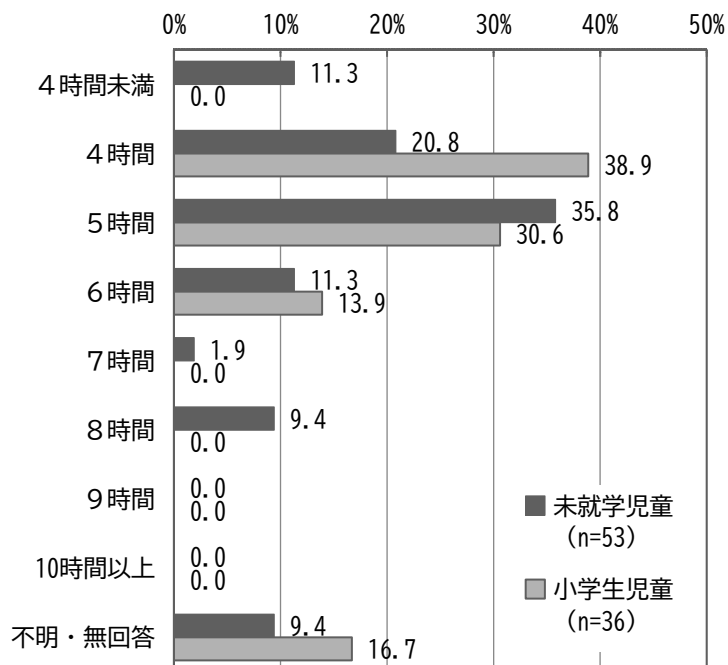
【2】父親

※未就学児童では回答はありませんでした。小学生児童では「5日」で1件の回答がありました。

未就学児童の母親は「5時間」が35.8%と最も高く、次いで「4時間」が20.8%となっています。
小学生児童の母親は「4時間」が38.9%と最も高く、次いで「5時間」が30.6%となっています。

■希望する就労時間

【1】母親



【2】父親

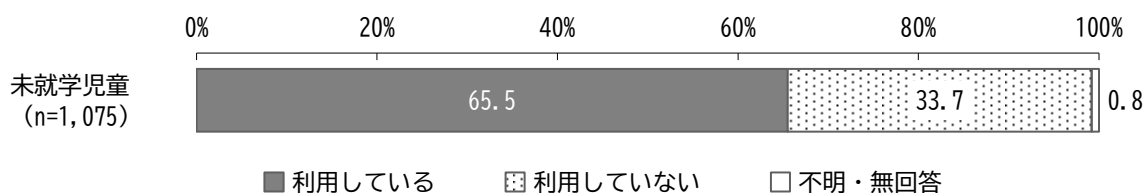
※未就学児童では回答はありませんでした。小学生児童では「5時間」で1件の回答がありました。

4. 平日の定期的な幼稚園・保育所等の利用状況について

※未就学児童のみ

(1) 「定期的な教育・保育の事業」の利用状況 [未：問 10] <単数回答>

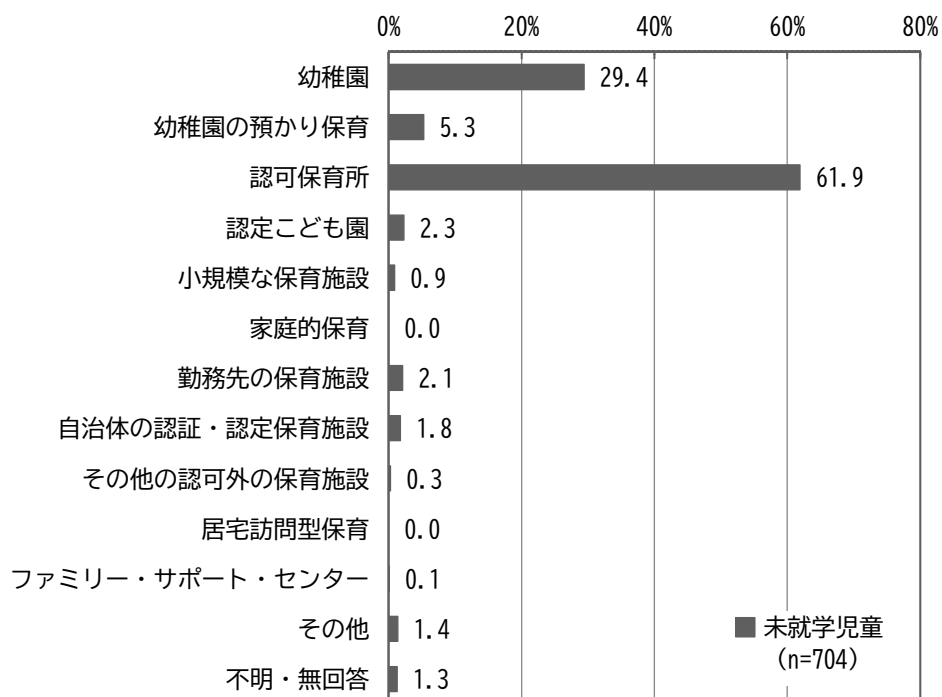
「利用している」が 65.5% 「利用していない」が 33.7%となっています。



[「利用している」を選んだ方]

(2) 利用している内容 [未：問 10-1] <複数回答>

「認可保育所」が 61.9%と最も高く、次いで「幼稚園」が 29.4%となっています。



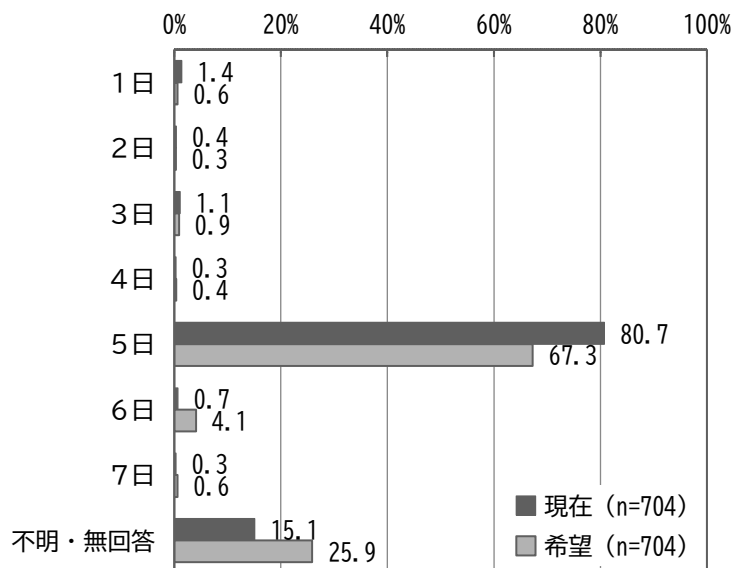
〔「利用している」を選んだ方〕

(3) 利用している日数及び時間 [未：問 10-2] <数量回答>

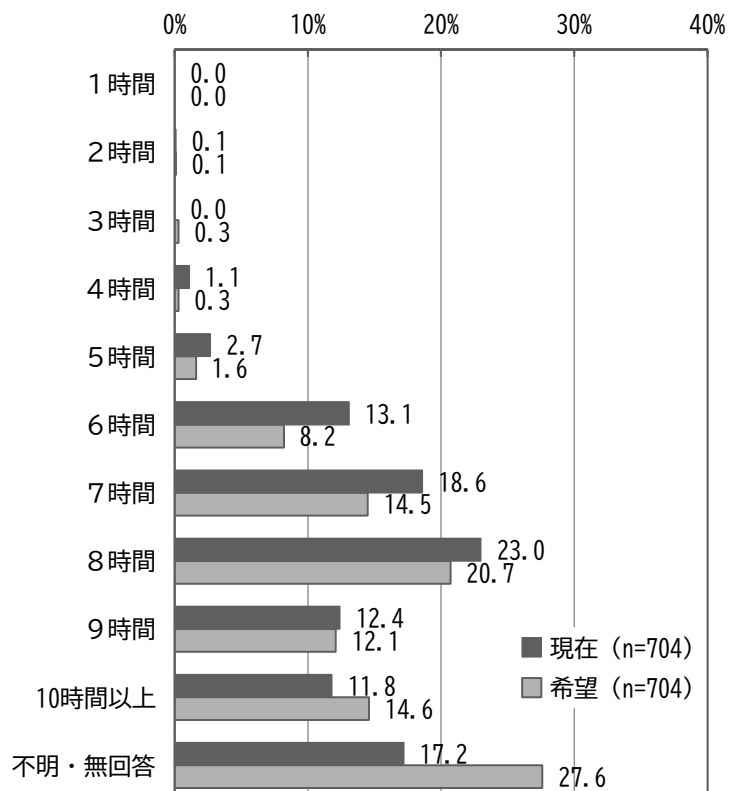
1 週当たりの利用日数について、現在、希望ともに「5 日」が最も高く、それぞれ 80.7%、67.3% となっています。次いで現在では「1 日」が 1.4%、希望では「6 日」が 4.1%となっています。

1 日当たりの利用時間について、現在、希望ともに「8 時間」が最も高く、それぞれ 23.0%、20.7%となっています、次いで現在では「7 時間」が 18.6%、希望では「10 時間以上」が 14.6%となっています。

■ 1 週当たりの利用日数



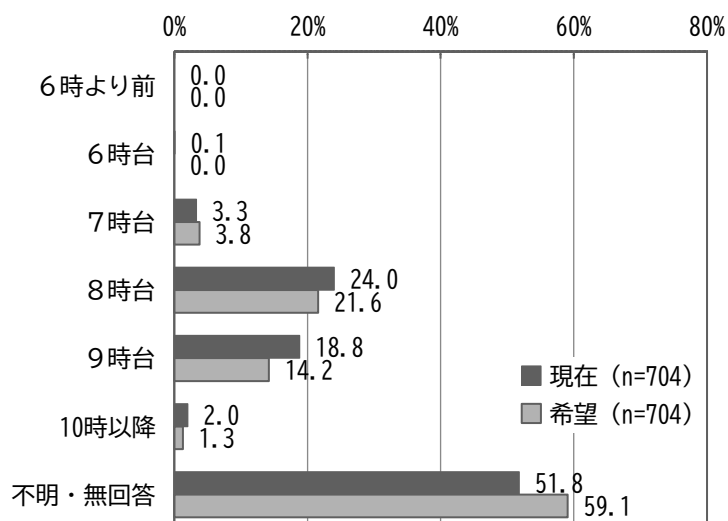
■ 1 日当たりの利用時間



利用開始時刻について、現在、希望ともに「8 時台」が最も高く、それぞれ 24.0%、21.6%となっています。次いで「9 時台」がそれぞれ 18.8%、14.2%となっています。

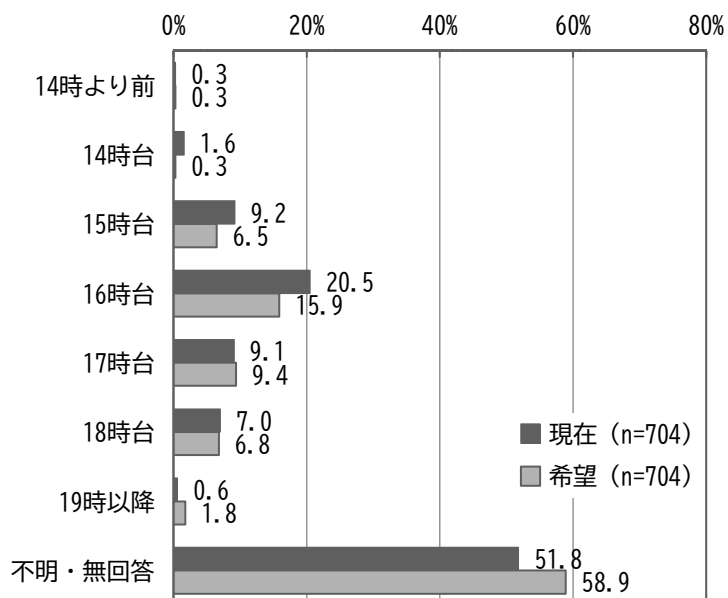
利用終了時刻について、現在、希望ともに「16 時台」が最も高く、それぞれ 20.5%、15.9%となっています。次いで現在では「15 時台」が 9.2%、希望では「17 時台」が 9.4%となっています。

■利用開始時刻



※Web回答において、時刻の入力が困難だったため、不明・無回答が多くなっています。

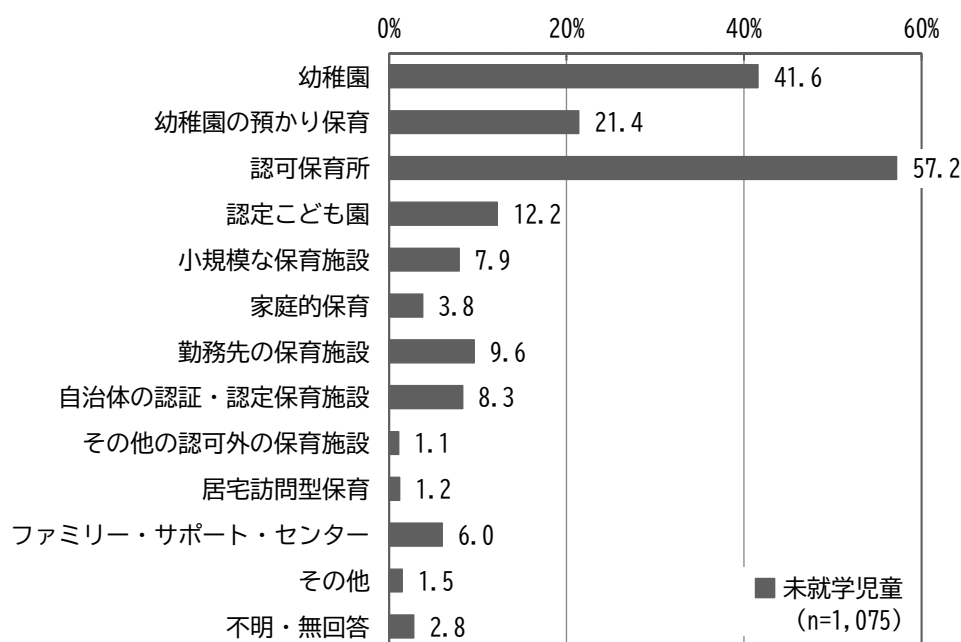
■利用終了時刻



※Web回答において、時刻の入力が困難だったため、不明・無回答が多くなっています。

(4) 「定期的に」利用したいと考える幼稚園・保育所等の施設やサービス [未：問 11] <複数回答>

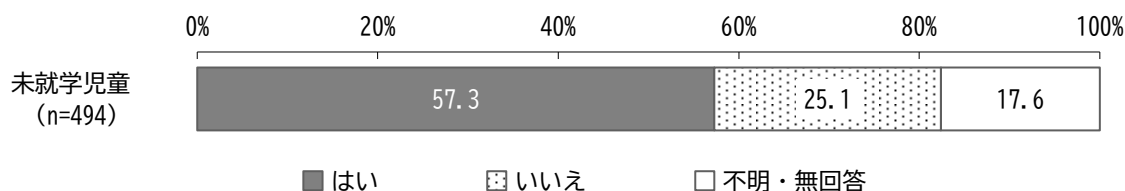
「認可保育所」が 57.2%と最も高く、次いで「幼稚園」が 41.6%となっています。



〔「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」を選んだ方〕

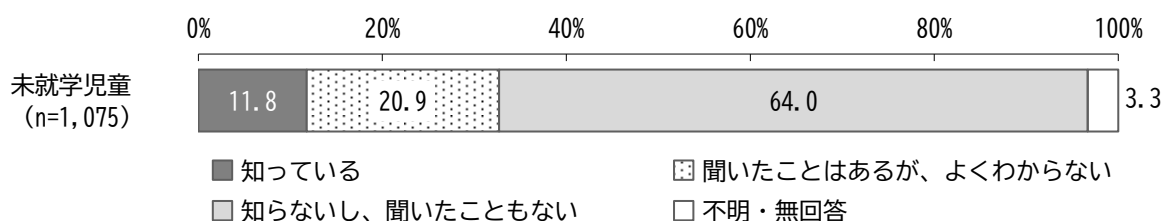
(5) 幼稚園での利用を強く希望するか [未：問 11-1] <単数回答>

「はい」が 57.3%、「いいえ」が 25.1%となっています。



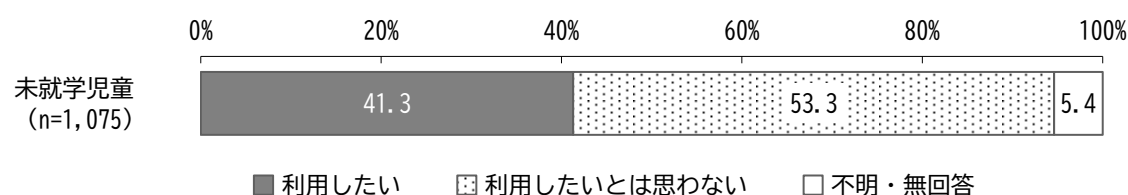
(6) 「こども誰でも通園制度」の認知度 [未：問 12] <単数回答>

「知っている」が 11.8%、「聞いたことはあるが、よくわからない」が 20.9%、「知らないし、聞いたこともない」が 64.0%となっています。



(7) 「こども誰でも通園制度」を利用したいと思うか [未：問 12-1] <単数回答・数量回答>

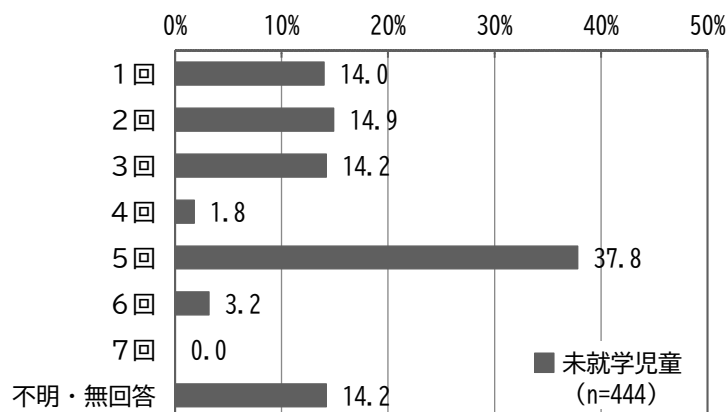
「利用したい」が41.3%、「利用したいとは思わない」が53.3%となっています。



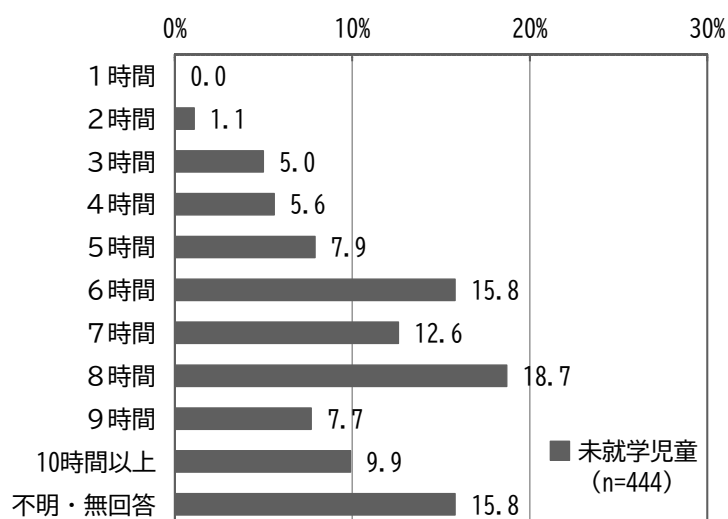
1週あたりの利用日数について、「5回」が37.8%と最も高く、次いで「2回」が14.9%となっています。

1日あたりの利用時間について、「8時間」が18.7%と最も高く、次いで「6時間」が15.8%となっています。

■ 1週あたりの利用日数



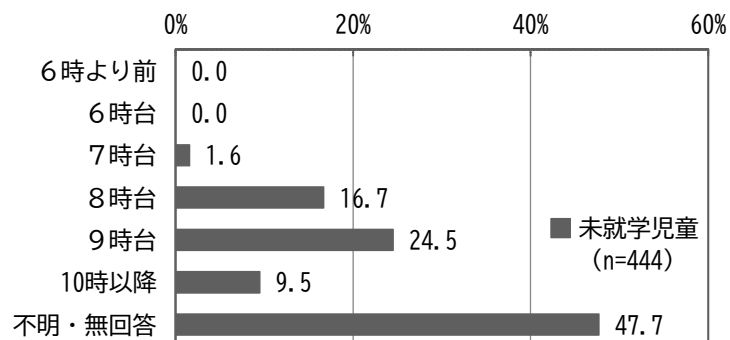
■ 1日あたりの利用時間



利用開始時刻について、「9 時台」が 24.5%と最も高く、次いで「8 時台」が 16.7%となっています。

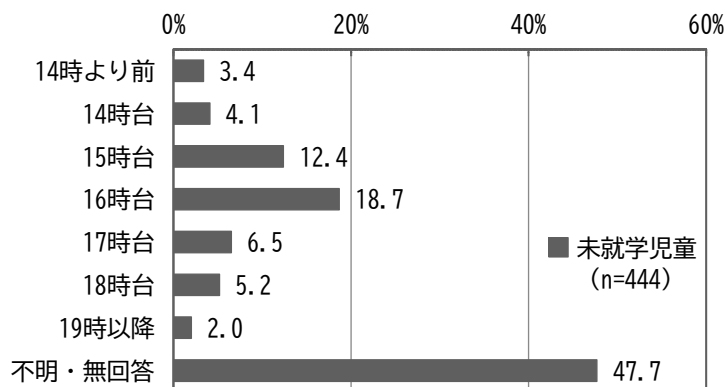
利用終了時刻について、「16 時台」が 18.7%と最も高く、次いで「15 時台」が 12.4%となっています。

■利用開始時刻



※W e b 回答において、時刻の入力が困難だったため、不明・無回答が多くなっています。

■利用終了時刻



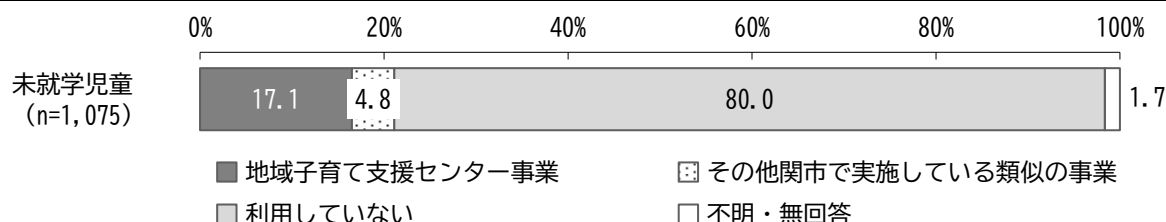
※W e b 回答において、時刻の入力が困難だったため、不明・無回答が多くなっています。

5. 子育て支援事業の利用状況について

※未就学児童のみ

(1) 地域子育て支援センター事業の利用状況 [未：問13] <単数回答・数量回答>

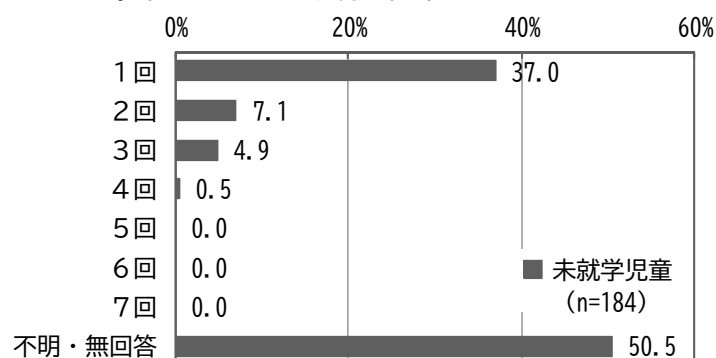
「地域子育て支援事業センター事業」が17.1%「その他関市で実施している類似の事業」が4.8%、「利用していない」が80.0%となっています。



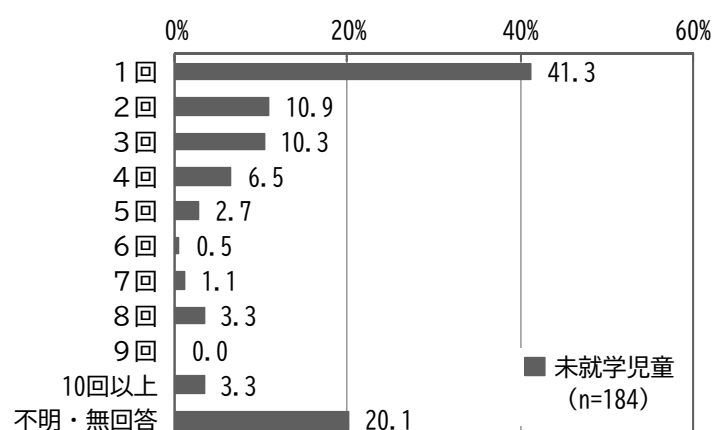
地域子育て支援事業センター事業の1週当たり利用回数について、「1回」が37.0%と最も高く、次いで「2回」が7.1%となっています。

地域子育て支援事業センター事業の1か月当たりの利用回数について、「1回」が41.3%と最も高く、次いで「2回」が10.9%となっています。

■地域子育て支援事業センター事業の1週当たり利用回数



■地域子育て支援事業センター事業の1か月当たりの利用回数

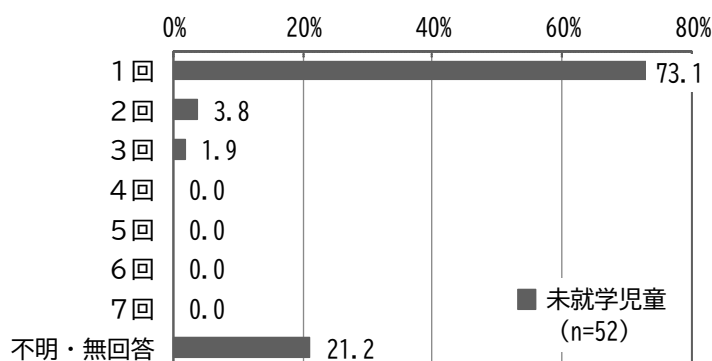


※本設問は、「地域子育て支援センター事業」を利用している方に、それぞれ「1週当たり」もしくは「1か月当たり」の利用回数をお聞きしています。どちらかにご回答していただく内容ですが、どちらにも回答されているケースもあるため、本調査結果は、回答者が回答された数値をいずれかにまとめることなく、そのまま結果として掲載しています。

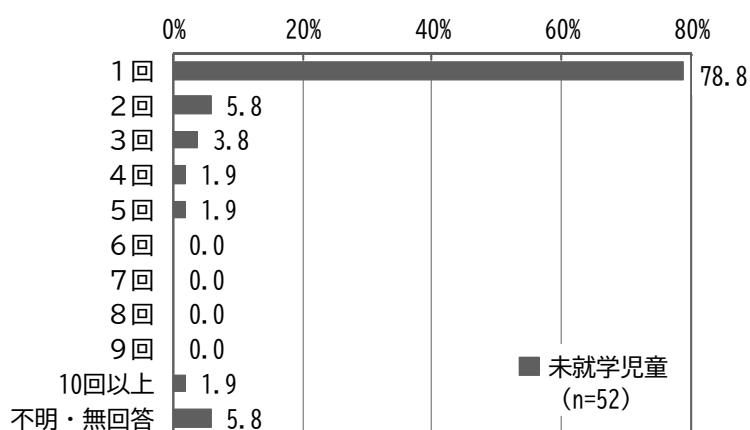
その他関市で実施している類似の事業の1週当たり利用回数について、「1回」が73.1%と最も高く、次いで「2回」が3.8%となっています。

その他関市で実施している類似の事業の1か月当たりの利用回数について、「1回」が78.8%と最も高く、次いで「2回」が5.8%となっています。

■その他関市で実施している類似の事業の1週当たり利用回数



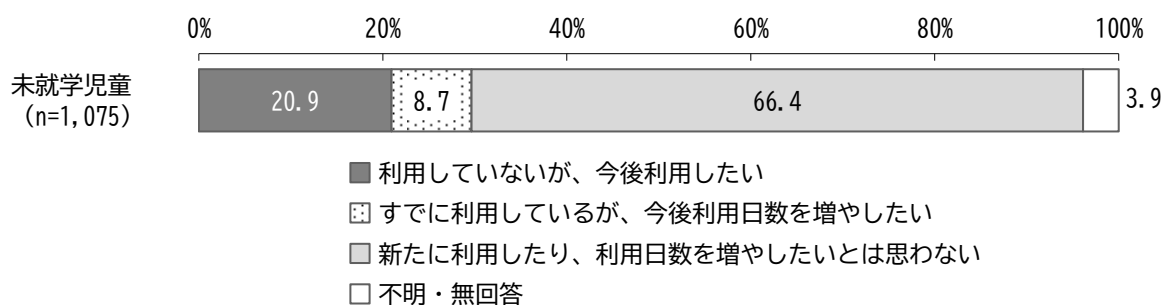
■その他関市で実施している類似の事業の1か月当たりの利用回数



※本設問は、「その他関市で実施している類似の事業」を利用している方に、それぞれ「1週当たり」もしくは「1か月当たり」の利用回数をお聞きしています。どちらかにご回答していただく内容ですが、どちらにも回答されているケースもあるため、本調査結果は、回答者が回答された数値をいずれかにまとめることなく、そのまま結果として掲載しています。

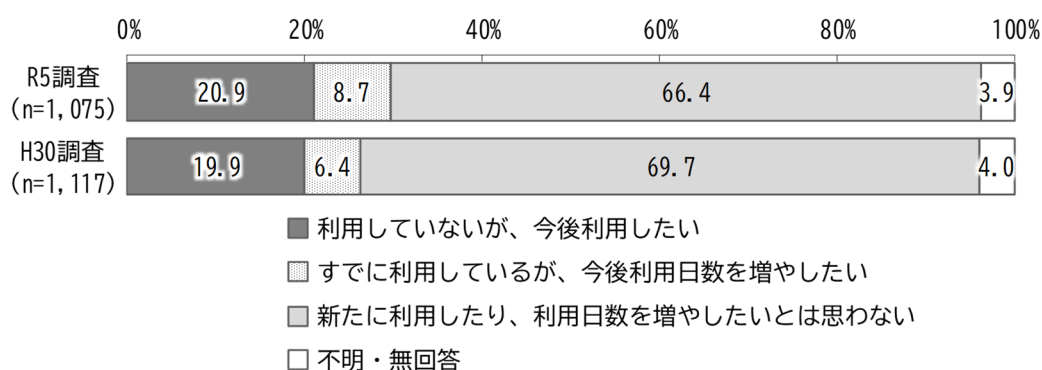
(2) 地域子育て支援センター事業の利用意向 [未：問14] <単数回答・数量回答>

「利用していないが、今後利用したい」が 20.9% 「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が 8.7%、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 66.4%となっています。



－ 前回調査結果との比較 －

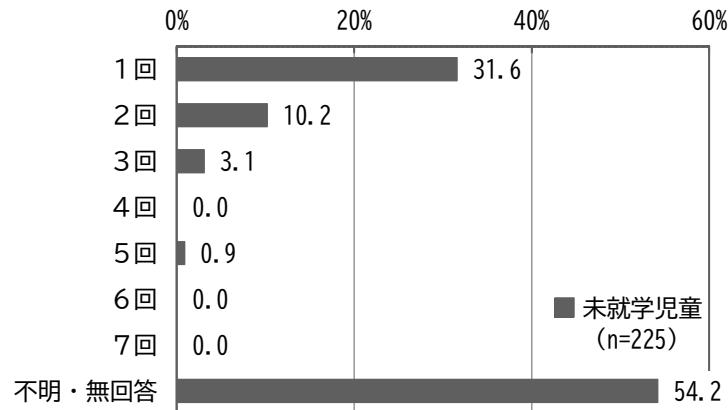
○H30 調査と比較すると、「利用していないが、今後利用したい」「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が、それぞれ微増となっています。



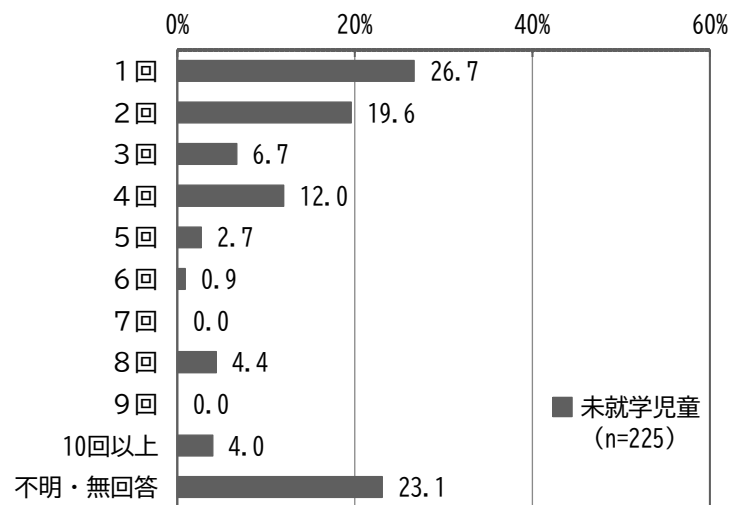
今後の利用意向の1週当たり利用回数について、「1回」が31.6%と最も高く、次いで「2回」が10.2%となっています。

今後の利用意向の1か月当たりの利用回数について、「1回」が26.7%と最も高く、次いで「2回」が19.6%となっています。

■今後の利用意向の1週当たり利用回数



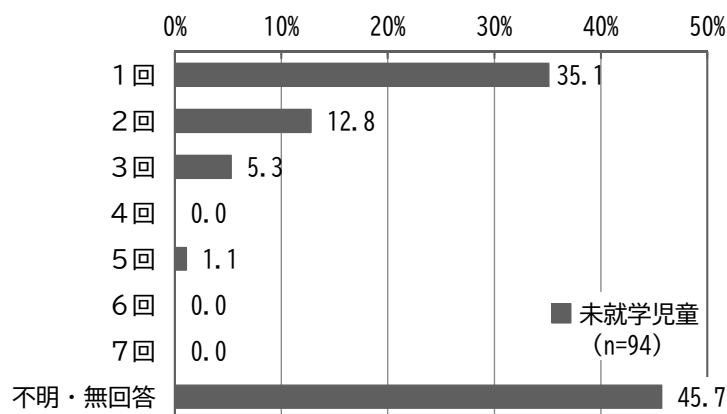
■今後の利用意向の1か月当たりの利用回数



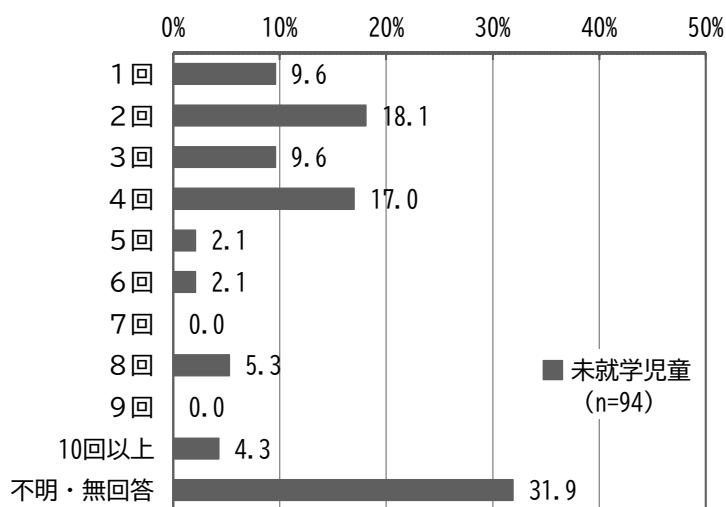
今後の利用増加意向の1週当たり利用回数について、「1回」が35.1%と最も高く、次いで「2回」が12.8%となっています。

今後の利用意向の1か月当たりの利用回数について、「2回」が18.1%と最も高く、次いで「4回」が17.0%となっています。

■今後の利用増加意向の1週当たり利用回数



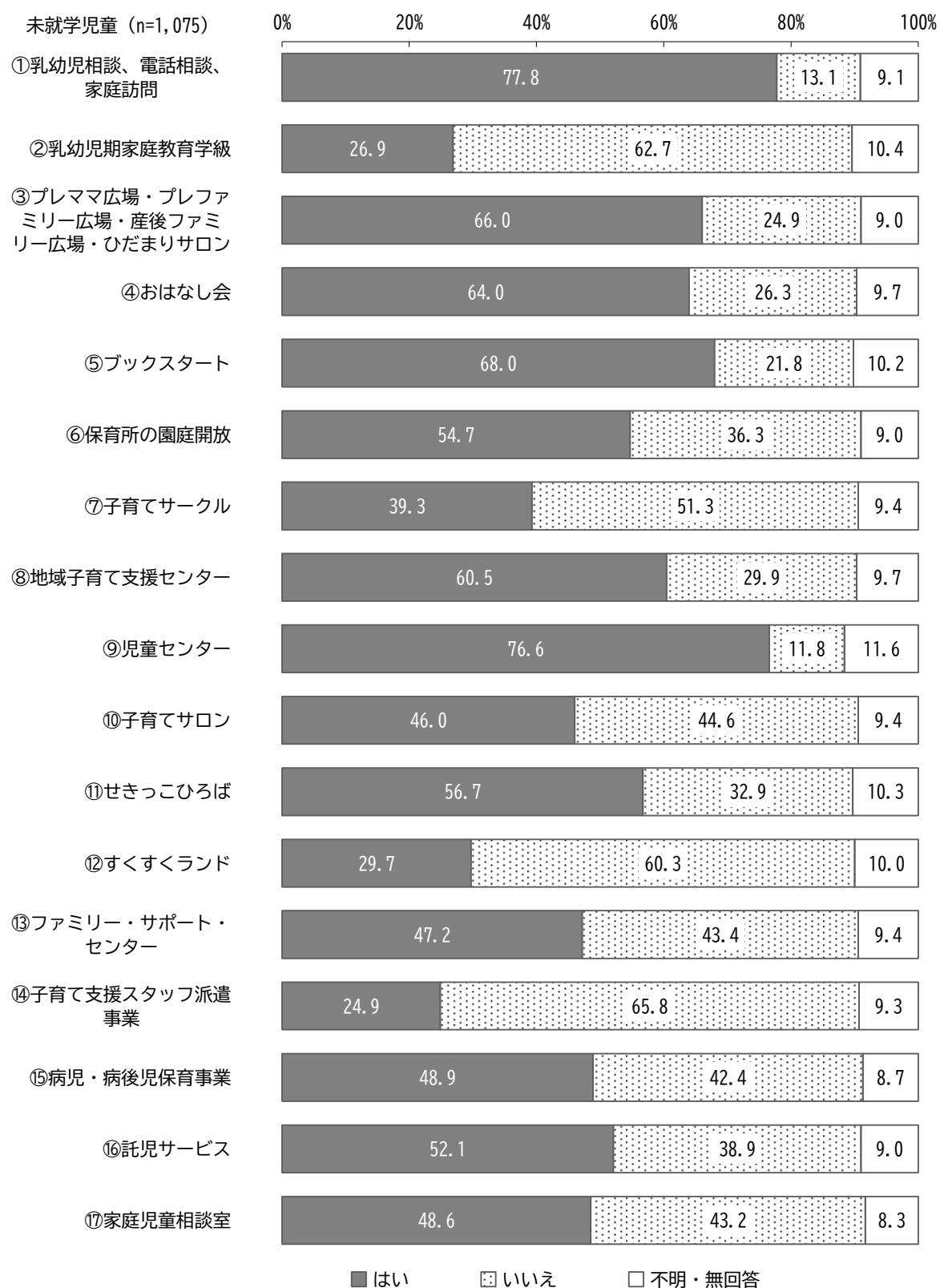
■今後の利用増加意向の1か月当たりの利用回数



(3) 事業の認知状況や利用状況、利用意向 [未：問 15] <単数回答>

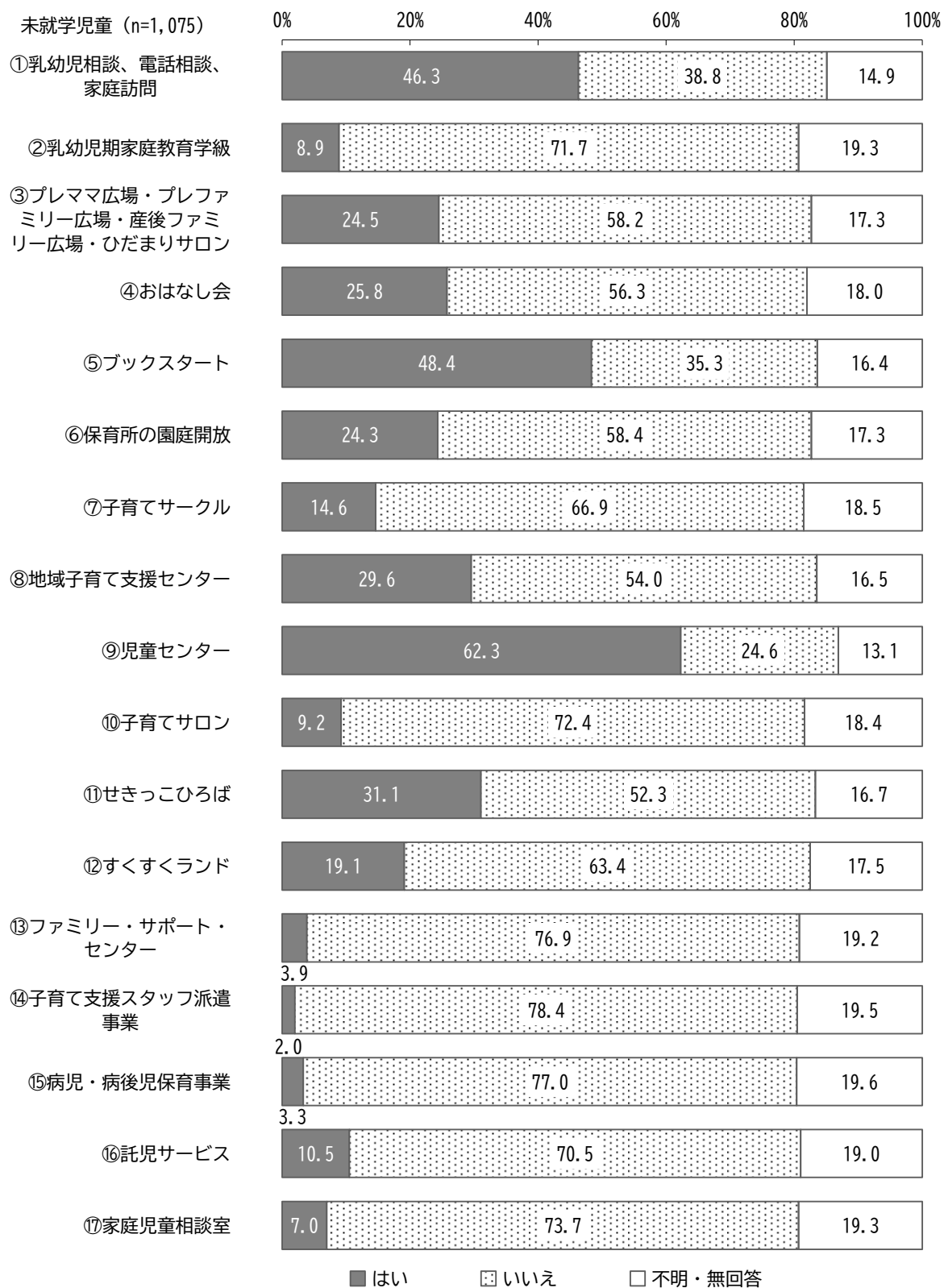
認知状況について、「はい」では[①乳幼児相談、電話相談、家庭訪問][⑨児童センター]がそれぞれ7割台、「いいえ」では[②乳幼児期家庭教育学級][⑫すくすくランド][⑭子育て支援スタッフ派遣事業]がそれぞれ6割台と、他の事業と比較して高くなっています。

A 知っている



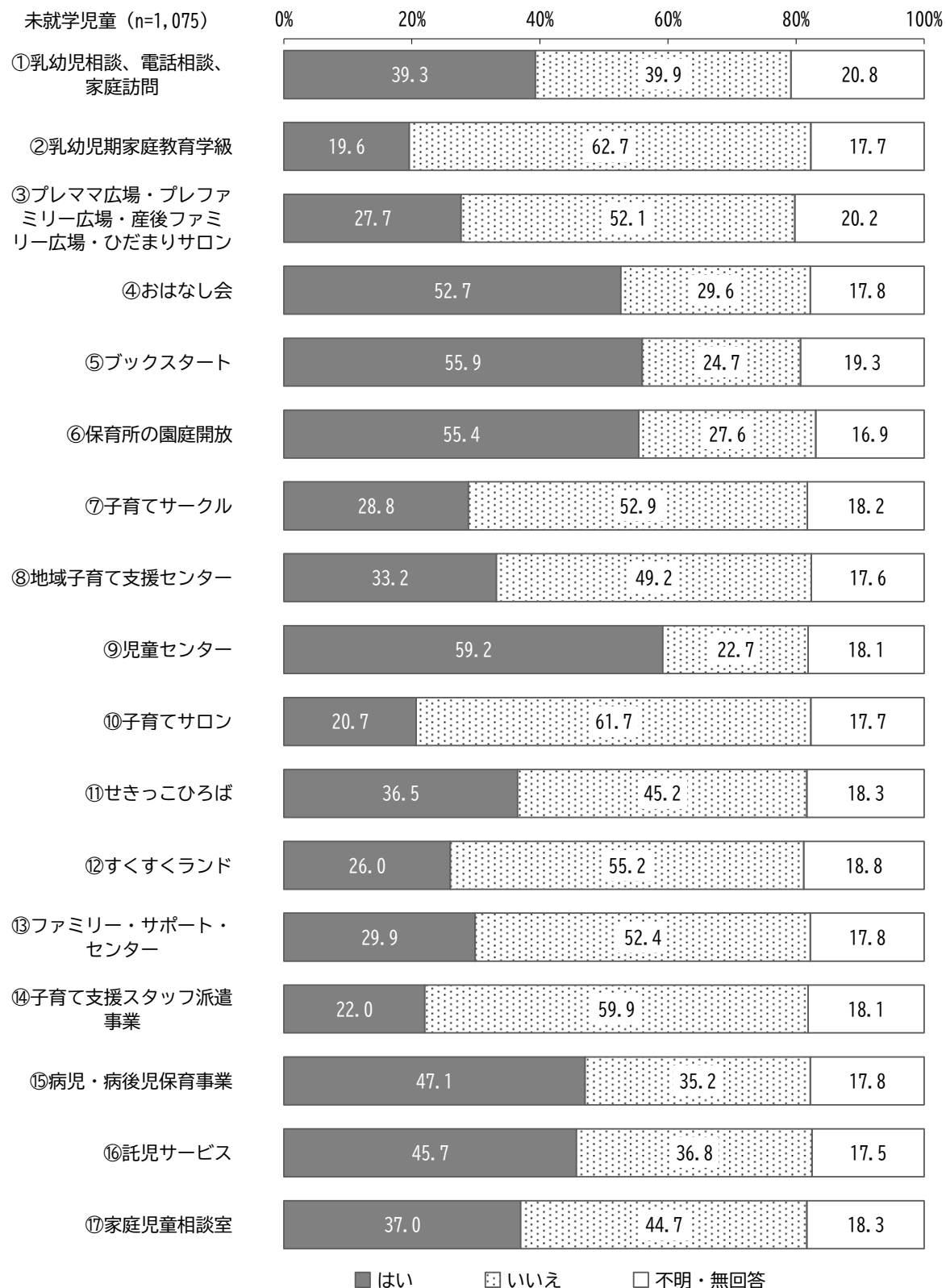
利用状況について、「はい」では[⑨児童センター]が 62.3%、「いいえ」では[②乳幼児期家庭教育学級][⑩子育てサロン][⑬ファミリー・サポート・センター][⑭子育て支援スタッフ派遣事業][⑮病児・病後児保育事業][⑯託児サービス][⑰家庭児童相談室]がそれぞれ 7 割台と、他の事業と比較して高くなっています。

B これまでに利用したことがある



今後の利用意向について、「はい」では[④おはなし会][⑤ブックスタート][⑥保育所の園庭開放][⑨児童センター]がそれぞれ5割台、「いいえ」では[②乳幼児期家庭教育学級][⑩子育てサロン]がそれぞれ6割台と、他の事業と比較して高くなっています。

C 今後利用したい



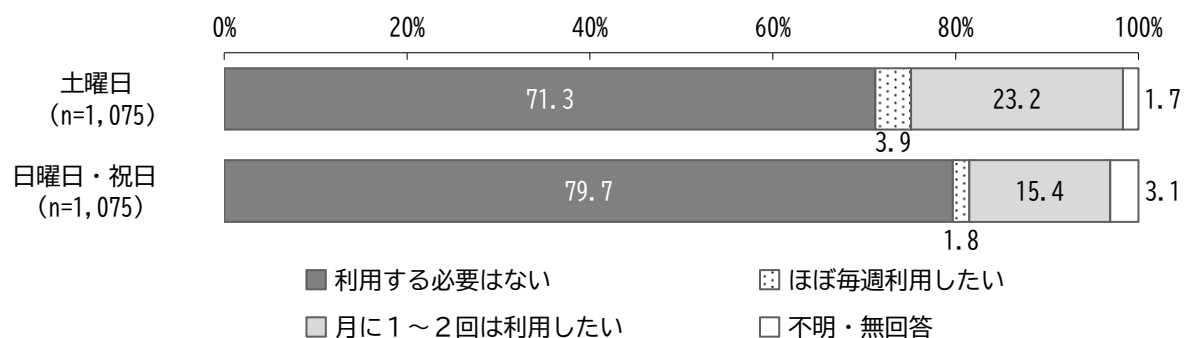
6. 土曜・休日や長期休暇中の定期的な幼稚園・保育所等の利用希望について

※未就学児童のみ

(1) 土曜日や日曜日・祝日の、幼稚園・保育所等の利用希望 [未：問 16] <単数回答・数量回答>

土曜日では「利用する必要はない」が 71.3% 「ほぼ毎週利用したい」が 3.9%、「月に1～2回は利用したい」が 23.2%となっています。

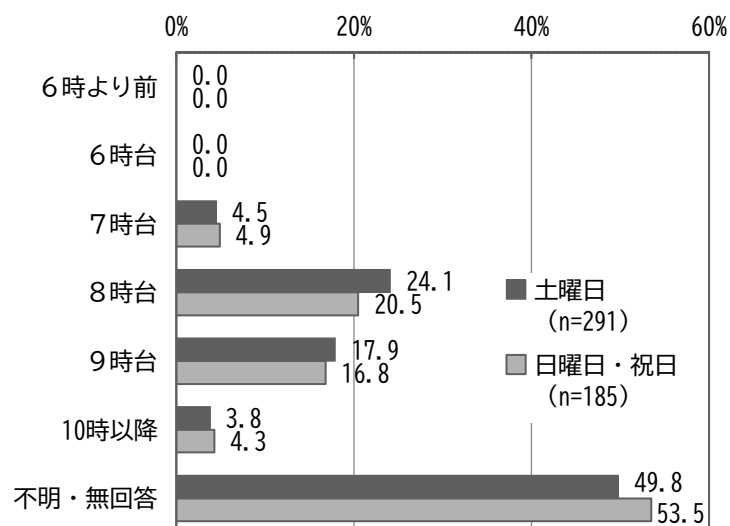
日曜日・祝日では「利用する必要はない」が 79.7% 「ほぼ毎週利用したい」が 1.8%、「月に1～2回は利用したい」が 15.4%となっています。



利用開始時刻について、土曜日、日曜日・祝日ともに「8 時台」が最も高く、それぞれ 24.1%、20.5%となっています。次いで「9 時台」がそれぞれ 17.9%、16.8%となっています。

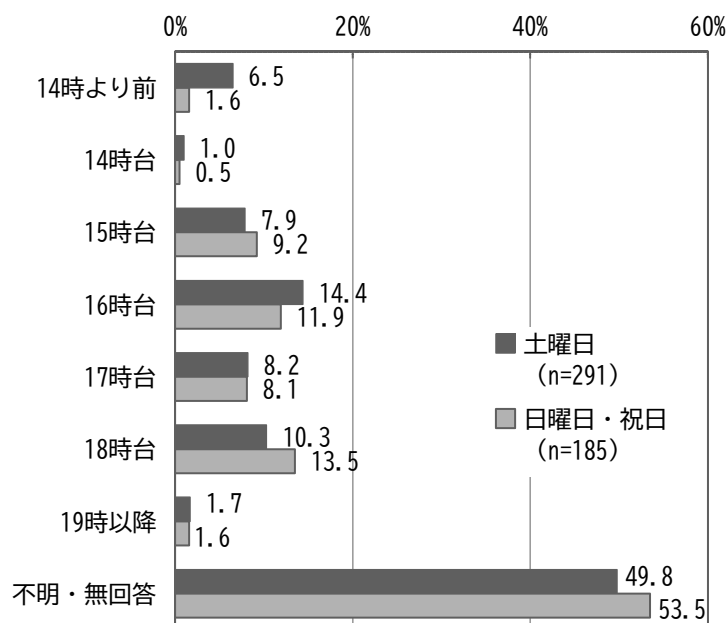
利用終了時間について、土曜日では「16 時台」が 14.4%と最も高く、次いで「18 時台」が 10.3%となっています。日曜日・祝日では、「18 時台」が 13.5%と最も高く、次いで「16 時台」が 11.9%となっています。

■利用開始時刻



※Web 回答において、時刻の入力が困難だったため、不明・無回答が多くなっています。

■利用終了時刻



※Web 回答において、時刻の入力が困難だったため、不明・無回答が多くなっています。

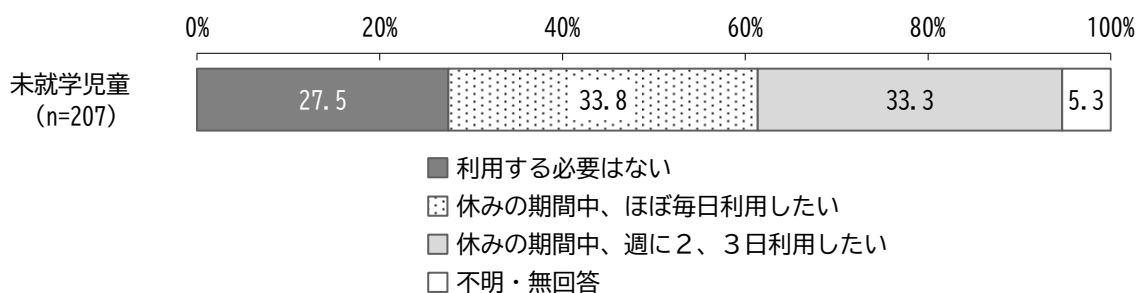
〔幼稚園を利用している方〕

(2) 長期休暇での幼稚園・保育所等の利用希望 [未：問 17] <単数回答・数量回答>

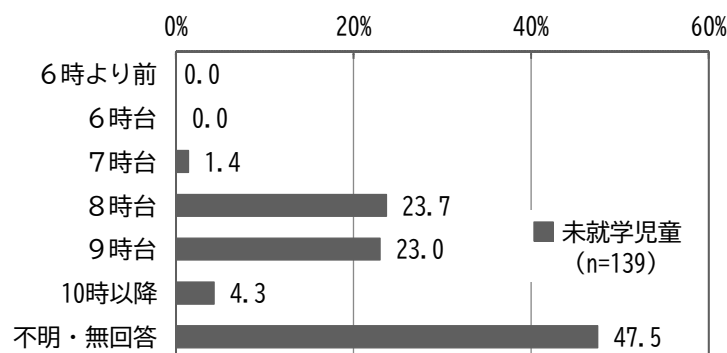
「利用する必要がない」が 27.5%「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 33.8%、「休みの期間中、週に 2、3 日利用したい」が 33.3%となっています。

利用開始時刻について、「8 時台」が 23.7%と最も高く、次いで「9 時台」が 23.0%となっています。

利用終了時刻について、「15 時台」が 21.6%と最も高く、次いで「16 時台」が 16.5%となっています。

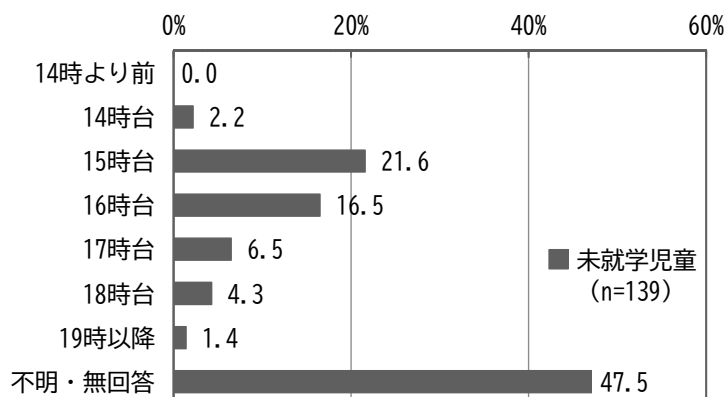


■ 利用開始時刻



※Web 回答において、時刻の入力が困難だったため、不明・無回答が多くなっています。

■ 利用終了時刻



※Web 回答において、時刻の入力が困難だったため、不明・無回答が多くなっています。

7. 病気の際の対応について

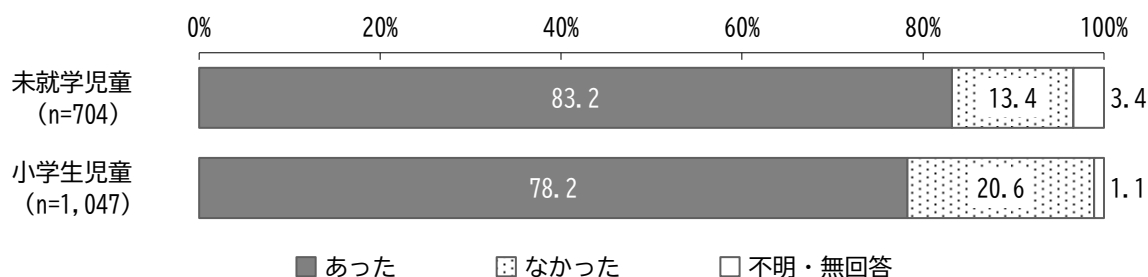
※未就学児童は平日の幼稚園・保育所等を利用する方のみ

(1) 病気やケガで幼稚園・保育所、小学校等が利用できなかったこと

[未：問 18、小：問 16] <単数回答>

未就学児童では「あった」が 83.2%、「なかった」が 13.4%となっています。

小学生児童では「あった」が 78.2%、「なかった」が 20.6%となっています。

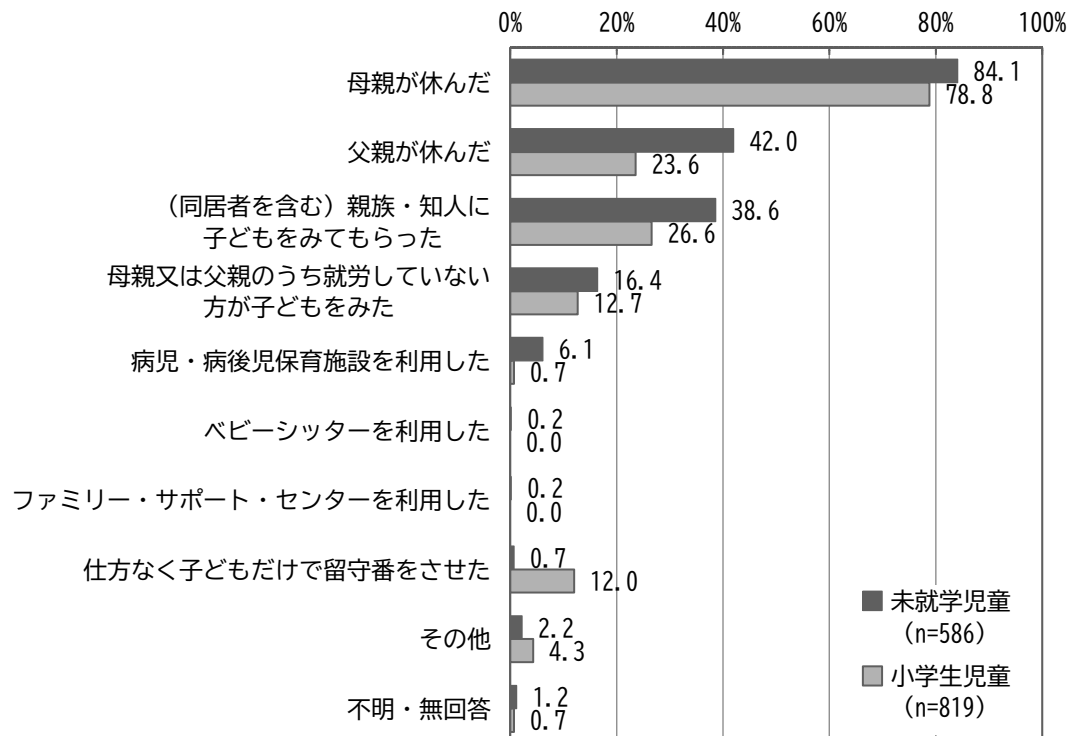


[「幼稚園等を利用できなかったこと」があったを選んだ方]

(2) 幼稚園・保育所、小学校等が利用できなかった時のこの1年間の対処方法

[未：問 18-1、小：問 16-1] <複数回答・数量回答>

未就学児童、小学生児童ともに「母親が休んだ」が最も高く、それぞれ 84.1%、78.8%となっています。次いで未就学児童では「父親が休んだ」が 42.0%、小学生児童では「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」が 26.6%となっています。



未就学児童では「母親が休んだ」「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」「母親又は父親のうち就労していない方が子どもをみた」「その他」で「10 日以上」がそれぞれ最も高く、小学生児童では「母親が休んだ」で「10 日以上」が 19.7%と、最も高くなっています。

■ 年間の対処日数

(単位：%)	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日	7 日	8 日	9 日	10 日 以上	不明・無 回答
【未就学児童】											
母親が休んだ(n=493)	3.2	3.7	8.5	2.6	10.3	2.4	2.6	2.4	0.2	51.1	12.8
父親が休んだ(n=246)	18.3	19.1	12.6	2.4	17.9	2.0	3.3	0.4	0.0	11.8	12.2
(同居者を含む) 親族・知人に 子どもをみてもらった(n=226)	16.8	14.2	11.5	1.3	19.5	2.2	1.8	0.4	0.0	19.9	12.4
母親又は父親のうち就労してい ない方が子どもをみた(n=96)	4.2	7.3	6.3	2.1	15.6	1.0	5.2	2.1	0.0	36.5	19.8
病児・病後児保育施設を利用し た(n=36)	36.1	2.8	5.6	2.8	11.1	0.0	0.0	2.8	0.0	22.2	16.7
仕方なく子どもだけで留守番を させた(n=4)	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
その他(n=13)	0.0	15.4	0.0	7.7	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	23.1	46.2
【小学生児童】											
母親が休んだ(n=645)	10.5	10.1	12.9	4.7	18.1	0.9	3.7	1.4	0.3	19.7	17.7
父親が休んだ(n=195)	32.1	21.8	13.5	0.5	14.0	0.0	2.1	0.5	0.0	4.1	11.4
(同居者を含む) 親族・知人に 子どもをみてもらった(n=218)	20.6	14.7	22.5	1.8	11.0	0.9	0.9	0.0	0.5	10.1	17.0
母親又は父親のうち就労してい ない方が子どもをみた(n=6)	9.6	12.5	8.7	1.0	11.5	1.0	6.7	2.9	1.0	26.9	18.3
病児・病後児保育施設を利用し た(n=6)	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7
仕方なく子どもだけで留守番を させた(n=98)	20.4	19.4	13.3	2.0	12.2	1.0	0.0	0.0	0.0	5.1	26.5
その他(n=35)	0.0	11.4	11.4	0.0	14.3	0.0	5.7	0.0	0.0	14.3	42.9

※未就学児童、小学生児童ともに「ベビーシッターを利用した」「ファミリー・サポート・センターを利用した」の回答者はありませんでした。

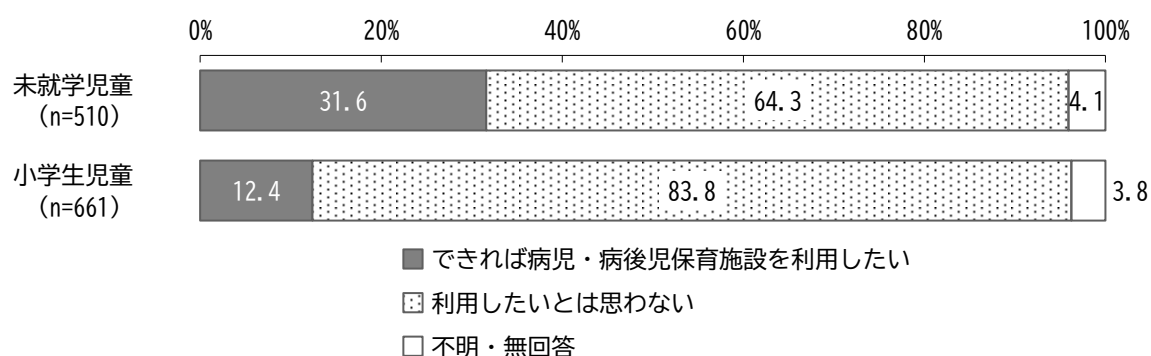
〔「母親が休んだ」または「父親が休んだ」を選んだ方〕

(3) 「できれば病児・病後児保育施設を利用したい」と思ったか

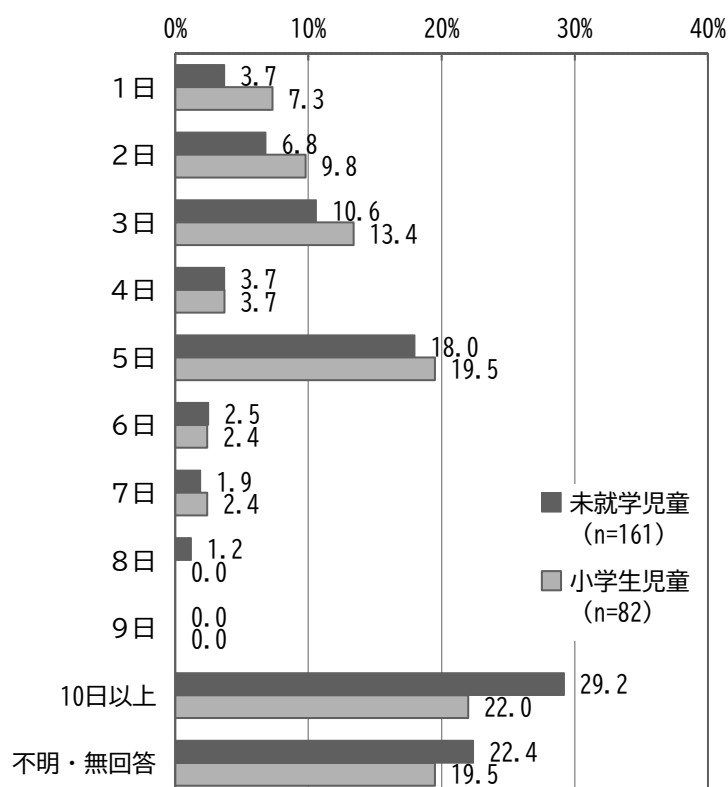
〔未：問 18-2、小：問 16-2〕 〈単数回答・数量回答〉

未就学児童では「できれば病児・病後児保育施設を利用したい」が 31.6%、「利用したいとは思わない」が 64.3%となっています。小学生児童では「できれば病児・病後児保育施設を利用したい」が 12.4%、「利用したいとは思わない」が 83.8%となっています。

利用したい日数について、未就学児童、小学生児童ともに「10 日以上」が最も高く、それぞれ 29.2%、22.0%となっています。次いで「5 日」がそれぞれ 18.0%、19.5%となっています。



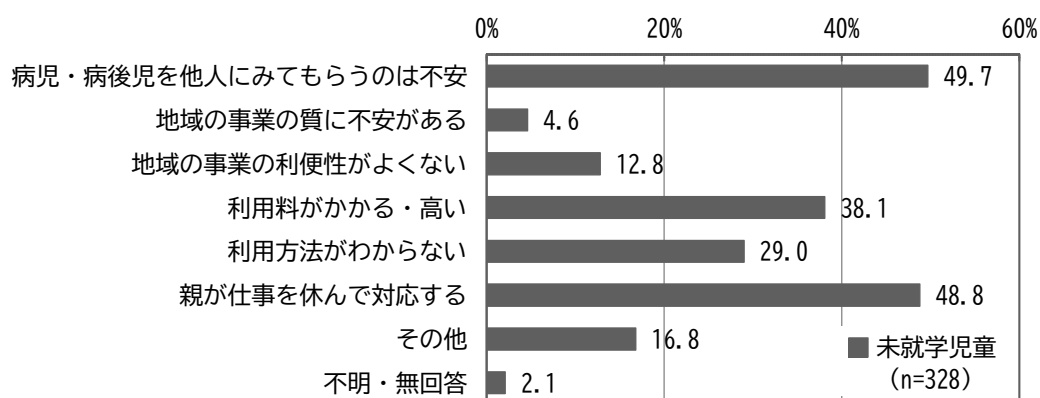
■ 利用したい日数



〔「利用したいとは思わない」を選んだ方〕

(4) 利用したいと思わない理由〔未：問 18-3〕 〈複数回答〉

「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が 49.7%と最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応する」が 48.8%となっています。



〔「ベビーシッターを利用した」を選んだ方〕

(5) どのサービスをうけているか〔未：問 18-4〕 〈単数回答〉

※回答者はありませんでした。

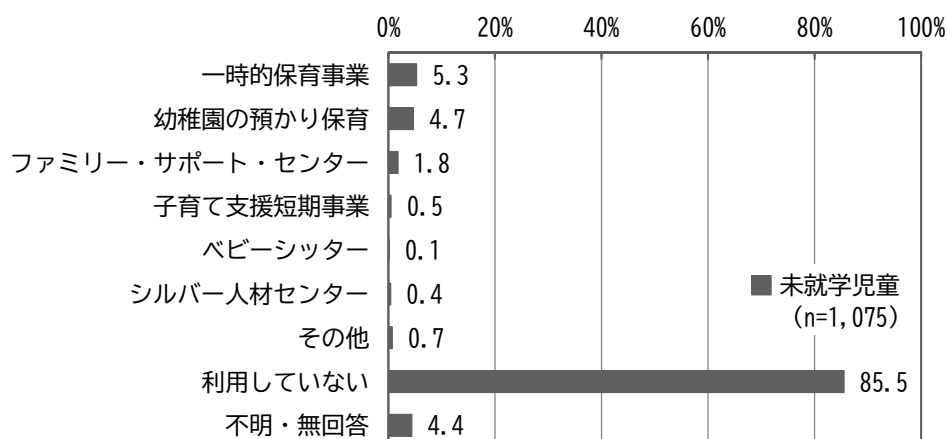
8. 幼稚園等の不定期的な利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

(1) 日中の定期的な保育や病気のため以外に、不定期的に利用している事業

[未：問 19] <複数回答・数量回答>

「利用していない」が 85.5%と最も高く、次いで「一時的保育事業」が 5.3%となっています。

年間の利用日数について、[一時的保育事業][幼稚園の預かり保育][ファミリー・サポート・センター]で「10日以上」が、それぞれ最も高くなっています。



■ 利用日数（年間）

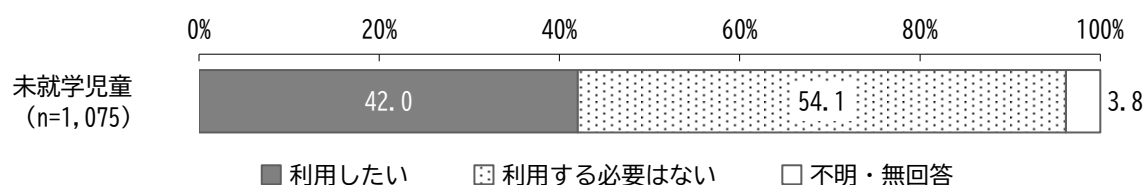
(単位：%)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日以上	不明・無回答
【未就学児童】											
一時的保育事業 (n=57)	7.0	5.3	10.5	1.8	8.8	1.8	1.8	0.0	0.0	36.8	26.3
幼稚園の預かり保育 (n=50)	10.0	10.0	12.0	0.0	6.0	6.0	4.0	2.0	0.0	28.0	22.0
ファミリー・サポート・センター (n=19)	26.3	21.1	5.3	0.0	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0	26.3	5.3
子育て支援短期事業 (n=5)	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0
ベビーシッター (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
シルバー人材センター (n=4)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
その他(n=7)	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9	28.6

(2) 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思うか [未：問 20] <単数回答・複数回答・数量回答>

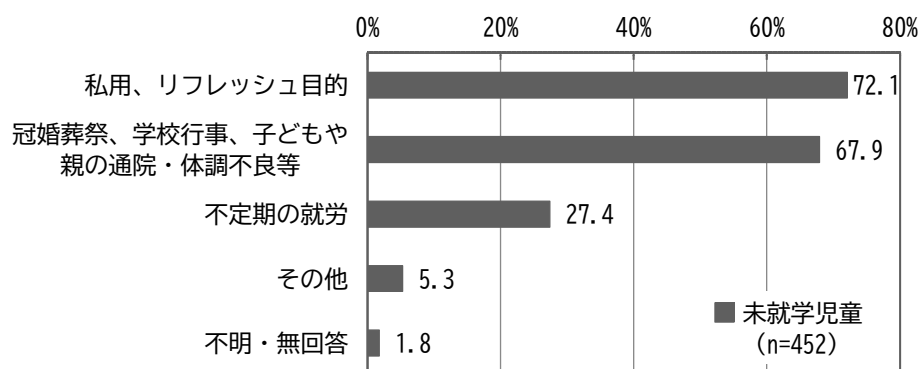
「利用したい」が 42.0%、「利用する必要はない」が 54.1%となっています。

利用目的について、「私用、リフレッシュ目的」が 72.1%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院・体調不良等」が 67.9%となっています。

年間で利用したい日数について、すべての事業において「10 日以上」が最も高く、次いで「5 日」となっています。



■利用目的



■利用したい日数（年間）

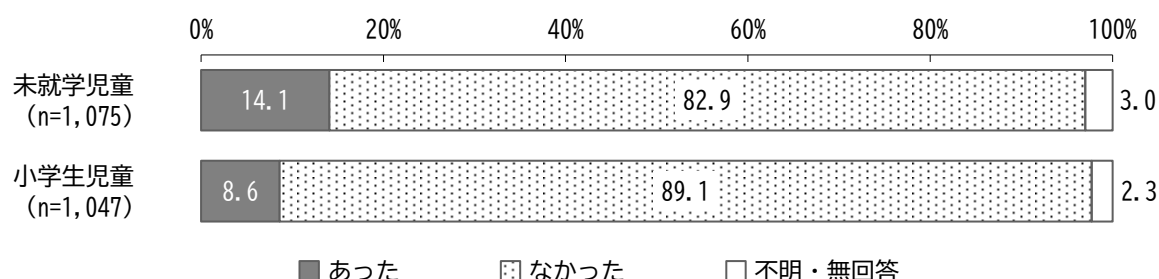
(単位：%)	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日	7 日	8 日	9 日	10 日以上	不明・無回答
【未就学児童】											
合計日数(n=452)	2.0	2.9	6.0	3.1	6.4	1.1	1.3	2.7	0.2	49.3	25.0
私用、リフレッシュ目的(n=326)	7.7	5.2	6.4	2.5	13.8	2.5	0.6	0.3	0.0	44.5	16.6
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院・体調不良等(n=307)	7.2	6.5	11.4	2.6	21.8	3.3	1.6	0.3	0.0	30.6	14.7
不定期の就労(n=124)	4.8	8.1	4.0	1.6	13.7	0.8	1.6	0.0	0.0	41.9	23.4
その他(n=24)	12.5	8.3	8.3	0.0	20.8	4.2	0.0	0.0	0.0	25.0	20.8

(3) この1年間に、保護者の用事により、泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった状況 [未：問 21、小：問 18] <単数回答・複数回答・数量回答>

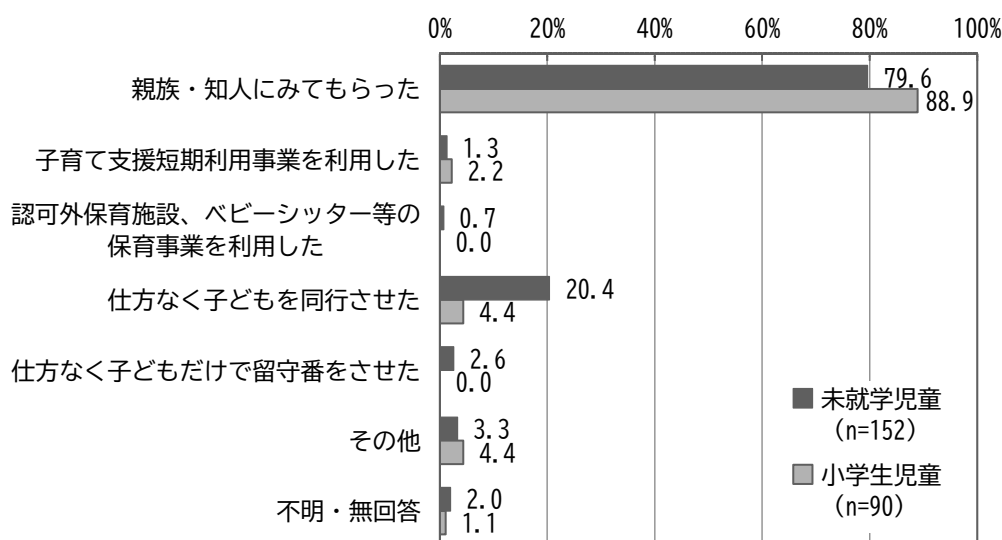
未就学児童では「あった」が14.1%、「なかった」が82.9%となっています。小学生児童では「あった」が8.6%、「なかった」が89.1%となっています。

対処方法について、未就学児童、小学生児童ともに「親族・知人にみてもらった」が最も高く、それぞれ 79.6%、88.9%となっています。次いで未就学児童では「仕方なく子どもを同行させた」が20.4%、小学生児童では「仕方なく子どもを同行させた」「その他」がそれぞれ 4.4%となっています。

年間の対処方法の泊数について、就学児童では「親族・知人にみてもらった」「仕方なく子どもを同行させた」で「1泊」が、それぞれ最も高くなっています。小学生児童では、「親族・知人にみてもらった」で「1泊」が22.5%と最も高くなっています。



■ 1年間の対処方法



■ 対処方法の日数（年間）

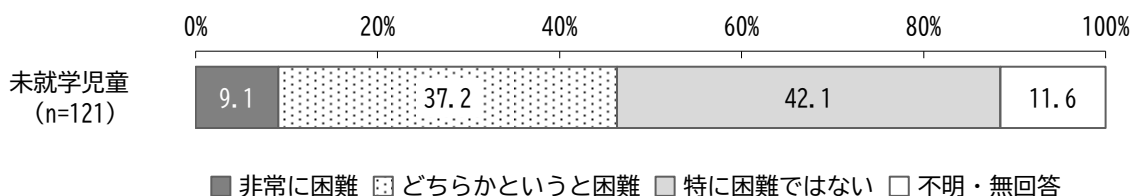
（単位：％）	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊	7泊	8泊	9泊	10泊以上	不明・無回答
【未就学児童】											
親族・知人にみてもらった (n=121)	21.5	19.8	5.8	3.3	11.6	3.3	4.1	0.8	0.0	10.7	19.0
子育て支援短期利用事業を利用 した(n=2)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
認可外保育施設、ベビーシッター 等の保育事業を利用した(n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
仕方なく子どもを同行させた (n=31)	45.2	3.2	6.5	0.0	12.9	3.2	3.2	3.2	0.0	3.2	19.4
仕方なく子どもだけで留守番を させた(n=4)	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0
その他(n=5)	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0
【小学生児童】											
親族・知人にみてもらった (n=80)	22.5	13.8	8.8	3.8	12.5	3.8	1.3	2.5	0.0	18.8	12.5
子育て支援短期利用事業を利用 した(n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
仕方なく子どもを同行させた (n=4)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	75.0
その他(n=4)	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0

※小学生児童では「子育て支援短期利用事業を利用した」「認可外保育施設、ベビーシッター等の保育事業を利用した」「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」の回答者はありませんでした。

〔「親族・知人にみてもらった」を選んだ方〕

（４）親族・知人にみてもらった場合の困難度 [未：問 21-1] <単数回答>

「非常に困難」が 9.1%、「どちらかという困難」が 37.2%、「特に困難ではない」が 42.1%となっています。

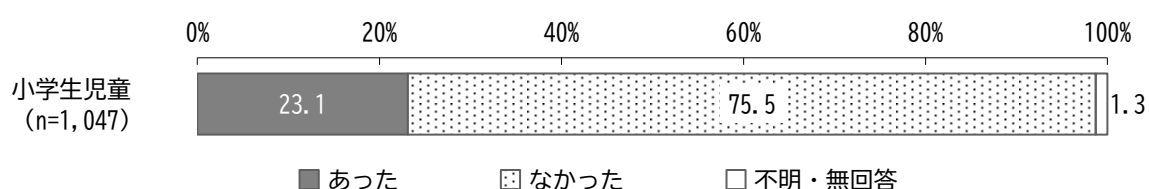


(5) この1年間に保護者の用事により、お子さんを「一時的に」家族以外にみてもらわないといけなかった状況 [小：問 17 <単数回答・複数回答・数量回答>]

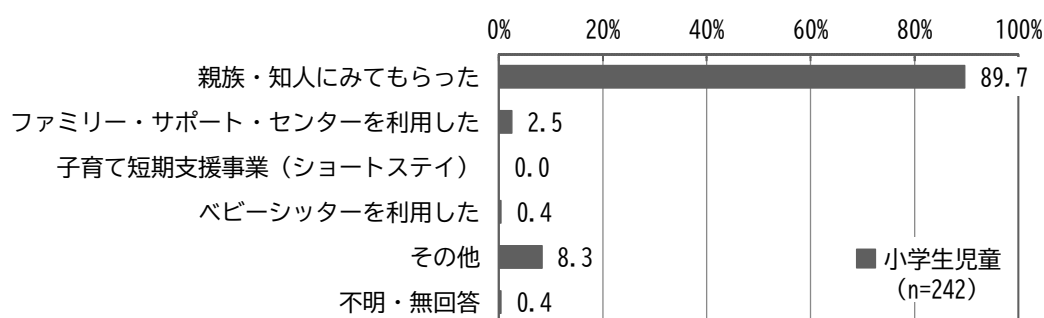
「あった」が 23.1%、「なかった」が 75.5%となっています。

対処方法について、「親族・知人にみてもらった」が 89.7%と最も高く、次いで「その他」が 8.3%となっています。

年間の対処日数について、「親族・知人にみてもらった」で「10日以上」が 24.9%と最も高くなっています。



■ 対処方法



■ 対処方法の日数（年間）

(単位：%)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日以上	不明・無回答
【小学生児童】											
親族・知人にみてもらった(n=217)	17.1	15.7	8.8	1.8	12.0	2.3	4.1	0.9	0.0	24.9	12.4
ファミリー・サポート・センターを利用した(n=6)	66.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
ベビーシッターを利用した(n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
その他(n=20)	15.0	15.0	10.0	5.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	15.0	35.0

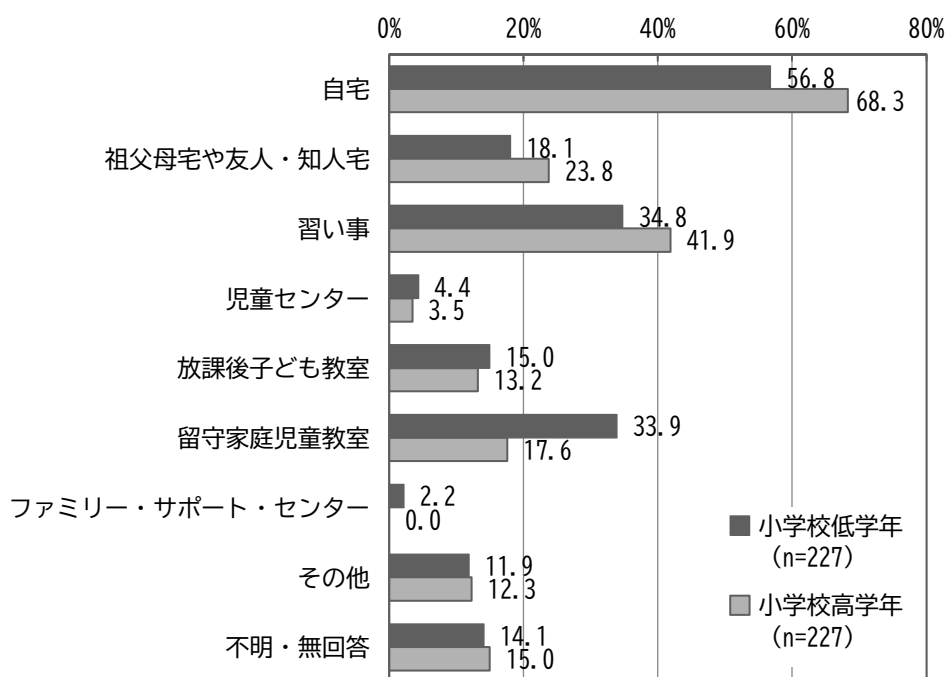
※「子育て短期支援事業（ショートステイ）」の回答者はありませんでした。

9. 放課後の過ごし方について

※未就学児童は5歳以上のみ

(1) 放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいか [未：問 22・23] <複数回答・数量回答>

小学校低学年、小学校高学年ともに「自宅」が最も高く、それぞれ 56.8%、68.3%となっています。次いで「習い事」がそれぞれ 34.8%、41.9%となっています。



1 週当たりの日数について、小学校低学年、小学校高学年ともに「自宅」「留守家庭児童教室」で「5 日」が、それぞれ最も高くなっています。

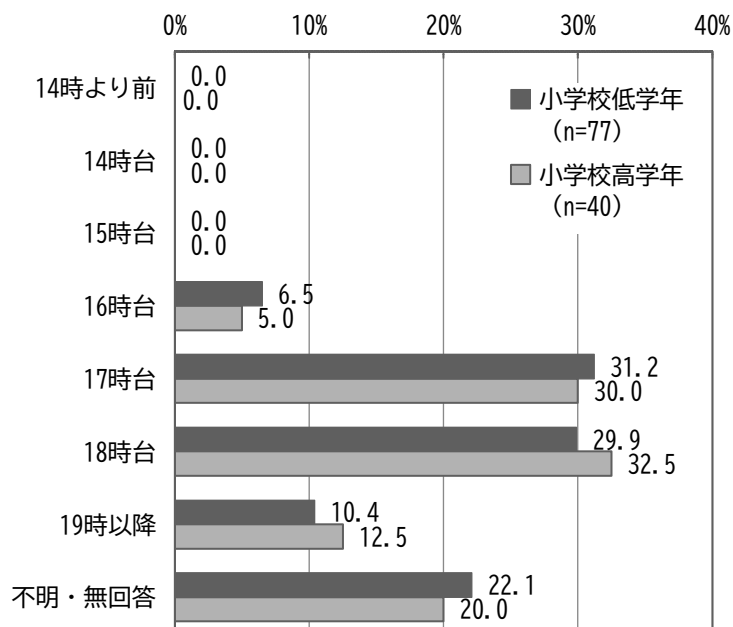
■ 1 週当たりの日数

(単位：%)	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日	7 日	不明・ 無回答
【小学校低学年】								
自宅(n=129)	6.2	10.9	11.6	8.5	34.1	0.8	6.2	21.7
祖父母宅や友人・知人宅 (n=41)	29.3	17.1	12.2	0.0	19.5	0.0	2.4	19.5
習い事(n=79)	35.4	32.9	6.3	1.3	3.8	0.0	0.0	20.3
児童センター(n=10)	40.0	40.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0
放課後子ども教室(n=34)	38.2	11.8	5.9	2.9	17.6	0.0	0.0	23.5
留守家庭児童教室(n=77)	1.3	3.9	6.5	9.1	61.0	0.0	0.0	18.2
ファミリー・サポート・ センター(n=5)	40.0	0.0	0.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0
その他(n=27)	29.6	29.6	11.1	3.7	11.1	0.0	0.0	14.8
【小学校高学年】								
自宅(n=155)	2.6	15.5	13.5	8.4	37.4	0.0	1.9	20.6
祖父母宅や友人・知人宅 (n=54)	24.1	22.2	7.4	0.0	16.7	1.9	0.0	27.8
習い事(n=95)	26.3	37.9	9.5	2.1	4.2	0.0	0.0	20.0
児童センター(n=8)	62.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
放課後子ども教室(n=30)	43.3	6.7	6.7	10.0	10.0	0.0	0.0	23.3
留守家庭児童教室(n=40)	0.0	7.5	17.5	5.0	52.5	0.0	0.0	17.5
その他(n=28)	21.4	28.6	10.7	0.0	25.0	0.0	0.0	14.3

※ 「小学校高学年」では「ファミリー・サポート・センター」の回答者はありませんでした。

留守家庭児童教室の利用時間について、小学校低学年では下校時から「17 時台」までが 31.2%と最も高く、次いで「18 時台」が 29.9%となっています。小学校高学年では下校時から「18 時台」までが 32.5%と最も高く、次いで「17 時台」が 30.0%となっています。

■留守家庭児童教室の利用時間

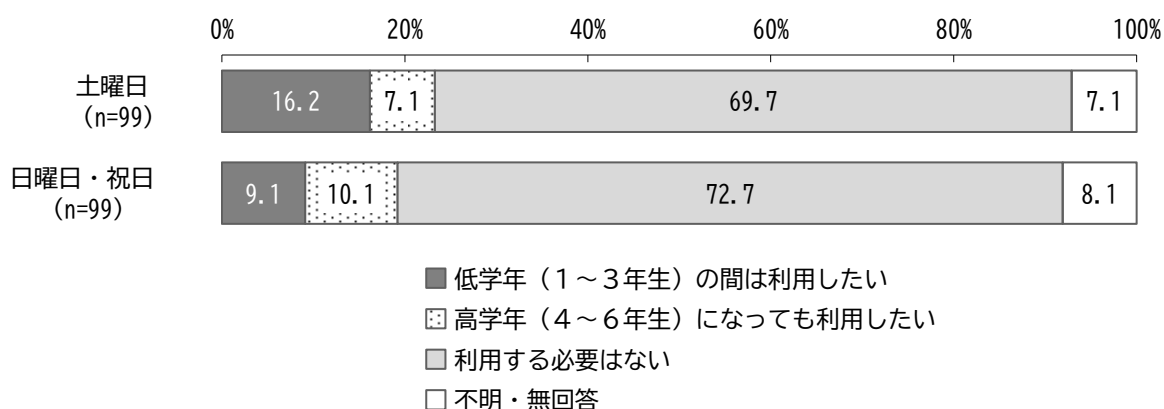


[小学校低学年または高学年で「留守家庭児童教室」を選んだ方]

(2) 土曜日、日曜日・祝日での留守家庭児童教室の利用希望 [未：問 24] <単数回答・数量回答>

土曜日では「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が 16.2%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が 7.1%、「利用する必要はない」が 69.7%となっています。

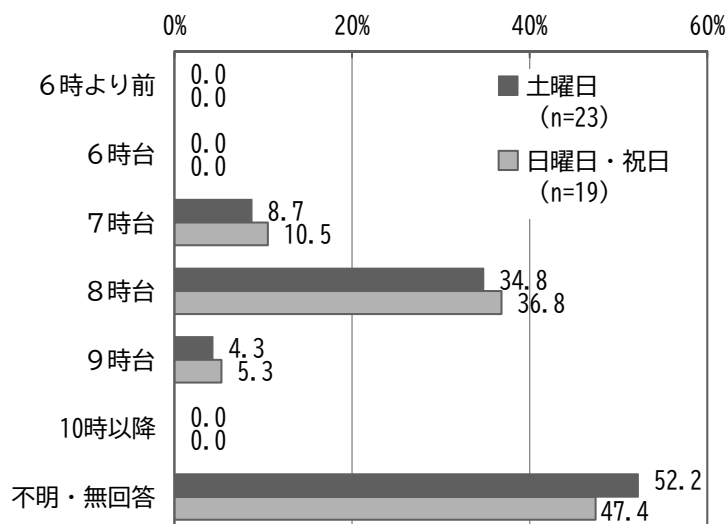
日曜日・祝日では「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が 9.1%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が 10.1%、「利用する必要はない」が 72.7%となっています。



利用開始時刻について、土曜日、日曜日・祝日ともに「8時台」が最も高く、それぞれ 34.8%、36.8%となっています。次いで「7時台」がそれぞれ 8.7%、10.5%となっています。

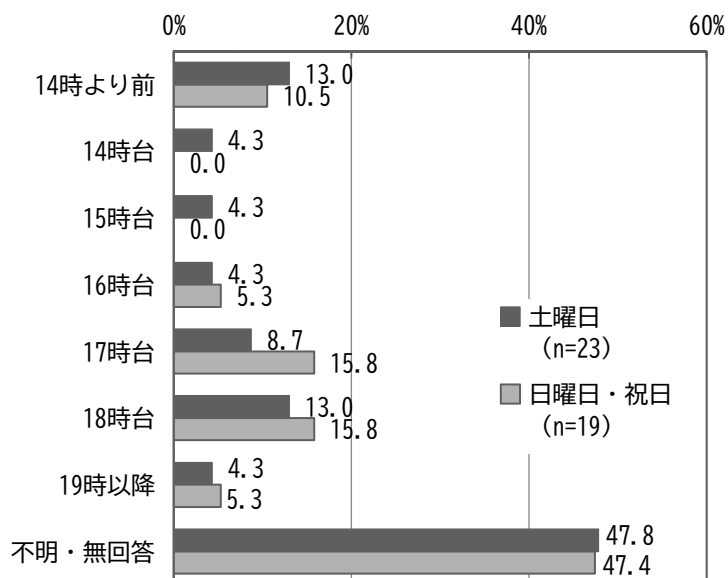
利用終了時刻について、土曜日では「14 時より前」「18 時台」がそれぞれ 13.0%と最も高く、次いで「17 時台」が 8.7%となっています。日曜日・祝日では「17 時台」「18 時台」がそれぞれ 15.8%と最も高く、次いで「14 時より前」が 10.5%となっています。

■利用開始時刻



※Web回答において、時刻の入力が困難だったため、不明・無回答が多くなっています。

■利用終了時刻

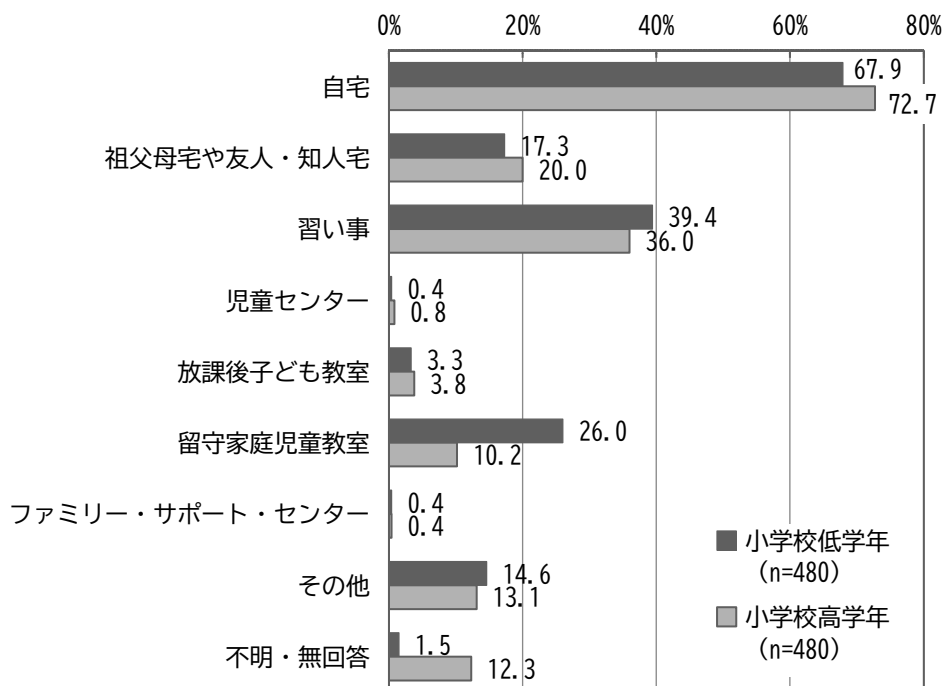


※Web回答において、時刻の入力が困難だったため、不明・無回答が多くなっています。

[小学校低学年のみ回答]

**(3) 放課後の時間をどのような場所で過ごしているか(小学校低学年)、また、どのように過ご
せたいか(小学校高学年)** [小：問 11・12] <複数回答・数量回答>

小学校低学年、小学校高学年ともに「自宅」が最も高く、それぞれ 67.9%、72.7%となっています。
次いで「習い事」がそれぞれ 39.4%、36.0%となっています。



小学校低学年、小学校高学年ともに〔自宅〕〔留守家庭児童教室〕で「5日」が、それぞれ最も高くなっています。

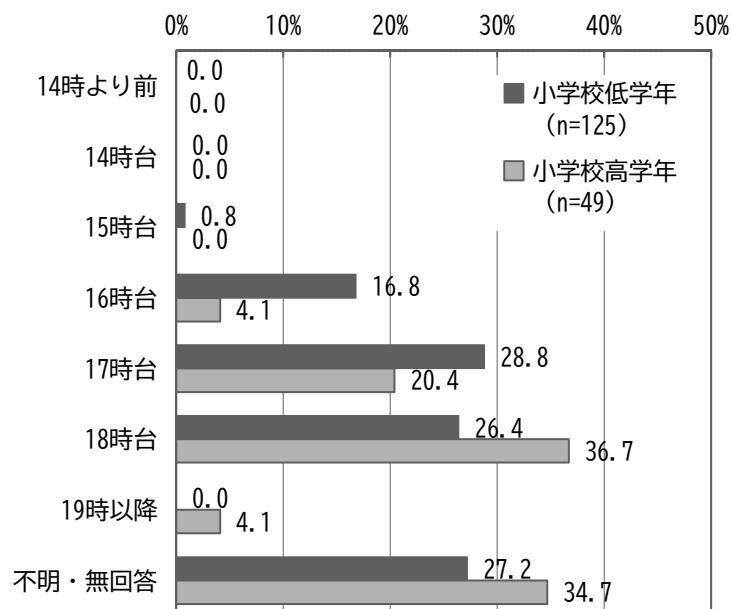
■ 1週当たりの日数

(単位：%)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	不明・無回答
【小学校低学年】								
自宅(n=326)	8.0	10.4	11.3	8.9	43.3	0.3	5.5	12.3
祖父母宅や友人・知人宅(n=83)	30.1	28.9	13.3	1.2	14.5	0.0	0.0	12.0
習い事(n=189)	29.1	36.5	14.3	6.3	3.2	0.5	0.0	10.1
児童センター(n=2)	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放課後子ども教室(n=16)	56.3	12.5	0.0	0.0	18.8	0.0	0.0	12.5
留守家庭児童教室(n=125)	2.4	2.4	8.0	16.0	56.0	0.0	0.0	15.2
ファミリー・サポート・センター(n=2)	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他(n=70)	24.3	24.3	14.3	15.7	12.9	0.0	0.0	8.6
【小学校高学年】								
自宅(n=349)	5.2	10.6	12.9	7.7	47.0	0.0	3.7	12.9
祖父母宅や友人・知人宅(n=96)	28.1	28.1	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	10.4
習い事(n=173)	26.6	42.2	13.9	5.8	2.9	0.6	0.0	8.1
児童センター(n=4)	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
放課後子ども教室(n=18)	44.4	22.2	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7
留守家庭児童教室(n=49)	2.0	4.1	12.2	4.1	55.1	0.0	0.0	22.4
ファミリー・サポート・センター(n=2)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他(n=63)	27.0	22.2	17.5	9.5	12.7	0.0	0.0	11.1

留守家庭児童教室の利用時刻について、小学校低学年では下校時から「17 時台」までが 28.8%と最も高く、次いで「18 時台」までが 26.4%となっています。

小学校高学年では下校時から「18 時台」までが 36.7%と最も高く、次いで「17 時台」までが 20.4%となっています。

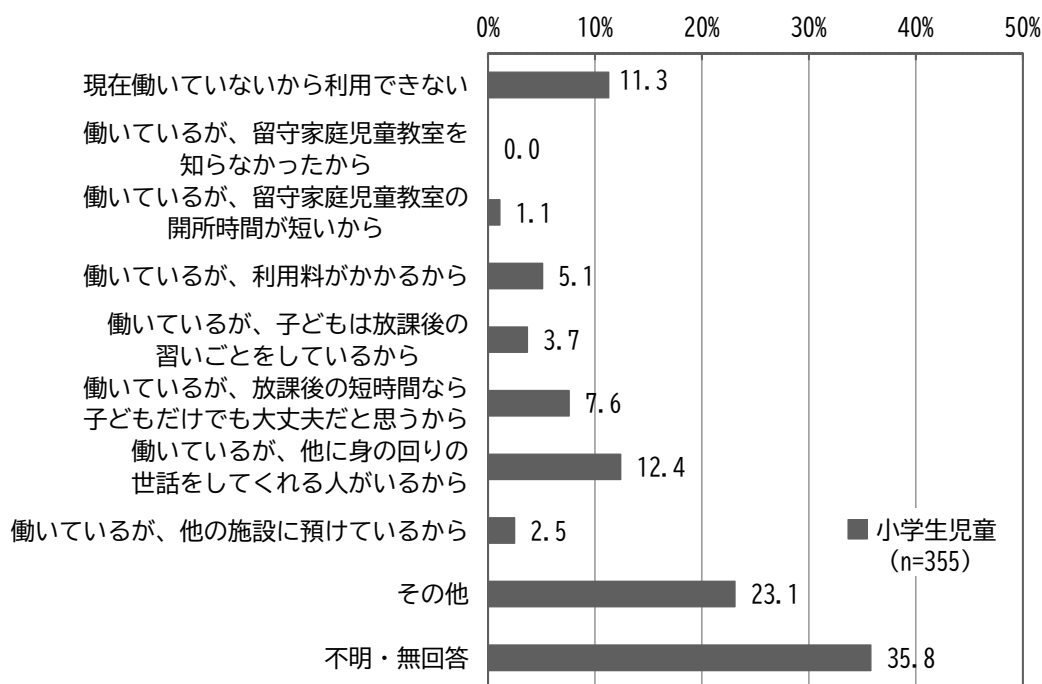
■留守家庭児童教室の利用時刻



〔「留守家庭児童教室」以外を選んだ方〕

(4) 留守家庭児童教室を利用していない理由 [小：問 11-1] <単数回答>

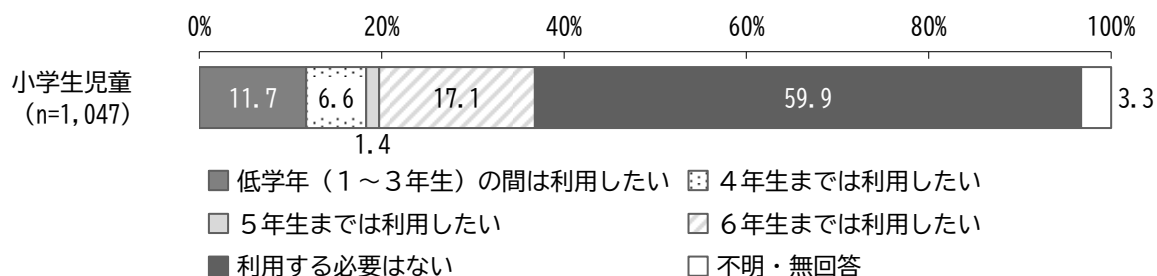
「その他」が 23.1%と最も高く、次いで「働いているが、他に身の回りの世話をしてくれる人がいるから」が 12.4%となっています。



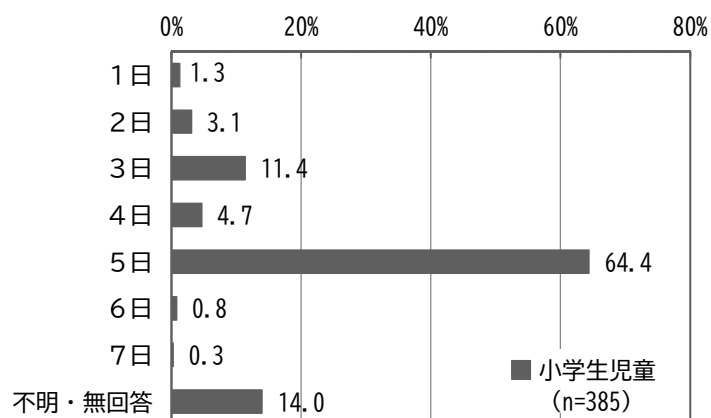
(5) 放課後の留守家庭児童教室の利用希望 [小：問 13] <単数回答・数量回答>

「利用する必要はない」が 59.9%と最も高く、次いで「6年生までは利用したい」が 17.1%となっています。

1週あたりの利用日数について、「5日」が 64.4%と最も高く、次いで「3日」が 11.4%となっています。



■ 1週あたりの利用日数

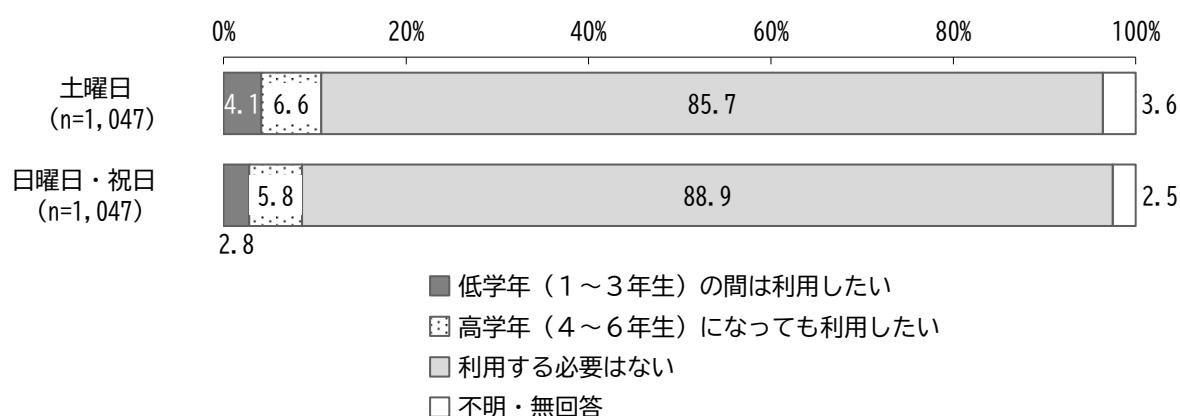


(6) 土曜日、日曜日・祝日での留守家庭児童教室の利用希望 [小：問14] <単数回答・数量回答>

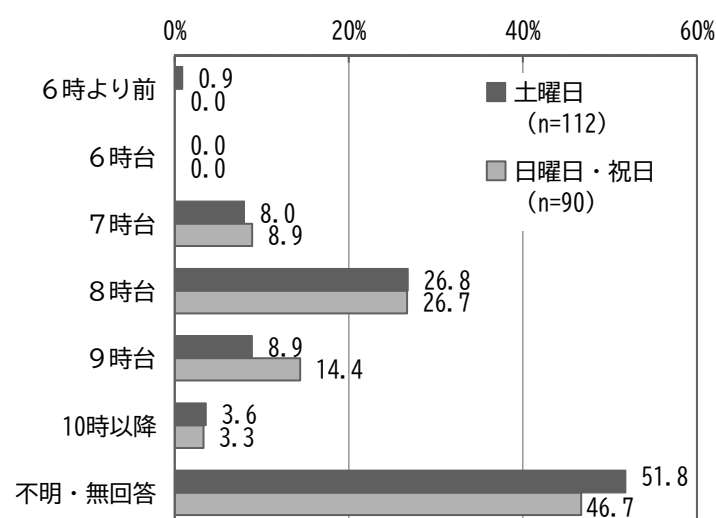
土曜日では「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が4.1%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が6.6%、「利用する必要はない」が85.7%となっています。

日曜日・祝日では「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が2.8%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が5.8%、「利用する必要はない」が88.9%となっています。

利用開始時刻について、土曜日、日曜日・祝日ともに「8時台」が最も高く、それぞれ26.8%、26.7%となっています。次いで「9時台」がそれぞれ8.9%、14.4%となっています。



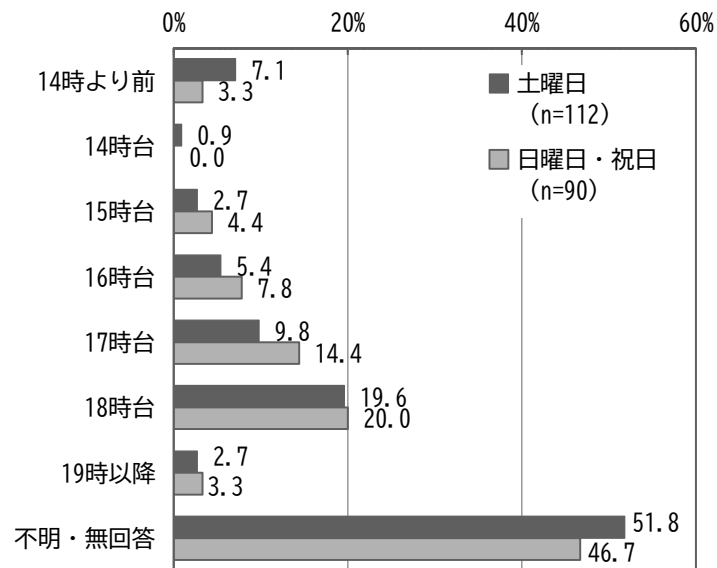
■ 利用開始時刻



※Web回答において、時刻の入力が困難だったため、不明・無回答が多くなっています。

利用終了時刻について、土曜日、日曜日・祝日ともに「18 時台」が最も高く、それぞれ 19.6%、20.0%となっています。次いで「17 時台」がそれぞれ 9.8%、14.4%となっています。

■利用終了時刻



※Web回答において、時刻の入力が困難だったため、不明・無回答が多くなっています。

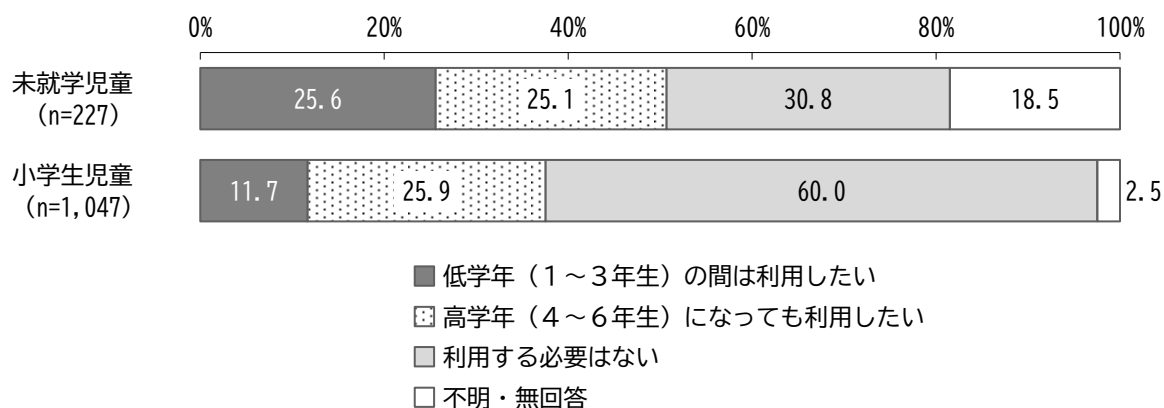
〔未就学児童は5歳以上のみ〕

(7) 長期休暇期間中での留守家庭児童教室の利用希望

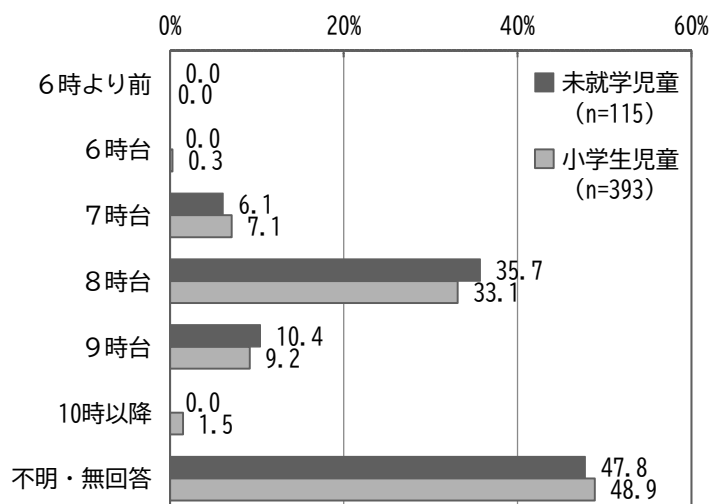
〔未：問 25、小：問 15 <単数回答・数量回答>〕

未就学児童では「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が25.6%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が25.1%、「利用する必要はない」が30.8%となっています。小学生児童では「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が11.7%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が25.9%、「利用する必要はない」が60.0%となっています。

利用開始時刻について、未就学児童、小学生児童ともに「8時台」が最も高く、それぞれ35.7%、33.1%となっています。次いで「9時台」がそれぞれ10.4%、9.2%となっています。



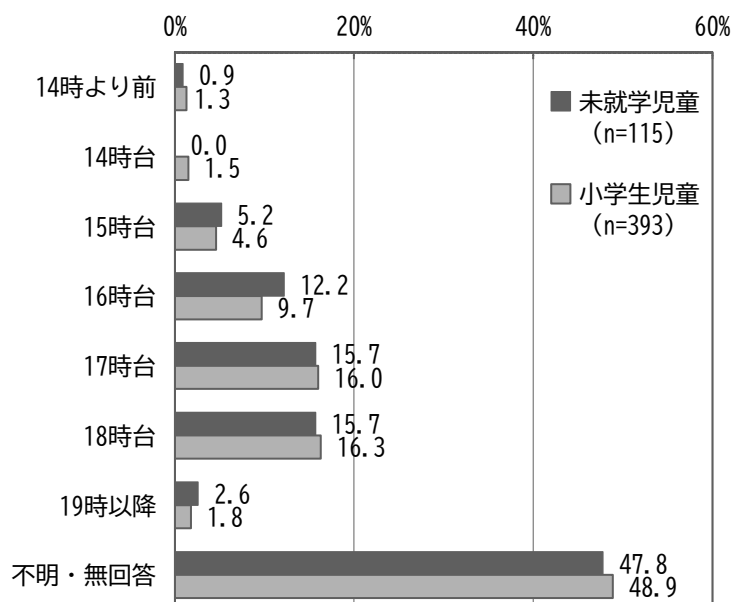
■ 利用開始時刻



※Web回答において、時刻の入力が困難だったため、不明・無回答が多くなっています。

利用終了時刻について、未就学児童では「17 時台」「18 時台」がそれぞれ 15.7%と最も高く、次いで「16 時台」が 12.2%となっています。小学生児童では「18 時台」が 16.3%と最も高く、次いで「17 時台」が 16.0%となっています。

■利用終了時刻



※Web回答において、時刻の入力が困難だったため、不明・無回答が多くなっています。

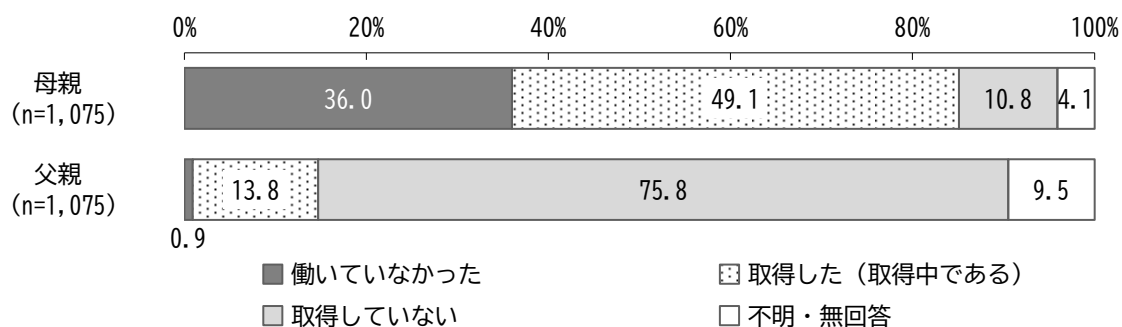
10. 育児休業など職場の両立支援制度について

※未就学児童のみ

(1) 育児休業を取得したか [未：問 26] <単数回答・複数回答>

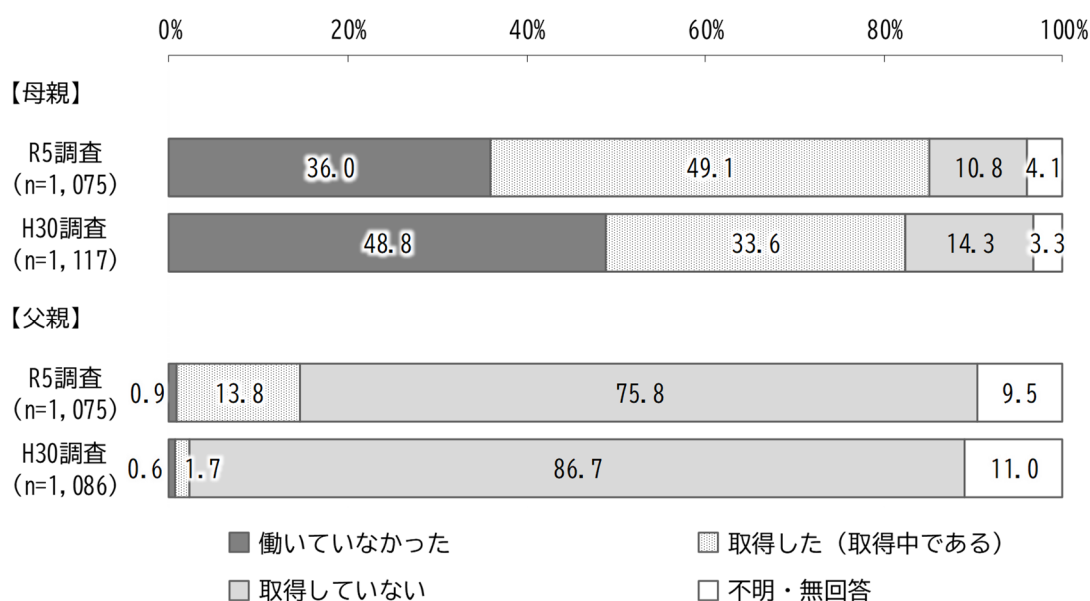
母親では「働いていなかった」が 36.0%、「取得した（取得中である）」が 49.1%、「取得していない」が 10.8%となっています。

父親では「働いていなかった」が 0.9%、「取得した（取得中である）」が 13.8%、「取得していない」が 75.8%となっています。



－ 前回調査結果との比較 －

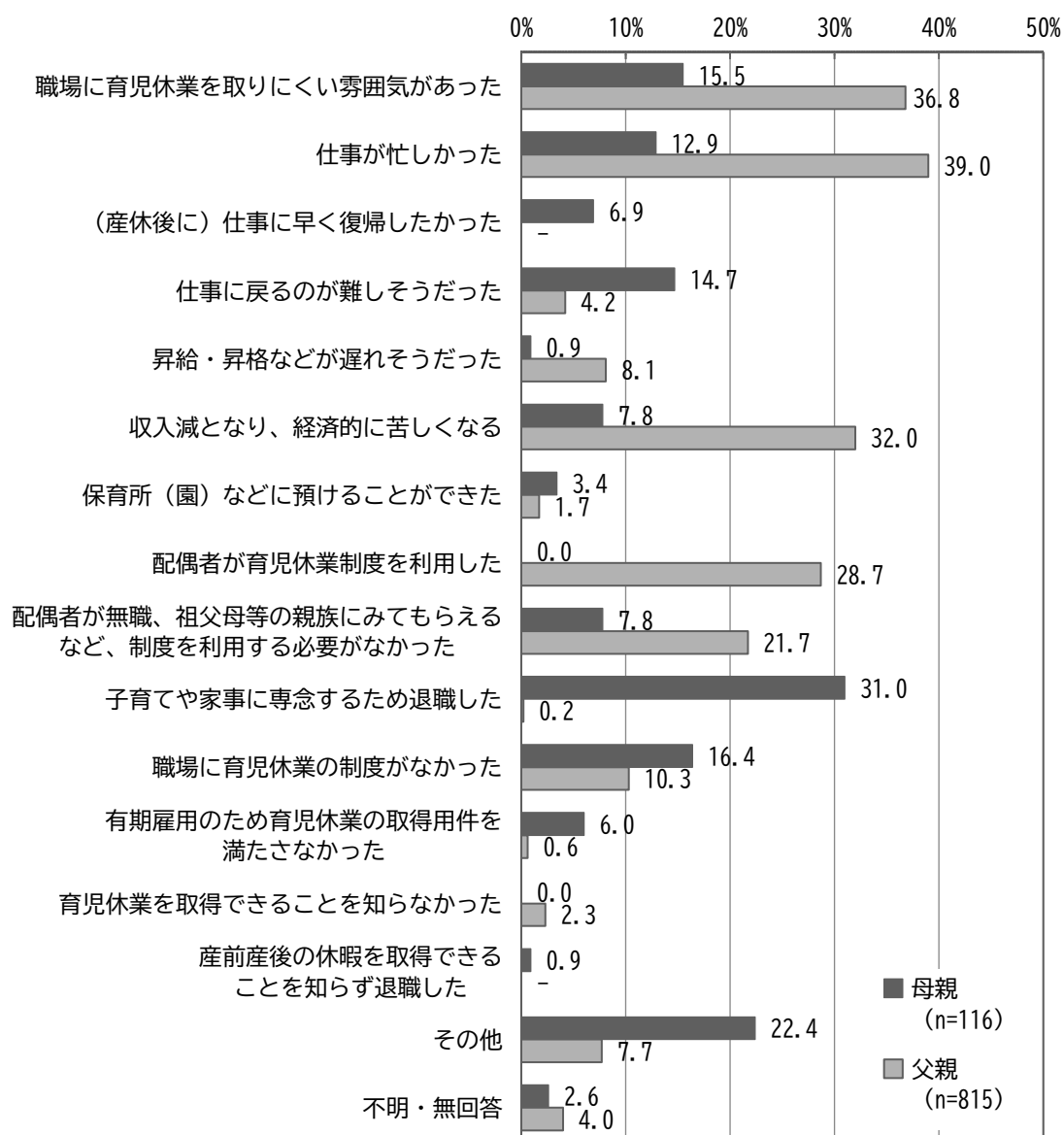
○H30 調査と比較すると、母親は「働いていなかった」「取得していない」は低くなり、「取得した（取得中である）」は 15.5 ポイント高くなっています。父親は「取得していない」は低くなり、「取得した（取得中である）」は 12.1 ポイント高くなっています。



母親では「子育てや家事に専念するため退職した」が 31.0%と最も高く、次いで「その他」が 22.4%となっています。

父親では「仕事が忙しかった」が 39.0%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 36.8%となっています。

■取得していない理由



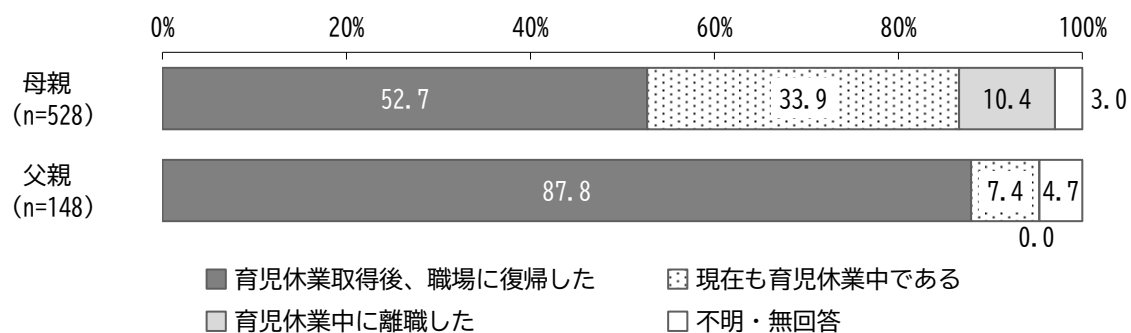
※父親では「(産休後に) 仕事に早く復帰したかった」「産前産後の休暇を取得できることを知らず退職した」の選択肢はなし。

〔「育児休暇を取得した(取得中である)」を選んだ方〕

(2) 育児休業取得後に職場に復帰したか [未：問 26-1] <単数回答・数量回答>

母親では「育児休業取得後、職場に復帰した」が 52.7%、「現在も育児休業中である」が 33.9%、「育児休業中に離職した」が 10.4%となっています。

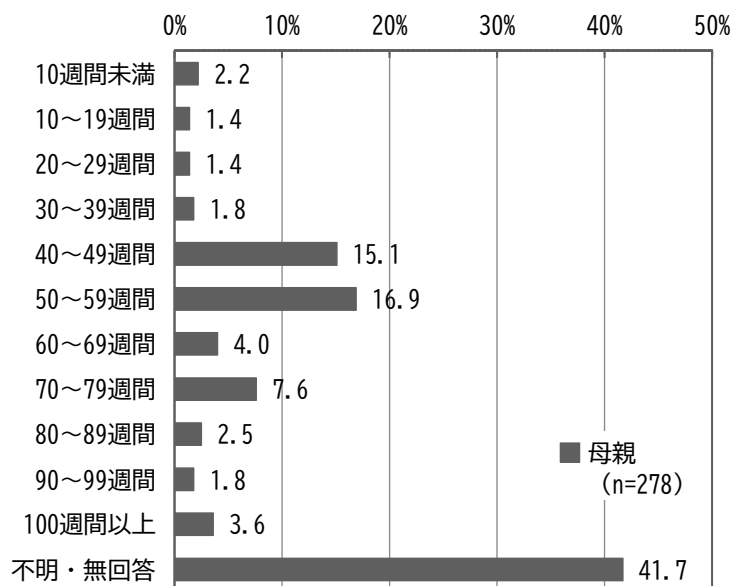
父親では「育児休業取得後、職場に復帰した」が 87.8%、「現在も育児休業中である」が 7.4%となっています。



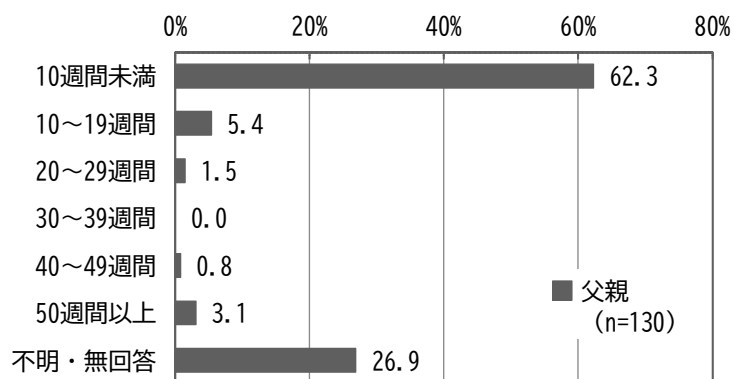
〔育児休業取得後、職場に復帰した〕方の取得期間について、母親では「50～59 週間」が 16.9%と最も高く、次いで「40～49 週間」が 15.1%となっています。

父親では「10 週間未満」が 62.3%と最も高く、次いで「10～19 週間」が 5.4%となっています。

■〔育児休業取得後、職場に復帰した〕方の取得期間（母親）



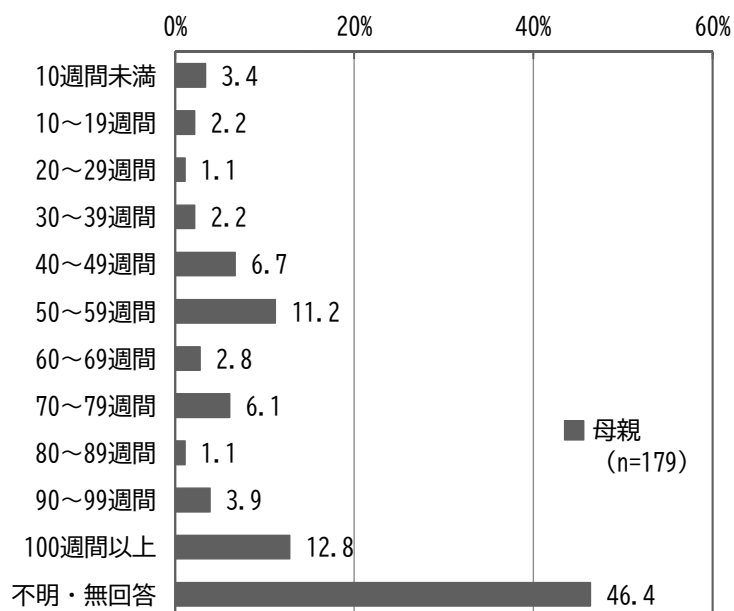
■〔育児休業取得後、職場に復帰した〕方の取得期間（父親）



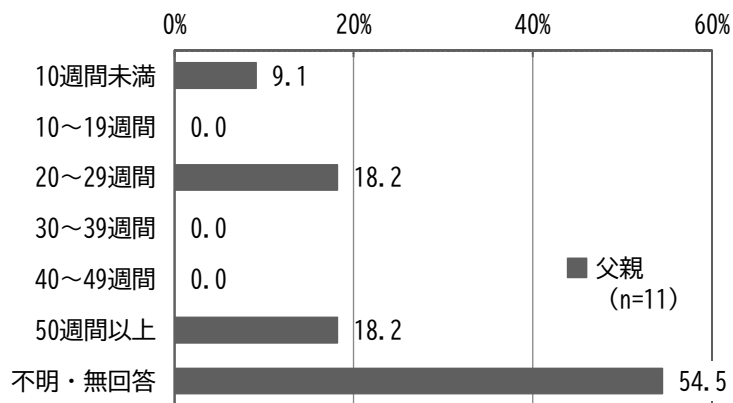
「現在も育児休業中である」方の取得期間について、母親では「100 週間以上」が 12.8%と最も高く、次いで「50～59 週間」が 11.2%となっています。

父親では「20～29 週間」「50 週間以上」がそれぞれ 18.2%と最も高く、次いで「10 週間未満」が 9.1%となっています。

■「現在も育児休業中である」方の取得期間（母親）



■「現在も育児休業中である」方の取得期間（父親）



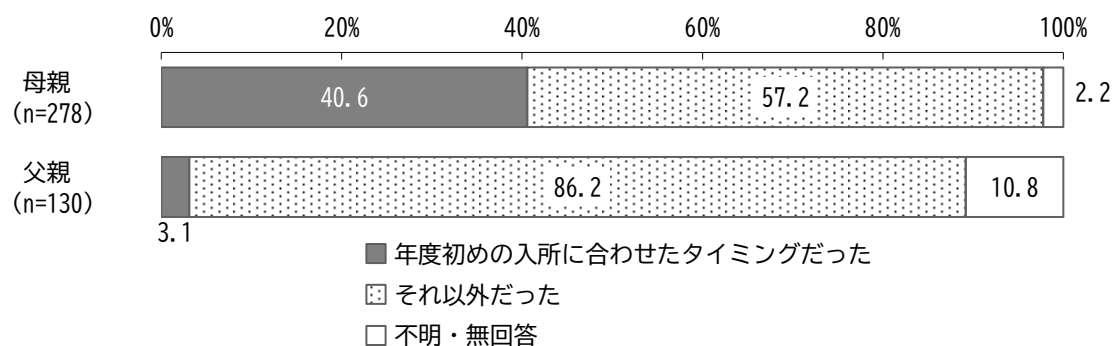
〔「育児休暇取得後、職場に復帰した」を選んだ方〕

(3) 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングか

〔未：問 26-2〕 〈単数回答〉

母親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 40.6%、「それ以外だった」が 57.2%となっています。

父親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 3.1%、「それ以外だった」が 86.2%となっています。



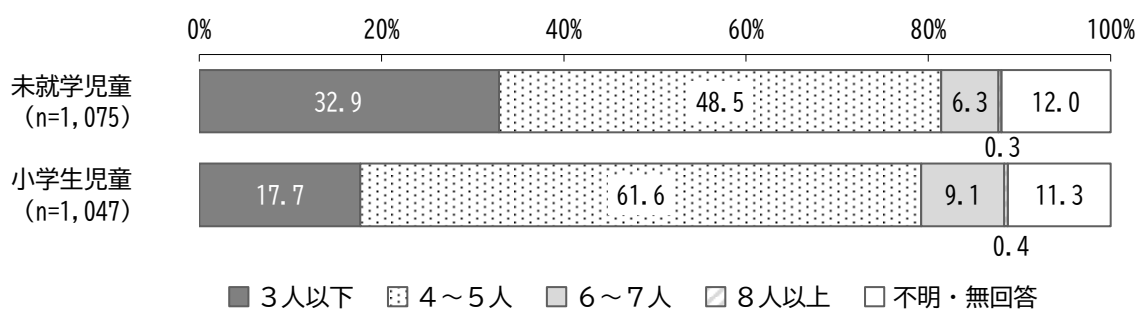
11. 世帯の状況について

(1) 同居人数と兄弟姉妹の人数 [未：問 27、小：問 19] <数量回答>

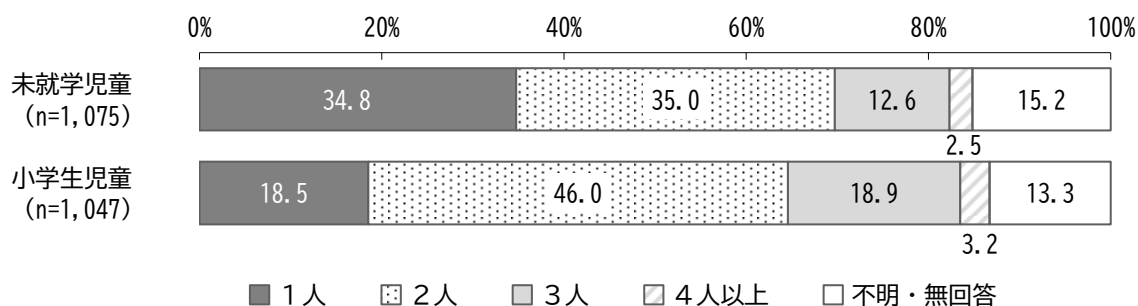
同居人数について、未就学児童、小学生児童ともに「4～5人」が最も高く、それぞれ 48.5%、61.6%となっています。次いで「3人以下」がそれぞれ 32.9%、17.7%となっています。

兄弟姉妹人数について、未就学児童、小学生児童ともに「2人」が最も高く、それぞれ 35.0%、46.0%となっています。次いで未就学児童では「1人」が 34.8%、小学生児童では「3人」が 18.9%となっています。

■同居人数



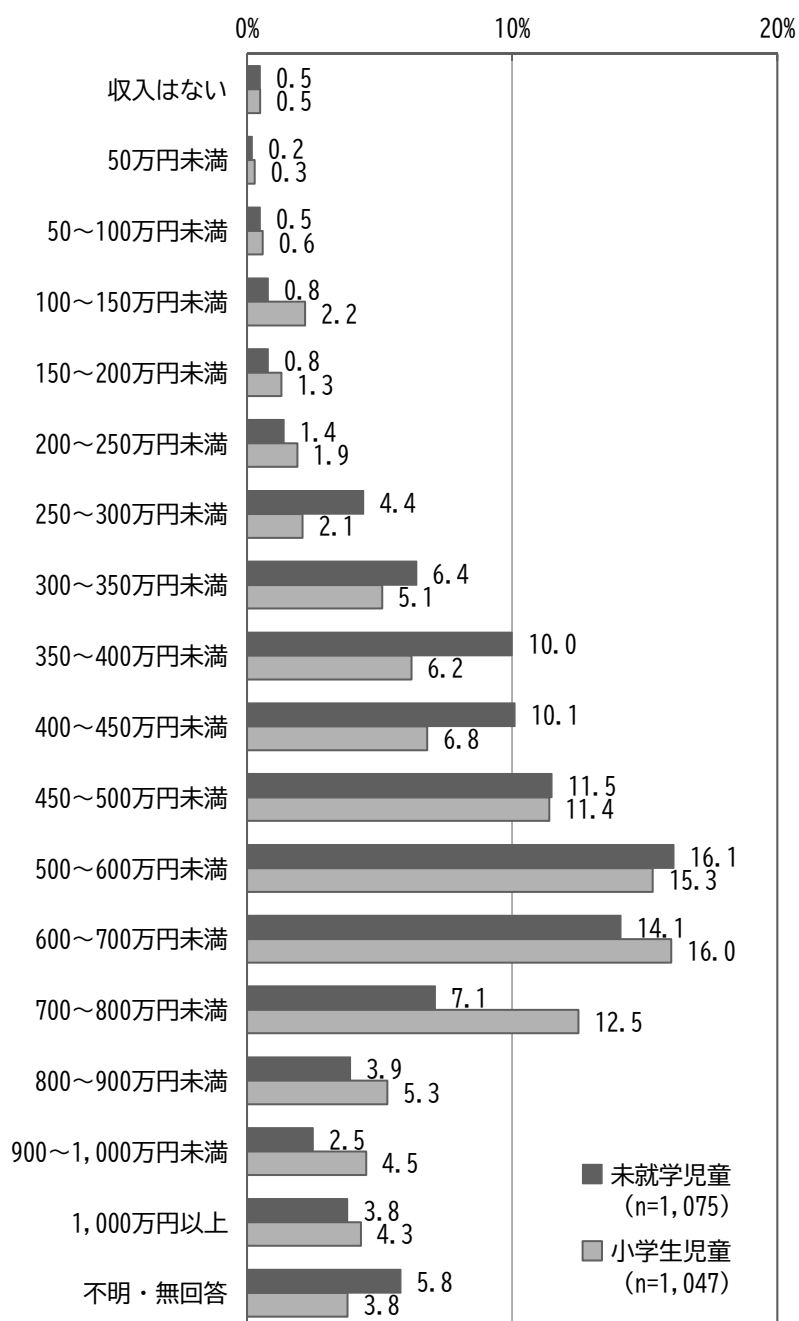
■兄弟姉妹人数



(2) 家庭の世帯収入 [未：問 28、小：問 20] <単数回答>

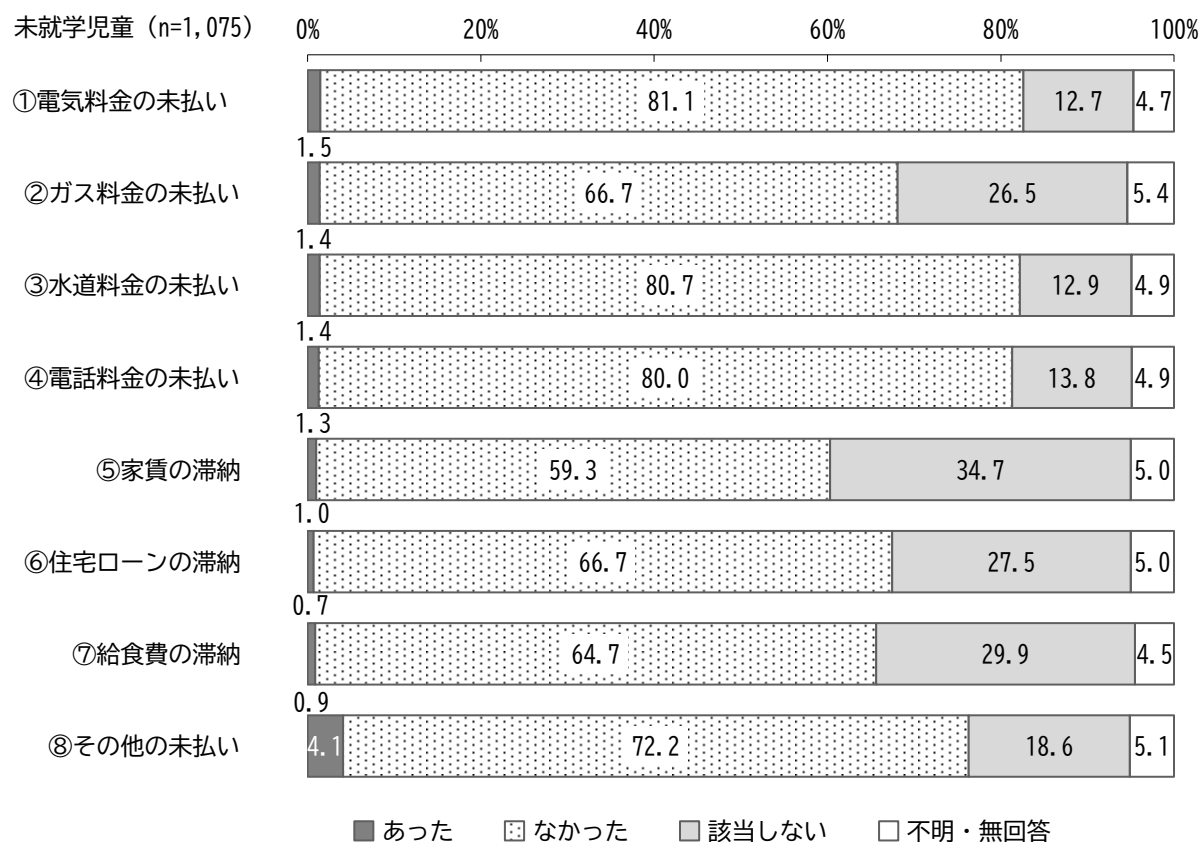
未就学児童では「500～600 万円未満」が 16.1%と最も高く、次いで「600～700 万円未満」が 14.1%となっています。小学生児童では「600～700 万円未満」が 16.0%と最も高く、次いで「500～600 万円未満」が 15.3%となっています。

なお、未就学児童、小学生児童ともに「収入はない」がそれぞれ 0.5%となっています。

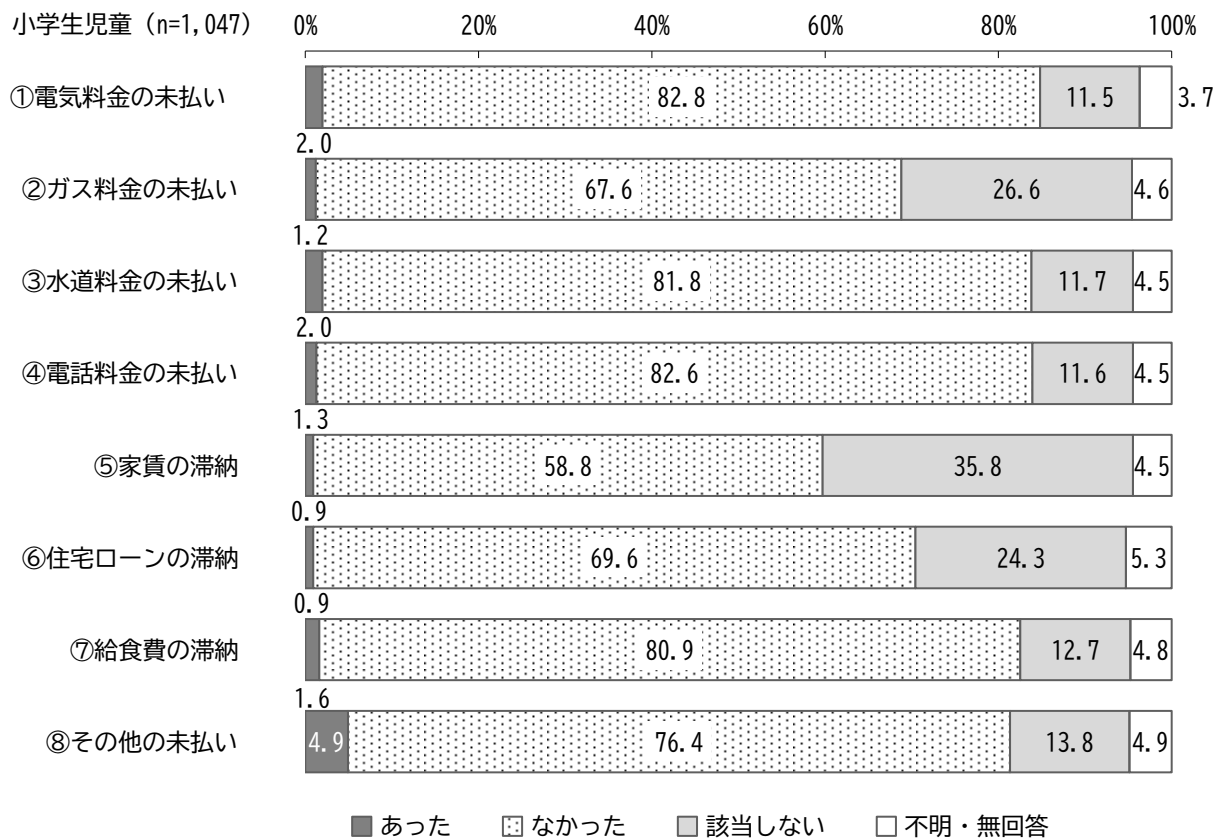


(3) 経済的な理由により滞納、返済があったか [未：問 29、小：問 21] <単数回答>

未就学児童では、いずれの項目も「あった」が5%未満となっていますが、[⑧その他の未払い] が4.1%と、他の項目と比較して高くなっています。



未就学児童では、いずれの項目も「あった」が5%未満となっていますが、〔⑧その他の未払い〕が4.9%と、他の項目と比較して高くなっています。

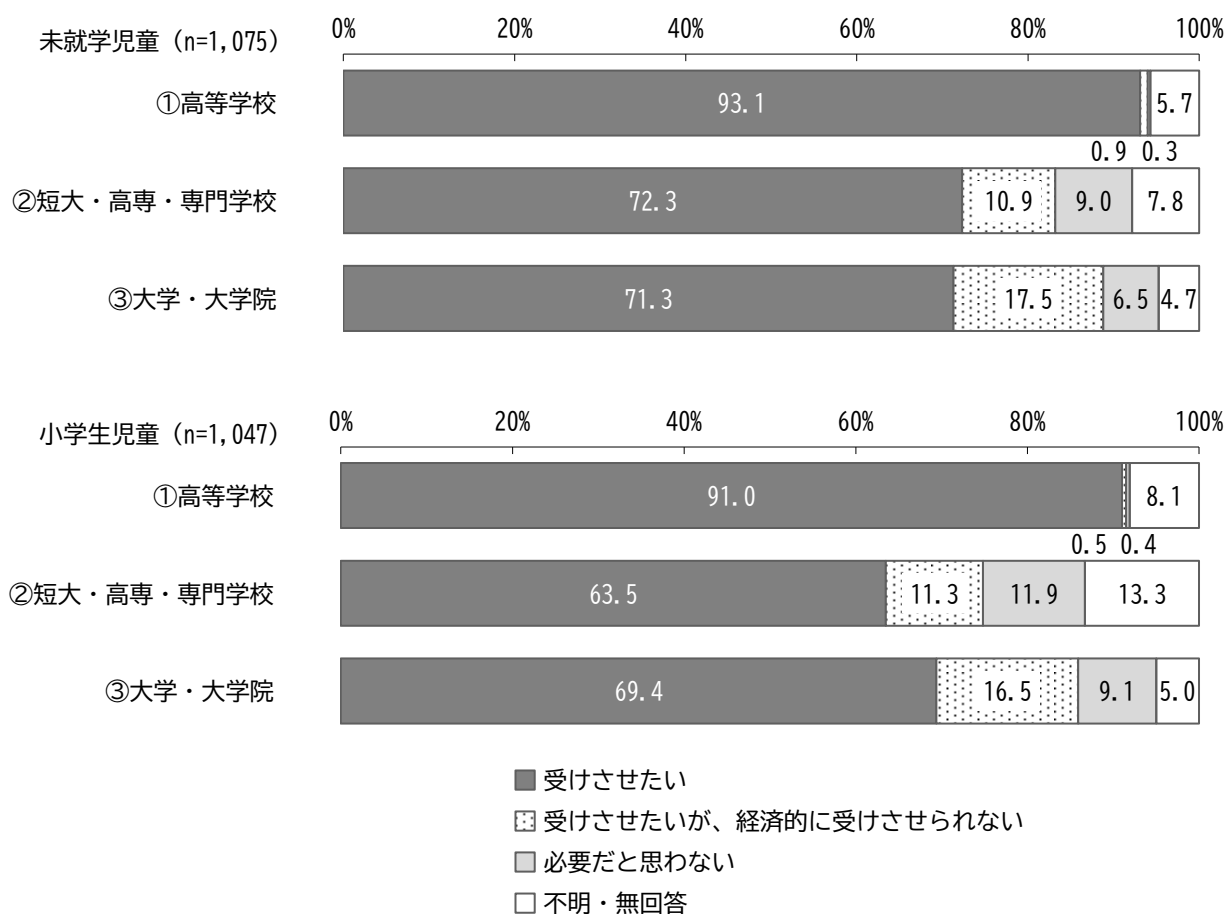


12. 子育て全般について

(1) どの段階まで教育を受けさせたいか [未：問30、小：問22] 〈単数回答〉

未就学児童では、いずれの項目も「受けさせたい」が7割以上となっています。なお、「受けさせたいが、経済的に受けさせられない」が〔①高等学校〕で0.9%、〔②短大・高専・専門学校〕で10.9%、〔③大学・大学院〕で17.5%となっています。

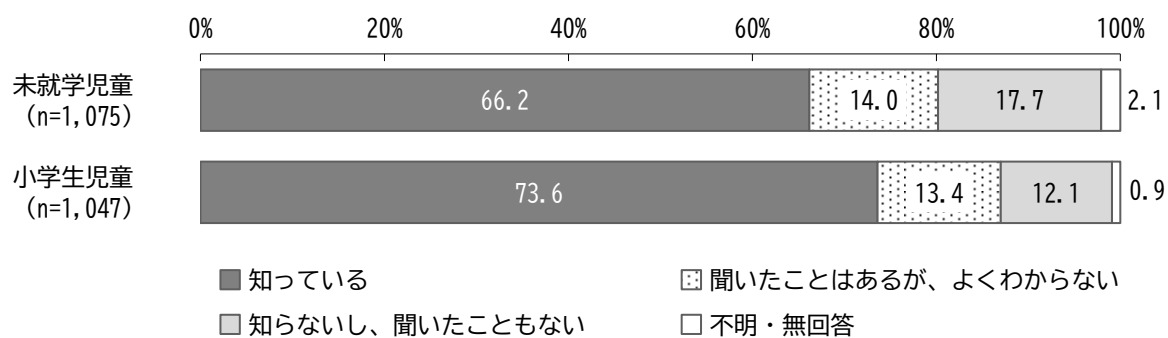
小学生児童では、いずれの項目も「受けさせたい」が6割以上となっています。なお、「受けさせたいが、経済的に受けさせられない」が〔①高等学校〕で0.5%、〔②短大・高専・専門学校〕で11.3%、〔③大学・大学院〕で16.5%となっています。



(2) ヤングケアラーの認知度 [未：問 31、小：問 23] <単数回答>

未就学児童では、「知っている」が 66.2%、「聞いたことはあるが、よくわからない」が 14.0%、「知らないし、聞いたこともない」が 17.7%となっています。

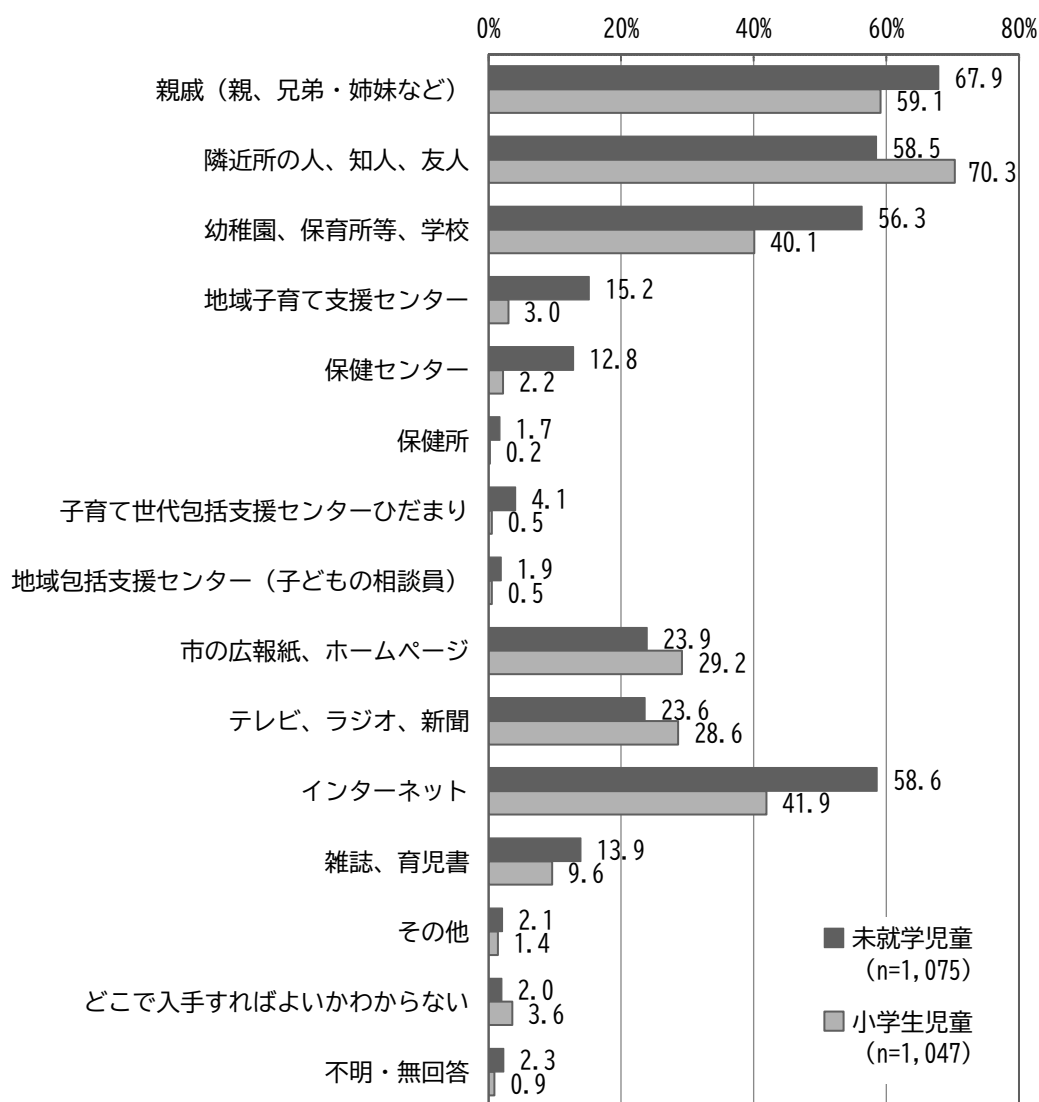
小学生児童では、「知っている」が 73.6%、「聞いたことはあるが、よくわからない」が 13.4%、「知らないし、聞いたこともない」が 12.1%となっています。



(3) 子育てに関する情報の入手先 [未：問 32、小：問 24] <複数回答>

未就学児童では、「親戚（親、兄弟・姉妹など）」が 67.9%と最も高く、次いで「インターネット」が 58.6%となっています。

小学生児童では、「隣近所の人、友人、知人」が 70.3%と最も高く、次いで「親戚（親、兄弟・姉妹など）」が 59.1%となっています。

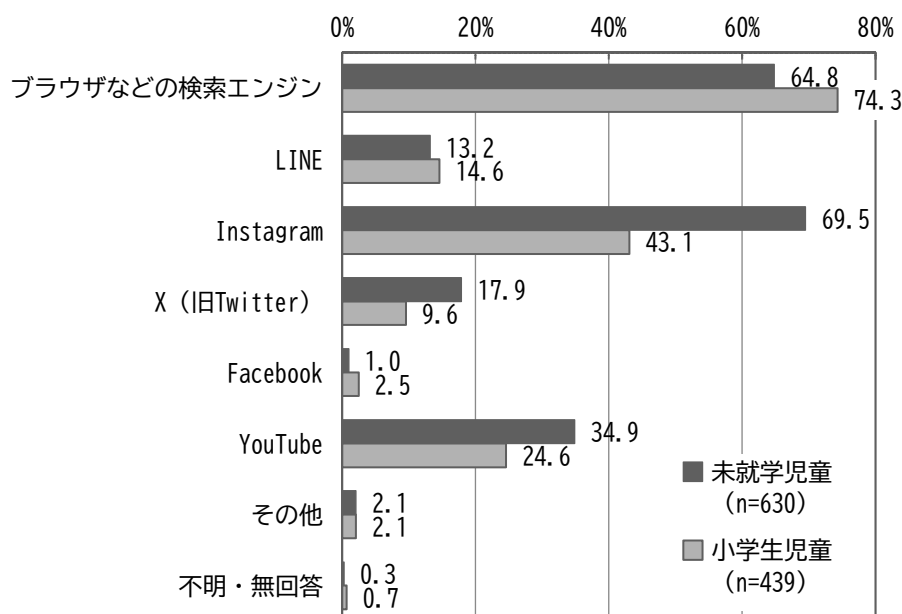


「インターネット」を選んだ方]

(4) どのようなインターネットツールを利用するのか [未：問 32-1、小：問 24-1] <複数回答>

未就学児童では、「Instagram」が 69.5%と最も高く、次いで「ブラウザなどの検索エンジン」が 64.8%となっています。

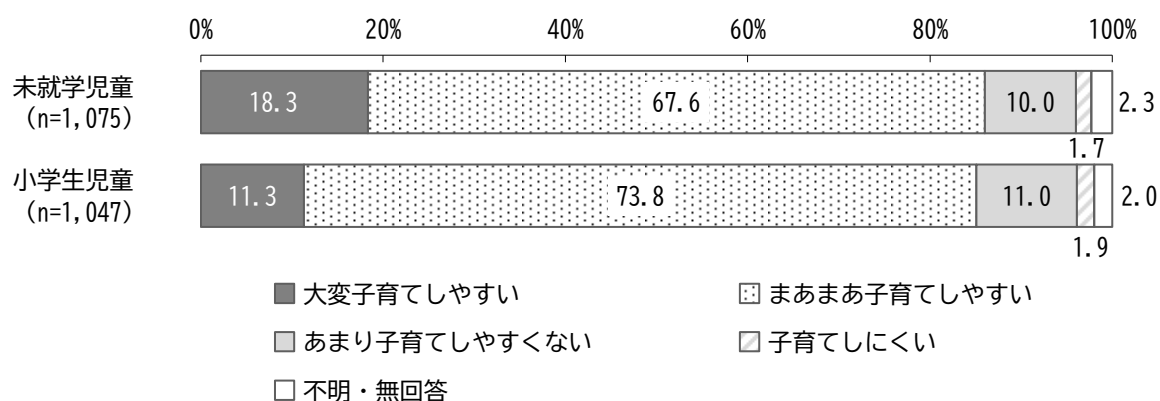
小学生児童では、「ブラウザなどの検索エンジン」が 74.3%と最も高く、次いで「Instagram」が 43.1%となっています。



(5) 関市は子育てしやすいまちだと思うか [未：問 33、小：問 25] <単数回答>

未就学児童では、『子育てしやすい』（「大変子育てしやすい」と「まあまあ子育てしやすい」の合算）が 85.9%、『子育てしにくい』（「あまり子育てしやすすくない」と「子育てしにくい」の合算）が 11.7%となっています。

小学生児童では、『子育てしやすい』（「大変子育てしやすい」と「まあまあ子育てしやすい」の合算）が 85.1%、『子育てしにくい』（「あまり子育てしやすすくない」と「子育てしにくい」の合算）が 12.9%となっています。

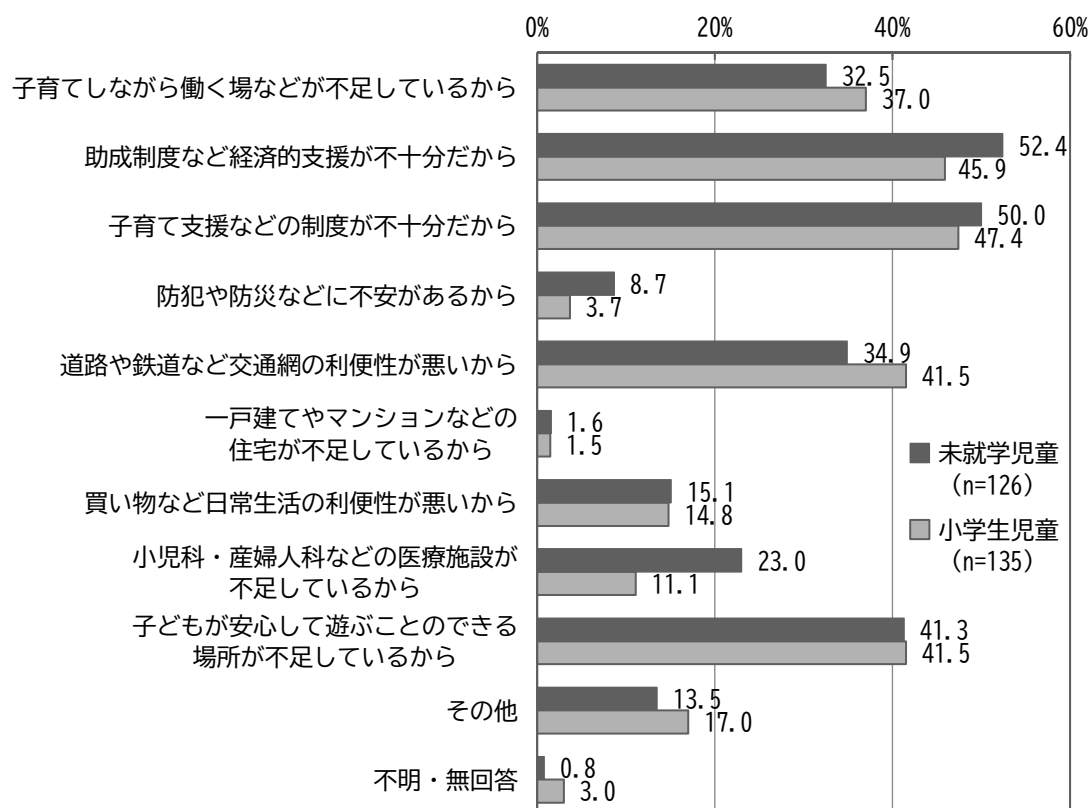


〔『子育てしにくい』を選んだ方〕

(6) 子育てしやすくない、子育てしにくいと感じる理由 [未：問 33-1、小：問 25-1] <複数回答>

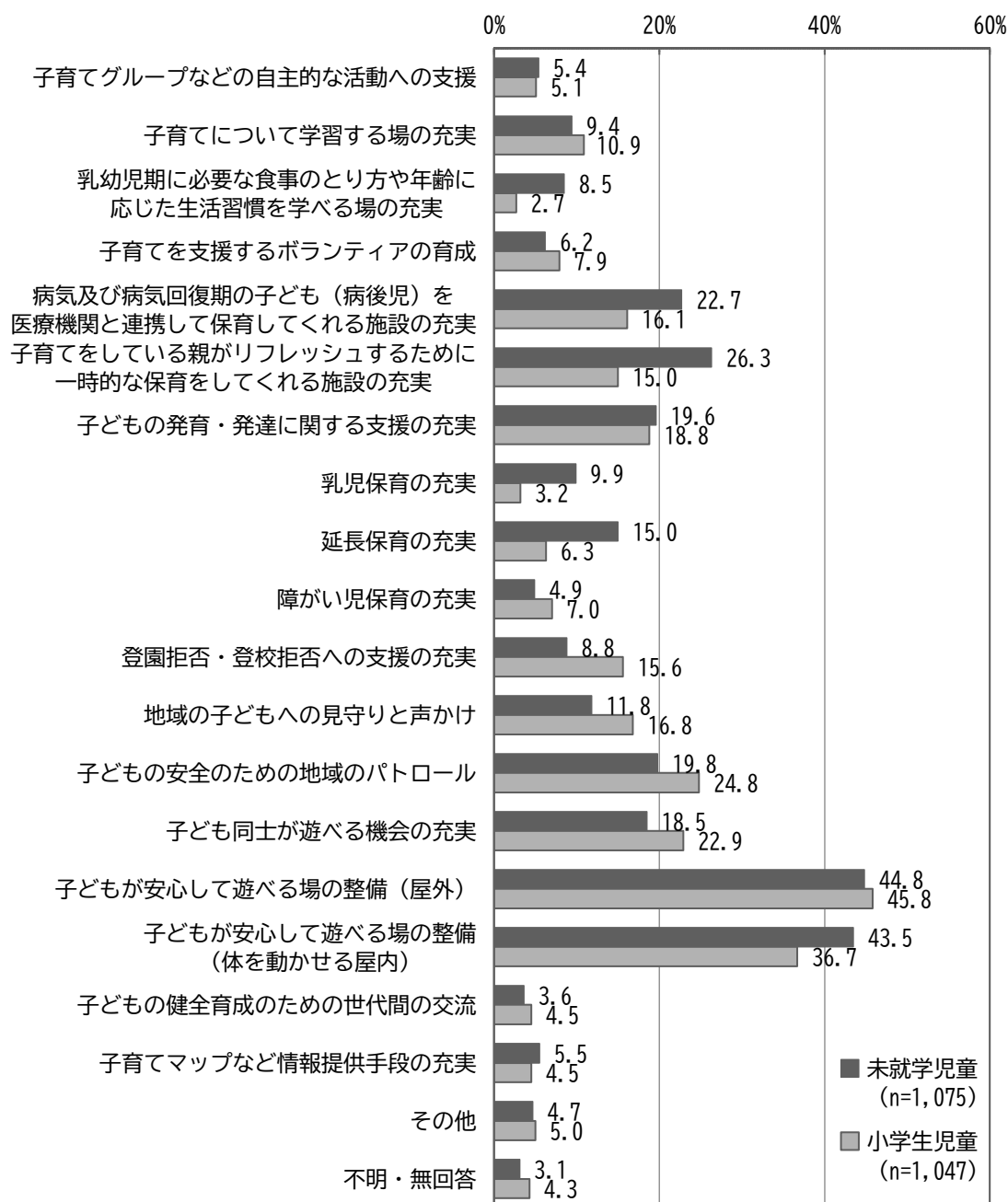
未就学児童では、「助成制度など経済的支援が不十分だから」が 52.4%と最も高く、次いで「子育て支援などの制度が不十分だから」が 50.0%となっています。

小学生児童では、「子育て支援などの制度が不十分だから」が 47.4%と最も高く、次いで「助成制度など経済的支援が不十分だから」が 45.9%となっています。



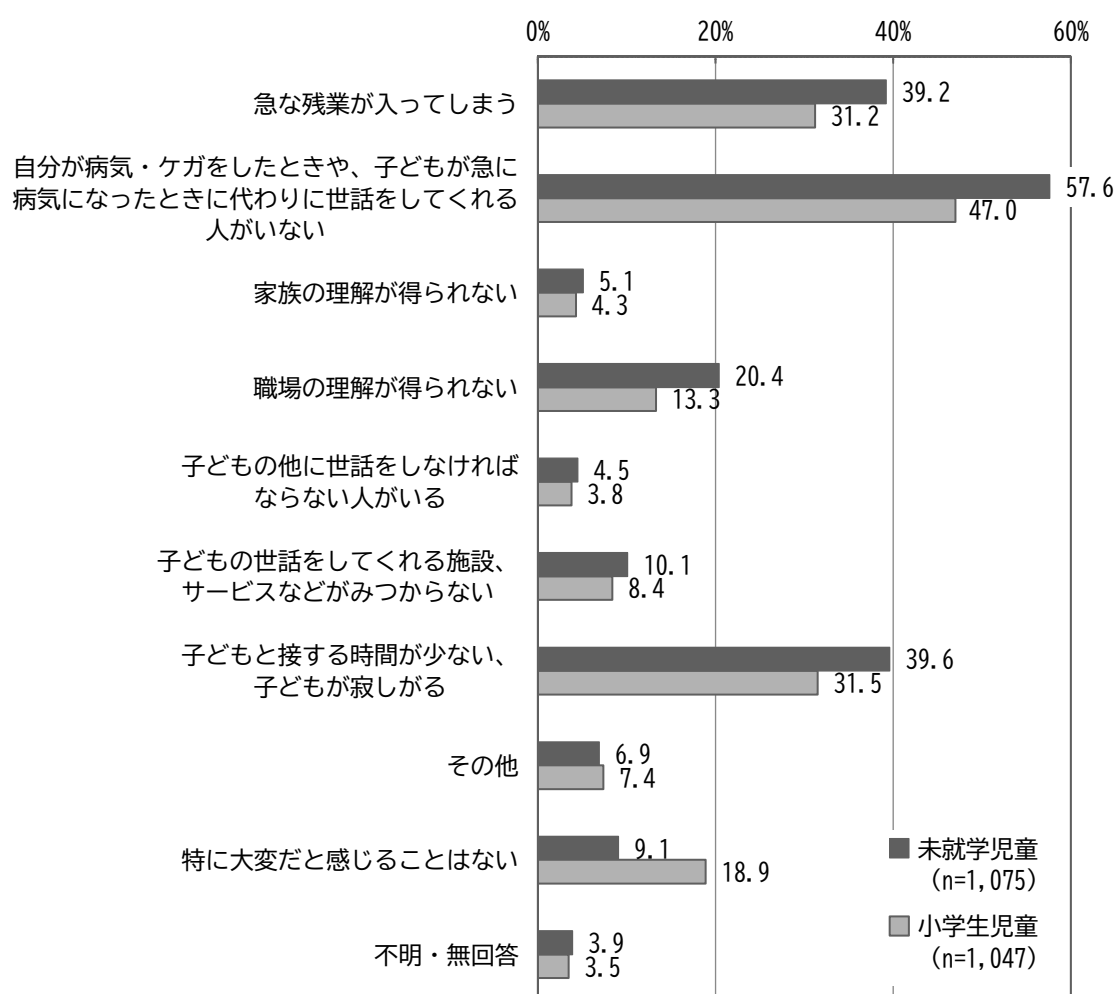
(7) 関市の子育て支援施策に期待すること・重要なこと [未：問 34、小：問 26] <複数回答>

未就学児童、小学生児童ともに「子どもが安心して遊べる場の整備（屋外）」が最も高く、それぞれ 44.8%、45.8%となっています。次いで「子どもが安心して遊べる場の整備（体を動かせる屋内）」がそれぞれ 43.5%、36.7%となっています。



(8) 仕事と子育てを両立する上で大変だと考えられること [未：問36、小：問28] <複数回答>

未就学児童、小学生児童ともに「自分が病気・ケガをしたときや、子どもが急に病気になったときに代わりに世話をしてくれる人がいない」が最も高く、それぞれ 57.6%、47.0%となっています。次いで「子どもと接する時間が少ない、子どもが寂しがる」がそれぞれ 39.6%、31.5%となっています。

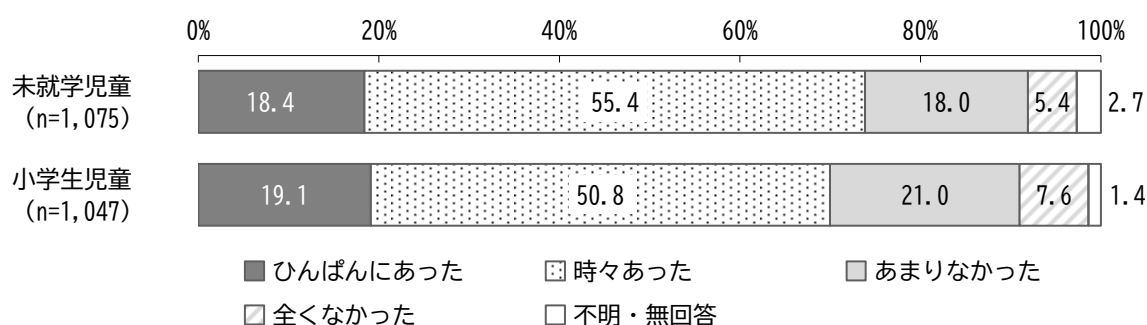


(9) 子育てをする中で、不安・悩み・苦労など、強いストレスを感じたことがあるか

[未：問37、小：問9] <単数回答>

未就学児童では、『あった』（「ひんぱんにあった」と「時々あった」の合算）が 73.8%、『なかった』（「あまりなかった」と「全くなかった」の合算）が 23.4%となっています。

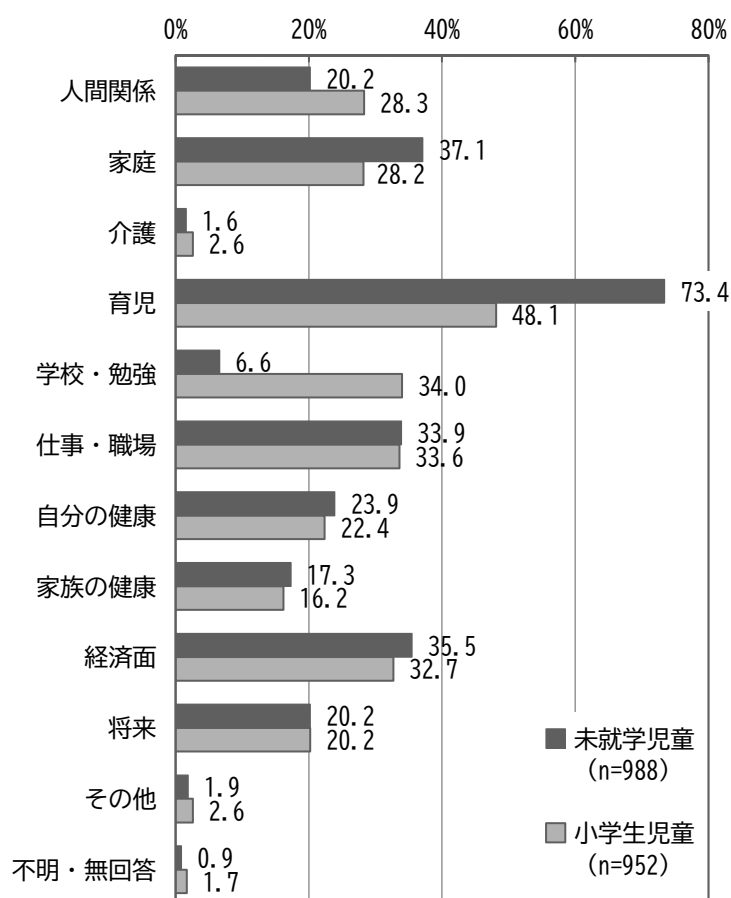
小学生児童では、『あった』（「ひんぱんにあった」と「時々あった」の合算）が 69.9%、『なかった』（「あまりなかった」と「全くなかった」の合算）が 28.6%となっています。



〔不安・悩み・苦勞など、強いストレスを感じたことが『あった』を選んだ方〕

(10) どのようなことでストレスを感じたか [未：問 37-1、小：問 9-1] <複数回答>

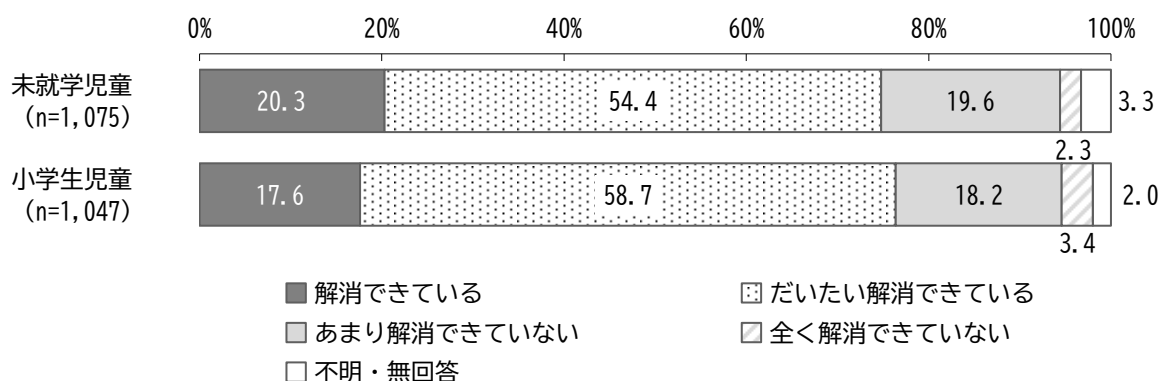
未就学児童、小学生児童ともに「育児」が最も高く、それぞれ 73.4%、48.1%となっています。次いで未就学児童では「家庭」が 37.1%、小学生児童では「学校・勉強」が 34.0%となっています。



(11) ストレスを自分なりに解消できているか [未：問 38、小：問 10] <単数回答>

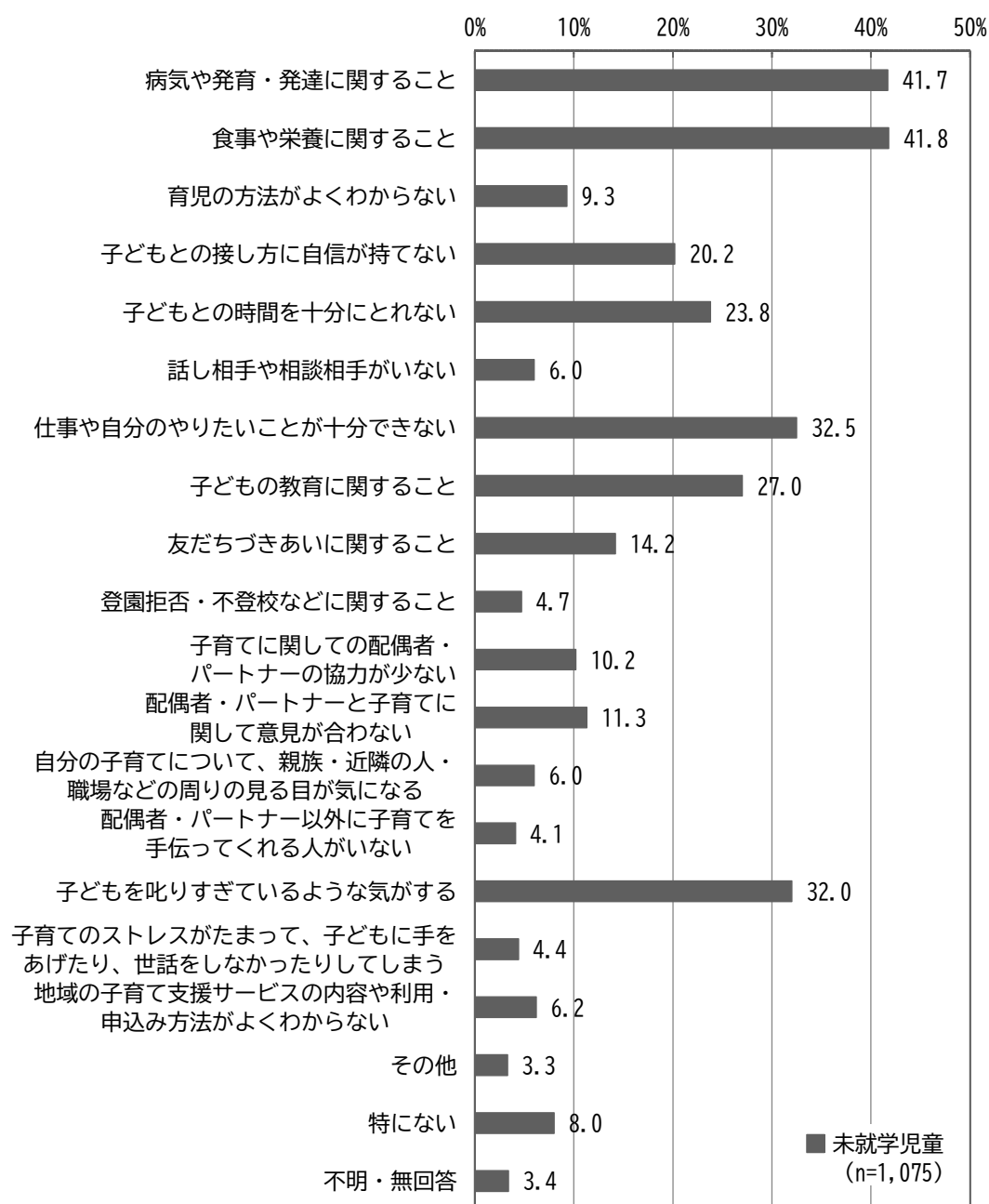
未就学児童では、『解消できている』（「解消できている」と「だいたい解消できている」の合算）が 74.7%、『解消できていない』（「あまり解消できていない」と「全く解消できていない」の合算）が 21.9%となっています。

小学生児童では、『解消できている』（「解消できている」と「だいたい解消できている」の合算）が 76.3%、『解消できていない』（「あまり解消できていない」と「全く解消できていない」の合算）が 21.6%となっています。



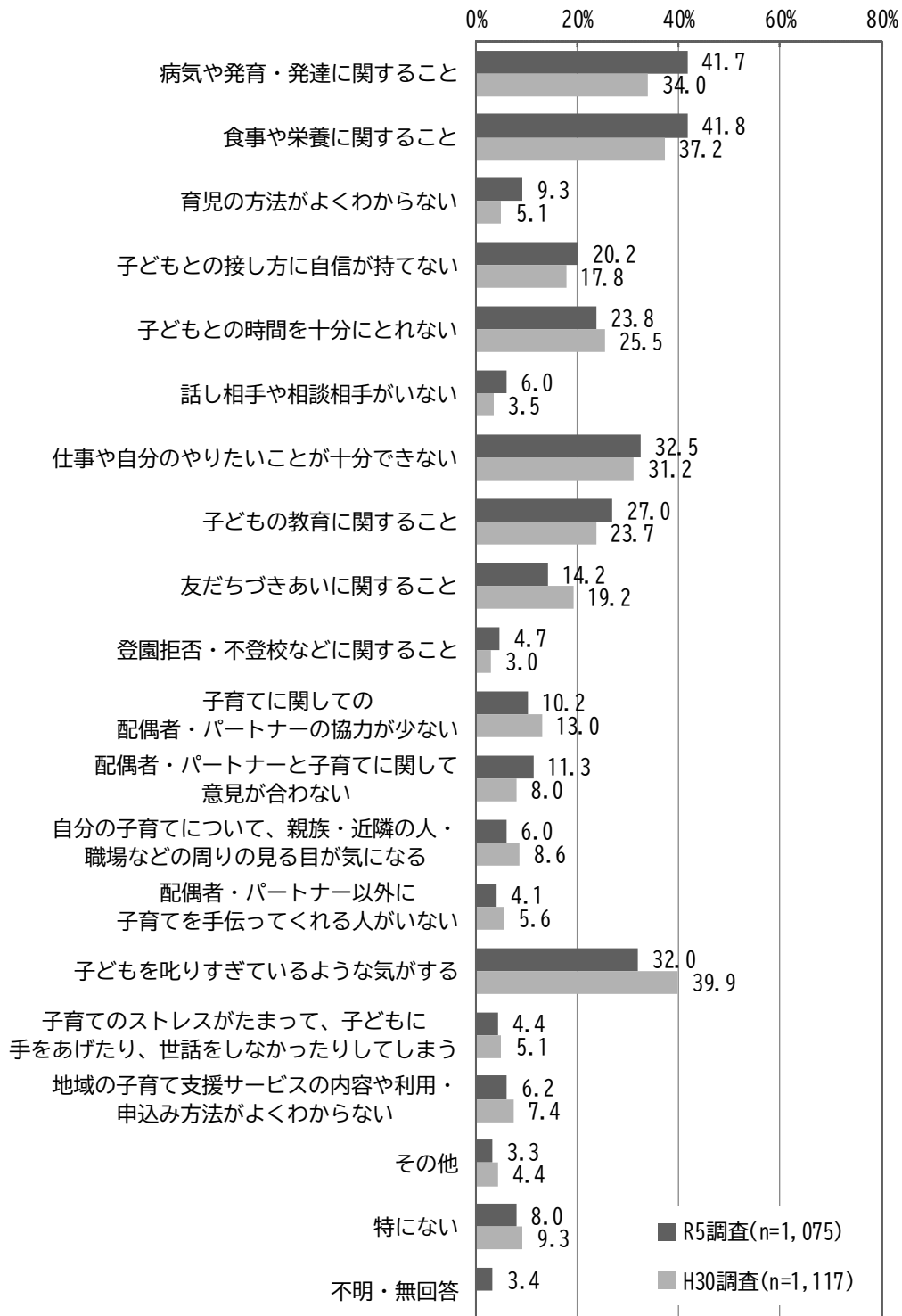
(12) 子育てに関して日頃悩んでいること、気になること [未：問 38-1] <複数回答>

「食事や栄養に関すること」が 41.8%と最も高く、次いで「病気や発育・発達に関すること」が 41.7%となっています。



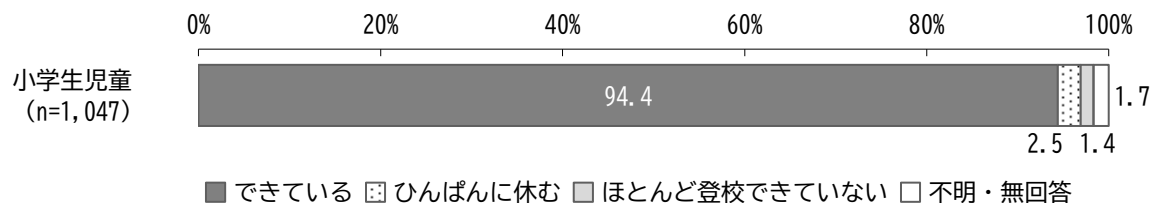
－ 前回調査結果との比較 －

- H30 調査と比較すると、「病気や発育・発達に関すること」は 7.7 ポイント高くなっている一方で、「子どもを叱りすぎているような気がする」は 7.9 ポイント低くなっています。
- 「特にない」「不明・無回答」を除いた 18 項目のうち半数の 9 項目で、H30 調査と比べてやや高くなっています。



(13) お子さんは、毎日学校に登校できているか [小：問 10] <単数回答>

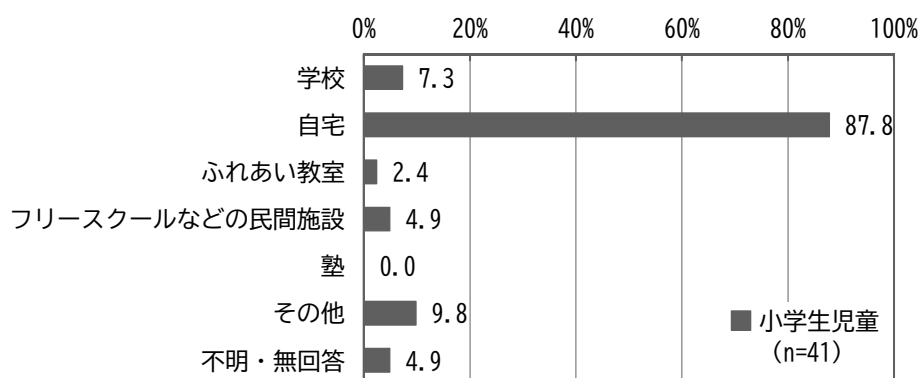
「できている」が 94.4%、「ひんぱんに休む」が 2.5%、「ほとんど登校できていない」が 1.4%となっています。



[「毎日学校に登校できていない」を選んだ方]

(14) 平日の日中に最も多くの時間を過ごしている学校以外の場所 [小：問 10-1] <複数回答>

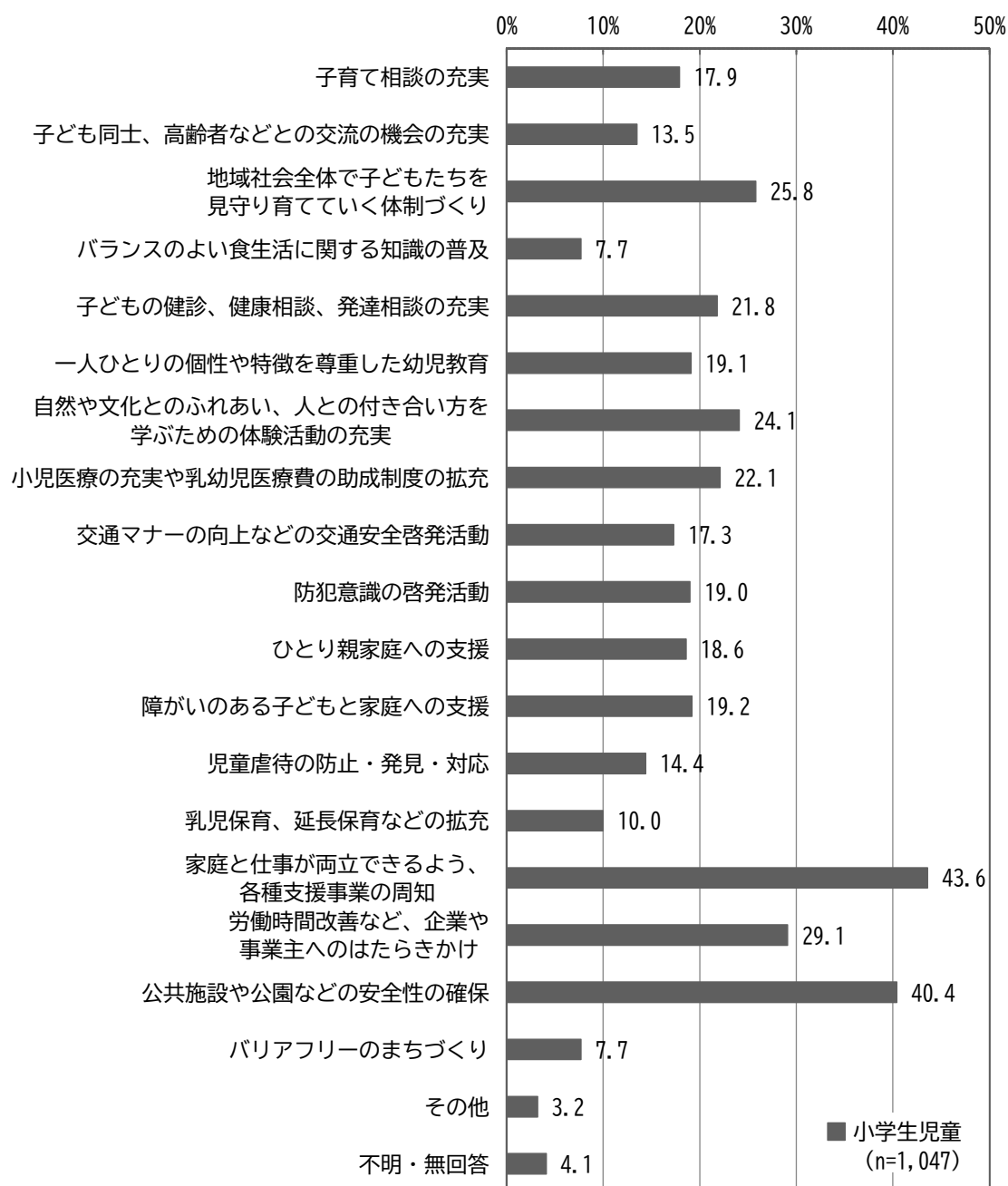
「自宅」が 87.8%と最も高く、次いで「その他」が 9.8%となっています。



(15) 今後、行政や関係機関の取組として必要と思われること、充実を図ってほしいと思うもの

[小：問 31] <複数回答>

「家庭と仕事が両立できるよう、各種支援事業の周知」が 43.6%と最も高く、次いで「公共施設や公園などの安全性の確保」が 40.4%となっています。



関市 子ども・子育てに関するアンケート調査
【結果報告書】

発行年月：令和6年4月

発 行：関市

編 集：関市 健康福祉部 子ども家庭課

住 所：〒501-3894 岐阜県関市若草通3丁目1番地

T E L：0575-23-7738 F A X：0575-23-7748
